

(様式第 10)

東大院総第 258 号
平成 28 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

開設者名 五 神 真 (印)

東京大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1
氏 名	五神 真

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東京大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1	電話(03)3815-5411
-------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 循環器内科 2 呼吸器内科 3 消化器内科 4 腎臓・内分泌内科 5 糖尿病・代謝内科	
6 血液・腫瘍内科 7 アレルギー・リウマチ内科 8 感染症内科 9 神経内科 10 老年内科	
11 心療内科 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 胃・食道外科 2 大腸・肛門外科 3 肝臓・胆のう・膵臓外科 4 血管外科 5 乳腺・内分泌外科 6 臓器移植外科 7 心臓外科 8 呼吸器外科 9 女性外科 10小児外科 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="checkbox"/> 1精神科	<input checked="" type="checkbox"/> 2小児科	<input checked="" type="checkbox"/> 3整形外科	<input checked="" type="checkbox"/> 4脳神経外科	<input checked="" type="checkbox"/> 5皮膚科	<input checked="" type="checkbox"/> 6泌尿器科	<input checked="" type="checkbox"/> 7産婦人科
8産科	9婦人科	<input checked="" type="checkbox"/> 10眼科	<input checked="" type="checkbox"/> 11耳鼻咽喉科	<input checked="" type="checkbox"/> 12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	<input checked="" type="checkbox"/> 15麻酔科	<input checked="" type="checkbox"/> 16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無					
歯科と組み合わせた診療科名 1歯科口腔外科・矯正歯科 2 3 4 5 6 7						
歯科の診療体制						

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 形成・美容外科	2 リハビリテーション科	3 病理診断科	4 臨床検査科	5				
6	7	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21		

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
54床	床	床	床	1163床	1217床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	503人	406.8人	909.8人	看 護 補 助 者	63人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	12人	17.9人	29.9人	理 学 療 法 士	19人	臨 床 検 査 技 師	129人
薬 剤 師	89人	4.7人	93.7人	作 業 療 法 士	9人	衛 生 検 査 技 師	1人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	11人	そ の 他	0人
助 産 師	54人	0人	54人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	7人
看 護 師	1258人	14.0人	1272人	臨 床 工 学 士	32人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	5人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	2人	そ の 他 の 技 術 員	194人
歯 科 衛 生 士	5人	0人	5人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	334人
管 理 栄 養 士	12人	0.9人	12.9人	診 療 放 射 線 技 師	73人	そ の 他 の 職 員	326人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	40.3人	眼 科 専 門 医	13.9人
外 科 専 門 医	56.9人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	17.0人
精 神 科 専 門 医	14.4人	放 射 線 科 専 門 医	14.5人
小 児 科 専 門 医	23.4人	脳 神 経 外 科 専 門 医	14.1人
皮 膚 科 専 門 医	11.2人	整 形 外 科 専 門 医	21.4人
泌 尿 器 科 専 門 医	11.3人	麻 酔 科 専 門 医	15.8人
産 婦 人 科 専 門 医	25.3人	救 急 科 専 門 医	3.0人
		合 計	282.5人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (齊藤 延人) 任命年月日 平成 27 年 4 月 1 日

リスクマネジメント委員会委員 平成 27 年 4 月 1 日～現在

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1029人	11.7人	1040.7人
1日当たり平均外来患者数	2859.1人	80.5人	2939.6人
1日当たり平均調剤数	2539.9		剤
必要医師数			272人
必要歯科医師数			6人
必要薬剤師数			35人
必要(准)看護師数			619人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	1328 m ²	鉄骨	病床数	61床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	287 m ²	病床数	22床	
	[移動式の場合]	台数	0台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	79 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	459 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動搬送システム、各種自動分析装置、採血台			
細菌検査室	261 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 培養装置、滅菌装置、孵卵器、顕微鏡			
病理検査室	446 m ²	鉄骨	(主な設備) 固定漕、包埋装置、薄切台、自動染色機			
病理解剖室	60 m ²	鉄骨	(主な設備) 解剖台、切出台、接写装置			
研究室	18499 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 机、作業台、ドラフトチャンバー、顕微鏡等			
講義室	88 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	収容定員	130人
図書室	1031 m ²	鉄筋コンクリート	室数	24室	蔵書数	112,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	86.4%	逆紹介率	88.6%
算出根拠	A：紹介患者の数	19885人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	24385人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	3887人	
	D：初診の患者の数	27519人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	4人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	0人
前眼部三次元画像解析	51人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	1人
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	-人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	5人
ゾレドロン酸誘導 γ δ T細胞を用いた免疫療法 非小細胞肺癌(従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	7人
S-1内服投与、オキサリプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	9人
カペシタビン内服投与、シスプラチン静脈内投与及びドセタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	20人
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	1人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中脳神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん)	0人
周術期カルベリチド静脈内投与による再発抑制療法 非小細胞肺癌(CT撮影により非浸潤がんと診断されたものを除く。)	4人
mFOLFOX6及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 胃がん(腺がん及び腹膜播種であると確認されたものであって、抗悪性腫瘍剤の経口投与では治療が困難なものに限る。)	-人
FOLFIRINOX療法 胆道がん(切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したのものに限る。)	-人
切除支援のための気管支鏡下肺マーキング法微小肺病変(肺悪性腫瘍が疑われ、又は診断のついた定型的な肺葉間以外の切離線の設定が必要なものであり、かつ、術中に同定することが困難と予測され、切	-人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	47	56	ベーチェット病	245
2	筋萎縮性側索硬化症	55	57	特発性拡張型心筋症	247
3	脊髄性筋萎縮症	6	58	肥大型心筋症	30
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	16	60	再生不良性貧血	65
6	パーキンソン病	186	61	自己免疫性溶血性貧血	
7	大脳皮質基底核変性症	19	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
8	ハンチントン病	11	63	特発性血小板減少性紫斑病	90
9	神経有棘赤血球症		64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	6	65	原発性免疫不全症候群	20
11	重症筋無力症	153	66	IgA腎症	9
12	先天性筋無力症候群		67	多発性嚢胞腎	31
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	95	68	黄色靱帯骨化症	7
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	24	69	後縦靱帯骨化症	152
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	31
16	クドウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	63
17	多系統萎縮症	62	72	下垂体性ADH分泌異常症	41
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	153	73	下垂体性TSH分泌亢進症	
19	ライソゾーム病	5	74	下垂体性PRL分泌亢進症	14
20	副腎白質ジストロフィー	19	75	クッシング病	7
21	ミトコンドリア病	20	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	83	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	28
23	プリオン病		78	下垂体前葉機能低下症	80
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	
25	進行性多巣性白質脳症		80	甲状腺ホルモン不応症	
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
27	特発性基底核石灰化症		82	先天性副腎低形成症	
28	全身性アミロイドーシス	24	83	アジソン病	
29	ウルリッヒ病		84	サルコイドーシス	139
30	遠位型ミオパチー	2	85	特発性間質性肺炎	44
31	ペスレムミオパチー		86	肺動脈性肺高血圧症	74
32	自己貪食空胞性ミオパチー	1	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	2
33	シュワルツ・ヤンベル症候群		88	慢性血栓性肺高血圧症	36
34	神経線維腫症	70	89	リンパ脈管筋腫症	5
35	天疱瘡	27	90	網膜色素変性症	64
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	14
37	膿疱性乾癬(汎発型)	21	92	特発性門脈圧亢進症	
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	168
39	中毒性表皮壊死症		94	原発性硬化性胆管炎	31
40	高安動脈炎	64	95	自己免疫性肝炎	9
41	巨細胞性動脈炎	5	96	クローン病	96
42	結節性多発動脈炎	40	97	潰瘍性大腸炎	391
43	顕微鏡的多発血管炎	29	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	30	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	12	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
46	悪性関節リウマチ	38	101	腸管神経節細胞減少症	
47	パージャー病	58	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	
49	全身性エリテマトーデス	415	104	コステロ症候群	
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	180	105	チャージ症候群	
51	全身性強皮症	554	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52	混合性結合組織病	56	107	全身型若年性特発性関節炎	
53	シェーグレン症候群	59	108	TNF受容体関連周期性症候群	
54	成人スチル病	16	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	
112	マリネスコ・シェーグレン症候群		162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1
113	筋ジストロフィー	13	163	特発性後天性全身性無汗症	
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	164	眼皮皮膚白皮症	
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	
116	アトピー性脊髄炎		166	弾性線維性仮性黄色腫	
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	47
118	脊髄髄膜瘤		168	エーラス・ダンロス症候群	
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	
120	遺伝性ジストニア		170	オクシピタル・ホーン症候群	
121	神経フェリチン症		171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症		172	低ホスファターゼ症	
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症		173	VATER症候群	
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症		175	ウィーバー症候群	
126	ペリー症候群		176	コフィン・ローリー症候群	
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎		178	モワット・ウィルソン症候群	
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症		179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	1	180	ATR-X症候群	
131	アレキサンダー病		181	クルーゾン症候群	
132	先天性核上性球麻痺		182	アペール症候群	
133	メビウス症候群		183	ファイファー症候群	
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群		184	アントレー・ピクスラー症候群	
135	アイカルディ症候群		185	コフィン・シリス症候群	
136	片側巨脳症		186	ロスムンド・トムソン症候群	
137	限局性皮質異形成		187	歌舞伎症候群	2
138	神経細胞移動異常症		188	多脾症候群	
139	先天性大脳白質形成不全症		189	無脾症候群	
140	ドラベ症候群		190	鰓耳腎症候群	
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		191	ウェルナー症候群	
142	ミオクロニー欠伸てんかん		192	コケイン症候群	
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		193	プラダー・ウィリ症候群	
144	レノックス・ガストー症候群	2	194	ソトス症候群	
145	ウエスト症候群		195	ヌーナン症候群	
146	大田原症候群		196	ヤング・シンプソン症候群	
147	早期ミオクロニー脳症		197	1p36欠失症候群	
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん		198	4p欠失症候群	1
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群		199	5p欠失症候群	
150	環状20番染色体症候群	1	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	
151	ラスムッセン脳炎		201	アンジェルマン症候群	
152	PCDH19関連症候群		202	スミス・マギニス症候群	
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎		203	22q11.2欠失症候群	
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症		204	エマヌエル症候群	
155	ランドウ・クレフナー症候群		205	脆弱X症候群関連疾患	
156	レット症候群		206	脆弱X症候群	
157	スタージ・ウェーバー症候群		207	総動脈幹遺残症	
158	結節性硬化症	2	208	修正大血管転位症	3
159	色素性乾皮症		209	完全大血管転位症	1
160	先天性魚鱗癬		210	単心室症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群		259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症		261	タンジール病	
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	262	原発性高カイロミクロン血症	
215	ファロー四徴症	2	263	脳腫黄色腫症	
216	両大血管右室起始症	2	264	無βリポタンパク血症	
217	エプスタイン病		265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群		266	家族性地中海熱	
219	ギャロウェイ・モワト症候群		267	高IgD症候群	
220	急速進行性糸球体腎炎		268	中條・西村症候群	
221	抗糸球体基底膜腎炎		269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	
222	一次性ネフローゼ症候群	13	270	慢性再発性多発性骨髄炎	
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎		271	強直性脊椎炎	12
224	紫斑病性腎炎		272	進行性骨化性線維異形成症	
225	先天性腎性尿崩症		273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	20	274	骨形成不全症	1
227	オスラー病	3	275	タナトフォリック骨異形成症	
228	閉塞性細気管支炎		276	軟骨無形成症	2
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)		277	リンパ管腫症/ゴーハム病	
230	肺胞低換気症候群		278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
231	α1-アンチトリプシン欠乏症		279	巨大静脈奇形(頸部口咽頭びまん性病変)	
232	カーニー複合		280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	
233	ウォルフラム症候群		281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)		282	先天性赤血球形成異常性貧血	
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	
236	偽性副甲状腺機能低下症		284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症		285	ファンコニ貧血	
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	6	286	遺伝性鉄芽球性貧血	
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	1	287	エプスタイン症候群	
240	フェニルケトン尿症		288	自己免疫性出血病XIII	
241	高チロシン血症1型		289	クロンカイト・カナダ症候群	
242	高チロシン血症2型		290	非特異性多発性小腸潰瘍症	
243	高チロシン血症3型		291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	
244	メーブルシロップ尿症		292	総排泄腔外反症	
245	プロピオン酸血症		293	総排泄腔遺残	
246	メチルマロン酸血症		294	先天性横隔膜ヘルニア	
247	イソ吉草酸血症		295	乳幼児肝巨大血管腫	
248	グルコーストランスポーター1欠損症		296	胆道閉鎖症	5
249	グルタル酸血症1型		297	アラジール症候群	
250	グルタル酸血症2型		298	遺伝性膀胱炎	
251	尿素サイクル異常症		299	嚢胞性線維症	
252	リジン尿性蛋白不耐症		300	IgG4関連疾患	7
253	先天性葉酸吸収不全		301	黄斑ジストロフィー	
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	
255	複合カルボキシラーゼ欠損症		303	アッシュヤー症候群	
256	筋型糖原病		304	若年発症型両側性感音難聴	
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症		306	好酸球性副鼻腔炎	7

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	・患者サポート体制充実加算
歯科外来診療環境体制加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
特定機能病院入院基本料(一般)7対1入院基本料	・ハイリスク妊婦管理加算
特定機能病院入院基本料(精神)7対1入院基本料	・ハイリスク分娩管理加算
超急性期脳卒中加算	・総合評価加算
診療録管理体制加算2	・呼吸ケアチーム加算
医師事務作業補助体制加算1(100対1)	・病棟薬剤業務実施加算1
急性期看護補助体制加算(25対1 看護補助者5割未満)	・病棟薬剤業務実施加算2
看護職員夜間配置加算(12対1・イ)	・データ提出加算2
療養環境加算	・退院支援加算2
重症者等療養環境特別加算	・精神疾患診療体制加算
無菌治療室管理加算1	・精神科急性期医師配置加算
無菌治療室管理加算2	・救命救急入院料1(小児加算、充実度A加算)
緩和ケア診療加算	・救命救急入院料4(小児加算、充実度A加算)
精神科身体合併症管理加算	・特定集治療室管理料2(小児加算含む)
精神科リエゾンチーム加算	・特定集治療室管理料3(小児加算含む)
摂食障害入院医療管理加算	・特定集治療室管理料4(小児加算含む)
栄養サポートチーム加算	・総合周産期特定集中治療室管理料1
医療安全対策加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料2
感染防止対策加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
感染防止対策地域連携加算	・小児入院医療管理料1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・糖尿病合併症管理料	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・がん患者指導管理料1	・網膜再建術
・がん患者指導管理料2	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・がん患者指導管理料3	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・外来緩和ケア管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・糖尿病透析予防指導管理料	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・院内トリアージ実施料	・センチネルリンパ節生検(片側)
・外来放射線照射診療料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・ニコチン依存症管理料	・同種死体肺移植術
・がん治療連携計画策定料	・生体部分肺移植術
・肝炎インターフェロン治療計画料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・排尿自立指導料	・経カテーテル大動脈弁置換術
・薬剤管理指導料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・医療機器安全管理料1	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・医療機器安全管理料2	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・医療機器安全管理料(歯科)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・歯科治療総合医療管理料	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・補助人工心臓
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・小児補助人工心臓
・遺伝学的検査	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・検体検査管理加算(I)	・同種心移植術
・検体検査管理加算(III)	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術

・検体検査管理加算（Ⅳ）	・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
・国際標準検査管理加算	・体外衝撃波胆石破砕術
・遺伝カウンセリング加算	・腹腔鏡下肝切除術
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・生体部分肝移植術
・胎児心エコー法	・同種死体肝移植術
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・ヘッドアップティルト試験	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・人工膵臓検査、人工膵臓療法	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
・光トポグラフィー	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・脳磁図	・同種死体腎移植術
・神経学的検査	・生体腎移植術
・補聴器適合検査	・膀胱水圧拡張術
・ロービジョン検査判断料	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・小児食物アレルギー負荷検査	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・内服・点滴誘発試験	・人工尿道括約筋植込・置換術
・ＣＴ透視下気管支鏡検査加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・画像診断管理加算１	・腹腔鏡下仙骨腔固定術
・画像診断管理加算２	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
・ポジトロン断層撮影	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・ポジトロン断層撮影・コンピューター断層複合撮影	・（医科）手術の休日加算１、時間外加算１、深夜加算１
・ＣＴ撮影及びMRI撮影	・（歯科）手術の休日加算１、時間外加算１、深夜加算１
・冠動脈ＣＴ撮影加算	・胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術含む）
・外傷全身ＣＴ加算	・輸血管理料Ⅰ
・心臓MRI撮影加算	・輸血適正使用加算
・乳房MRI撮影加算	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・自己生体組織接着剤作成術
・外来化学療法加算１	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・無菌製剤処理料	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	・凍結保存同種組織加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術

・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	・麻酔管理料（Ⅰ）
・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	・麻酔管理料（Ⅱ）
・がん患者リハビリテーション料	・放射線治療専任加算
・歯科口腔リハビリテーション料2	・外来放射線治療加算
・児童思春期精神科専門管理加算	・高エネルギー放射線治療
・精神科作業療法	・1回線量増加加算
・認知療法・認知行動療法2	・強度変調放射線治療（IMRT）
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・画像誘導放射線治療加算（IGRT）
・精神科デイ・ケア「大規模なもの」	・体外照射呼吸性移動対策加算
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	・定位放射線治療
・医療保護入院等診療料	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・（医科）処置の休日加算1、時間外加算1、深夜加算1	・画像誘導密封小線源治療加算
・（歯科）処置の休日加算1、時間外加算1、深夜加算1	・保険医療機関間の連携による病理診断
・エタノールの局所注入（甲状腺）	・レパソゾールによる術中迅速病理組織標本作製
・透析液水質確保加算1	・レパソゾールによる術中迅速細胞診
・磁気による膀胱等刺激法	・病理診断管理加算2
・CAD/CAM冠	・口腔病理診断管理加算2
・歯科技工加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・歯科矯正診断料
・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）	・顎口腔機能診断料（顎変形症（顎離断等手術必要）の手術前後における歯科矯正に係るもの）
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	・人工中耳植込術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・J109 広範囲顎骨支持型装置埋込手術	・
・D006-4ミ遺伝学的検査	・
・K939画像等手術支援加算 1ナビゲーションによるもの	・
・K047-3超音波骨折治療法	・
・K721-4早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・
・D230-2フルトホクアゾール 2 抑うつ症状の鑑別診断の補助に使用するもの	・
・K260-2羊膜移植術	・
・K939-6凍結保存同種組織加算	・
・K939画像等手術支援加算 2 実物大臓器立体モデルによるもの	・
・K865-2腹腔鏡下仙骨腫固定術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	200
剖 検 の 状 況	剖検症例数 45例 / 剖検率 16.4%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(直と間合算)

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
1	処方箋の電子化に伴う情報連携・情報利活用・プライバシー保護のあり方に関する調査研究	山本 隆一	医療経営政策学講座	6,900,000	補委 厚生労働省
2	National Clinical Database(NCD)を用いた医療の質向上に関する研究	岩中 督	小児外科	3,793,000	補委 厚生労働省
3	母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究	岡 明	小児科	5,262,000	補委 厚生労働省
4	Kenny-Caffey症候群類縁疾患の実態調査と診断指針作成のための研究	北中 幸子	小児科	744,000	補委 厚生労働省
5	レセプト情報・特定健診等情報データベースの利活用の推進に関する研究	大江 和彦	企画情報運営部	3,478,000	補委 厚生労働省
6	電子化した処方箋の標準化様式の整備と運用に関する研究	大江 和彦	企画情報運営部	6,920,000	補委 厚生労働省
7	難治性稀少部位子宮内膜症(肺・胸膜子宮内膜症、尿管・膀胱子宮内膜症、腸管子宮内膜症、臍子宮内膜症)の集学的治療のための分類・診断・治療ガイドライン作成	大須賀 穰	女性外科	6,338,000	補委 厚生労働省
8	非典型溶血性尿毒症候群(aHUS)の全国調査研究	南学 正臣	腎臓内分内分泌科	1,102,000	補委 厚生労働省
9	医療安全支援センターの業務及び運営の改善のための研究	児玉 安司	医療安全管理学講座	2,125,000	補委 厚生労働省
10	Erdheim-Chester病に関する調査研究	黒川 峰夫	血液・腫瘍内科	1,097,000	補委 厚生労働省
11	特発性造血障害に関する調査研究	荒井 俊也	血液・腫瘍内科	6,111,000	補委 厚生労働省
12	LMX1B関連腎症の実態調査および診断基準の確立	張田 豊	小児科	918,000	補委 厚生労働省
13	臨床効果データベースの連携及び効率的運用のための研究	大江 和彦	企画情報運営部	23,000,000	補委 厚生労働省
14	高齢者等における薬物動態を踏まえた用法要領設定手法の検討に関する研究	秋下 雅弘	老年病科	1,693,000	補委 厚生労働省
15	女性の健康の包括的支援のための情報収集・情報発信と医療提供体制等に関する研究	藤井 知行	女性診療科	15,385,000	補委 厚生労働省
16	四肢形成不全の疾患概念と重症度分類法の確立に関する研究	芳賀 信彦	リハビリテーション科	808,000	補委 厚生労働省
17	内耳自己免疫病の診断のための内耳特異的抗体検査法の確立に関する研究	柿木 章伸	耳鼻咽喉科	685,000	補委 厚生労働省
18	Dolichoectasiaの疾患概念確立並びに病態解明・診断基準作成に関する研究	中富 浩文	脳神経外科	770,000	補委 厚生労働省
19	尿細管性蛋白尿を呈する遺伝性疾患の全国調査	三浦 健一郎	小児科	770,000	補委 厚生労働省
20	自己免疫疾患に関する調査研究	山本 一彦	アレルギー・リウマチ内科	1,500,000	補委 厚生労働省
21	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	四柳 宏	感染症内科	500,000	補委 厚生労働省
22	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	國土 典宏	肝胆膵外科	500,000	補委 厚生労働省
23	難治性血管炎に関する調査研究	小室 一成	循環器内科	300,000	補委 厚生労働省
24	全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースのNCD長期予後入力システムの構築に関する研究	國土 典宏	肝胆膵外科	150,000	補委 厚生労働省
25	難治性血管炎に関する調査研究	赤澤 宏	循環器内科	300,000	補委 厚生労働省
26	全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースのNCD長期予後入力システムの構築に関する研究	宮田 裕章	医療品質評価学講座	1,000,000	補委 厚生労働省
27	摂食障害の診療体制整備に関する研究	吉内 一浩	心療内科	600,000	補委 厚生労働省
28	難治性血管腫・血管奇形・リンパ管腫・リンパ管腫症および関連疾患についての調査研究	岩中 督	小児外科	200,000	補委 厚生労働省
29	ミトコンドリア病の調査研究	山嵜 達也	耳鼻咽喉科	300,000	補委 厚生労働省
30	呼吸不全に関する調査研究	長瀬 隆英	呼吸器内科	100,000	補委 厚生労働省
31	認知症非薬物療法の普及促進による介護負担の軽減を目指した地域包括的ケア研究	秋下 雅弘	老年病科	600,000	補委 厚生労働省
32	がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の運用と他がん登録との連携	中川 恵一	放射線科	50,000	補委 厚生労働省

小計:32

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
33	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	齊藤 延人	脳神経外科	1,000,000	補委 厚生労働省
34	危険ドラッグ等の乱用薬物に関する分析情報の収集及び危害影響予測に関する研究	熊谷 英敏	先端臨床医学開発講座	800,000	補委 厚生労働省
35	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	芳賀 信彦	リハビリテーション科	500,000	補委 厚生労働省
36	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	岩中 督	小児外科	120,000	補委 厚生労働省
37	プリオン病及び変異性ウイルス感染症に関する調査研究	齊藤 延人	脳神経外科	200,000	補委 厚生労働省
38	プリオン病及び変異性ウイルス感染症に関する調査研究	岡 明	小児科	600,000	補委 厚生労働省
39	全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースのNCD長期予後入力システムの構築に関する研究	渡邊 聡明	大腸・肛門外科	150,000	補委 厚生労働省
40	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	渡邊 聡明	大腸・肛門外科	500,000	補委 厚生労働省
41	医療・介護分野における公的個人認証サービスを利用した情報連携に関する研究	山本 隆一	医療経営政策学講座	800,000	補委 厚生労働省
42	若年乳がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の構築	大須賀 穰	女性外科	500,000	補委 厚生労働省
43	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	筑田 博隆	整形外科	300,000	補委 厚生労働省
44	神経皮膚症候群に関する診療科横断的検討による科学的根拠に基づいた診療指針の確立	筑田 博隆	整形外科	900,000	補委 厚生労働省
45	神経変性疾患領域における基盤的調査研究	辻 省次	神経内科	400,000	補委 厚生労働省
46	運動失調症の医療基盤に関する調査研究	辻 省次	神経内科	900,000	補委 厚生労働省
47	ライソゾーム病(ファブリー病含む)に関する調査研究	辻 省次	神経内科	400,000	補委 厚生労働省
48	東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	磯島 豪	小児科	300,000	補委 厚生労働省
49	エビデンスに基づいた神経免疫疾患の早期診断基準・重症度分類・治療アルゴリズムの確立	清水 潤	神経内科	300,000	補委 厚生労働省
50	難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	國土 典宏	肝胆膵外科	200,000	補委 厚生労働省
51	医療事故におけるJust Culture(正義・公正の文化)を支える法制度の構築を目指してー医療事故の原因分析・再発防止推進のための法制度	児玉 安司	医療安全管理学講座	200,000	補委 厚生労働省
52	ペーチェット病に関する調査研究	蕪城 俊克	眼科	400,000	補委 厚生労働省
53	小児呼吸器形成異常・低形成疾患に関する実態調査ならびに診療ガイドライン作成に関する研究	岩中 督	小児外科	120,000	補委 厚生労働省
54	特発性心筋症に関する調査研究	赤澤 宏	循環器内科	150,000	補委 厚生労働省
55	特発性心筋症に関する調査研究	小室 一成	循環器内科	150,000	補委 厚生労働省
56	特発性大腿骨頭壊死症の疫学調査・診断基準・重症度分類の改訂と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設研究	田中 栄	整形外科	100,000	補委 厚生労働省
57	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業	浅野 善英	皮膚科	500,000	補委 厚生労働省
58	難治性聴覚障害に関する調査研究	山嵜 達也	耳鼻咽喉科	600,000	補委 厚生労働省
59	原発性高脂血症に関する調査研究	岡崎 啓明	糖尿病・代謝内科	150,000	補委 厚生労働省
60	小児呼吸器形成異常・低形成疾患に関する実態調査ならびに診療ガイドライン作成に関する研究	二藤 隆春	耳鼻咽喉科	120,000	補委 厚生労働省
61	非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血症及病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究	四柳 宏	感染症内科	3,000,000	補委 厚生労働省
62	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業	波多野 将	循環器内科	150,000	補委 厚生労働省
63	慢性的痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究	住谷 昌彦	緩和ケア診療部	200,000	補委 厚生労働省
64	希少難治性角膜疾患の疫学調査	山上 聡	眼科	1,100,000	補委 厚生労働省
65	慢性的痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究	松平 浩	運動器疼痛メディカルリサーチ	200,000	補委 厚生労働省
66	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	小畑 亮	眼科	100,000	補委 厚生労働省
67	後期高齢者の保健事業のあり方に関する研究	吉村 典子	関節疾患総合研究講座	300,000	補委 厚生労働省

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
68	希少がんの定義と集約化に向けたデータ収集と試行のための研究	佐々木 毅	病理部	300,000	補委 厚生労働省
69	Whole Slide Imaging(WSI)による病理診断の多施設検証研究	佐々木 毅	病理部	250,000	補委 厚生労働省
70	Web院内収集とCDISC外部送信機能を持つ汎用医学研究データ収集システム	木内 貴弘	UMINセンター	10,140,000	補委 日本学術振興会
71	CDISC標準対応症例データレポジトリシステムの構築と運用・評価	木内 貴弘	UMINセンター	2,210,000	補委 日本学術振興会
72	超音波診断装置を用いた血管外漏出の原因分析	村山 陵子	アドバンスナーシングテクノロジー講座	650,000	補委 日本学術振興会
73	グローバル化を目指した糖尿病足潰瘍評価スケールの開発	大江 真琴	アドバンスナーシングテクノロジー講座	910,000	補委 日本学術振興会
74	関節リウマチを対象としたヒト免疫学の確立	山本 一彦	アレルギー・リウマチ内科	42,640,000	補委 日本学術振興会
75	ヒトLAG3陽性制御性T細胞によるB細胞抑制能と、TGF-β3の作用機序解析	住友 秀次	アレルギー・リウマチ内科	2,080,000	補委 日本学術振興会
76	抗原感作後の抗原の経口投与による寛容誘導に関する実験的研究	原田 広顕	アレルギー・リウマチ内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
77	CD4陽性T細胞におけるTGF-β3産生の意義と誘導機構の解明	岩崎 由希子	アレルギー・リウマチ内科	2,730,000	補委 日本学術振興会
78	T細胞アナジ-関連遺伝子はいかにして制御性T細胞による自己抗体産生制御に関わるか	岡村 僚久	アレルギー・リウマチ内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
79	関節リウマチを標的とした抗原特異的新規治療戦略の開発	庄田 宏文	アレルギー・リウマチ内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
80	CD4陽性CD25陰性LAG3陽性 制御性T細胞による抗体産生制御機構の解明	森田 薫	アレルギー・リウマチ内科	900,000	補委 日本学術振興会
81	幹細胞を利用した内照射療法の基礎的検討	野村 幸世	胃・食道外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
82	次世代シーケンサーを用いた胃がんミュータノーム解析と個別化がんワクチンの開発	和田 郁雄	胃・食道外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
83	ヘルスリテラシーに着目したヘルスコミュニケーション改善のための実証研究	石川 ひろの	UMINセンター	3,380,000	補委 日本学術振興会
84	根拠に基づく医療面接教育方法開発のための医療コミュニケーション研究の基盤構築	石川 ひろの	UMINセンター	1,170,000	補委 日本学術振興会
85	頭蓋顔面形態異常における計算解剖学と計算力学を用いた外科矯正手術支援	末永英之	顎口腔外科・歯科矯正歯科	2,210,000	補委 日本学術振興会
86	低分子オステオプロテグリンとそのゲノム基盤の解明に基づく新規骨再生技術の創生	高戸毅	顎口腔外科・歯科矯正歯科	34,580,000	補委 日本学術振興会
87	サブセット制御による組織修復型マクロファージの大量増幅と組織再生療法への応用	星和人	顎口腔外科・歯科矯正歯科	7,930,000	補委 日本学術振興会
88	自家再生組織移植における危険関連分子パターンの解析と再生医療への応用	藤原夕子	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,560,000	補委 日本学術振興会 (独)科学技術振興機構
89	成熟細胞との共培養によるiPS細胞の分化・成熟促進に関する研究	西條英人	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,430,000	補委 日本学術振興会
90	マイクロイメージセンサとマイクロマシンを用いた歯内療法支援ロボットの開発	谷口明紗子	顎口腔外科・歯科矯正歯科	2,860,000	補委 日本学術振興会
91	線維性骨異形成症特異的iPS細胞による病態解明と創薬への応用	星和人	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,820,000	補委 日本学術振興会
92	遊走型間質細胞が形成する微小環境の機能解明と組織再生療法への応用	稲木涼子	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,820,000	補委 日本学術振興会
93	口腔がん多段階発がん過程におけるスフィンゴシン-1-リン酸シグナル調節機構の解明	安部貴大	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,690,000	補委 日本学術振興会
94	ラット歯周炎モデルの確立と骨形成薬剤による骨再生療法の研究	波田野典子	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,560,000	補委 日本学術振興会
95	再生前駆細胞と生体内成熟促進因子を活用した新規軟骨再生法の開発	菅野勇樹	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,430,000	補委 日本学術振興会
96	間葉系・造血系幹細胞の相互作用を活用した新規骨再生法の開発と歯科矯正治療への応用	大久保和美	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,430,000	補委 日本学術振興会
97	頭蓋顔面先天異常における三次元的平均病態把握方法の開発	須佐美隆史	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,690,000	補委 日本学術振興会
98	細胞周期制御の観点から骨吸収・骨形成を同時に制御する分子を探る	小笠原徹	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,170,000	補委 日本学術振興会
99	生体内核酸送達による骨再生法の開発に関する戦略的研究	高戸毅	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,170,000	補委 日本学術振興会
100	非侵襲的力センサ・画像認識による歯根環境実を用いた歯科矯正治療支援システムの開発	杉山円	顎口腔外科・歯科矯正歯科	780,000	補委 日本学術振興会
101	軟骨細胞の分化可塑性を活用した新規骨再生法の開発	倉林くみ子	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,950,000	補委 日本学術振興会
102	低力下より誘導された多能性幹細胞由来骨軟骨形成細胞による骨軟骨複合体作製法の樹立	菅家康介	顎口腔外科・歯科矯正歯科	1,170,000	補委 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
103	活性型Gli3及び抑制型Gli3を選択的に利用した効率的な骨再生法の確立	柏木美樹	顎口腔外科・歯科矯正 歯科	900,000	補委 日本学術振興会
104	細胞周期依存性の細胞接着変化を活用した間葉系幹細胞の高効率培養法の確立	米永一理	顎口腔外科・歯科矯正 歯科	1,430,000	補委 日本学術振興会
105	杯細胞分化のシグナル伝達の解明と治療応用	山上聡	角膜移植部	1,560,000	補委 日本学術振興会
106	視覚障害者の生活の質の定量化による正当な視覚障害等級の検討	加藤聡	眼科・視覚矯正科	1,820,000	補委 日本学術振興会
107	鼻涙管閉塞における分子メカニズムの検討	大友一義	眼科・視覚矯正科	1,560,000	補委 日本学術振興会
108	視覚障害者用コンピューター適合型QOLスコアリングシステムの開発	平澤裕代	眼科・視覚矯正科	2,340,000	補委 日本学術振興会
109	狂犬病ウイルスを用いた網膜神経節細胞と大脳視覚領域との多シナプス性構造基盤の解明	澤村裕正	眼科・視覚矯正科	1,690,000	補委 日本学術振興会
110	本態性眼瞼痙攣の疾患感受性遺伝子の研究	蕪城俊克	眼科・視覚矯正科	2,210,000	補委 日本学術振興会
111	次世代視野測定アルゴリズムの開発	朝岡亮	眼科・視覚矯正科	650,000	補委 日本学術振興会
112	角膜瘻痕に対する画期的核酸医薬の開発	臼井智彦	眼科・視覚矯正科	1,690,000	補委 日本学術振興会
113	視細胞におけるミトコンドリアの生理、病理学的役割の検証	上田高志	眼科・視覚矯正科	1,560,000	補委 日本学術振興会
114	結膜線維芽細胞から角膜内皮細胞へのdirect reprogramming	中川卓	眼科・視覚矯正科	1,170,000	補委 日本学術振興会
115	iPS細胞から角膜内皮細胞への分化誘導および新規角膜再生医療法の開発	愛新覚羅維	眼科・視覚矯正科	1,000,000	補委 日本学術振興会
116	自己反応性T細胞の新規分化経路の自己免疫制御における役割の解明	赤平理紗	アレルギー・リウマチ内科	910,000	補委 日本学術振興会
117	ビタミンD不足が要介護の原因5大疾患に及ぼす影響の解明:住民コホート10年の追跡	吉村典子	関節疾患総合研究講座	1,300,000	補委 日本学術振興会
118	ロコモとメタボと認知症の相互作用の解明:住民コホート10年間の追跡	吉村典子	関節疾患総合研究講座	5,200,000	補委 日本学術振興会
119	C型肝炎におけるクリオグロブリンの生成機序の解明	四柳宏	感染症内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
120	近位尿管輸送とエンドサイトーシスにおけるV-ATPase/mTORCの意義	鈴木正志	感染制御部	2,340,000	補委 日本学術振興会
121	バイオマーカーを用いた肝細胞癌の新規画像診断システムの構築と治療への応用的展開	國土典宏	肝胆膵外科	5,850,000	補委 日本学術振興会
122	肝細胞癌特有のc-Met活性化機構に着目した化学療法戦略の構築	唐子堯(唐偉)	肝胆膵外科	1,950,000	補委 日本学術振興会
123	周術期化学療法の大腸癌肝転移に対する局所制御能の基礎的検討	長谷川潔	肝胆膵外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
124	肝切除術後動物癒着モデルを用いた新規癒着防止材料の開発	清水篤志	肝胆膵外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
125	ヒト型ロボットと脳計算論によるCRPS知覚-運動協応モデルの開発と治療機序解明	住谷昌彦	緩和ケア診療部	780,000	補委 日本学術振興会
126	急性腎障害における心腎連関とミトコンドリア障害	土井研人	救命救急センター	1,300,000	補委 日本学術振興会
127	院内感染に伴う重症敗血症の発症メカニズム解析	中島勸	救命救急センター	1,690,000	補委 日本学術振興会
128	超微小外科技術を応用したリンパ外科手術手技確立と国際共同研究	光嶋勲	形成外科・美容外科	3,250,000	補委 日本学術振興会
129	超微細血管吻合を用いた新しい小臓器・複合組織移植実験モデルの技術確立と機能解析	飯田拓也	形成外科・美容外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
130	特発性リンパ浮腫と特発性リンパ性胸腹水の病態解明と外科的治療確立	原尚子	形成外科・美容外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
131	In vivo 活イカ巨大軸索を用いた早期可逆的軸索機能回復の可能性に関する研究	成島三長	形成外科・美容外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
132	骨髄異形成症候群の造血抑制における、細胞競合の役割の解明	黒川峰夫	血液・腫瘍内科	5,850,000	補委 日本学術振興会
133	ヒト人工多能性幹細胞を用いた移植可能な造血幹細胞の作成	田岡和城	血液・腫瘍内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
134	白血球幹細胞におけるオートファジーの機能的意義の解明と白血病治療への応用の検討	渡谷久美(中崎久美)	血液・腫瘍内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
135	モデルマウスを用いた低形成性白血病の病態解析	荒井俊也	血液・腫瘍内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
136	iPS細胞を用いた顆粒球輸血療法確立を目指した科学的基盤形成	吉見昭秀	血液・腫瘍内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
137	家族性骨髄異形成症候群の原因遺伝子およびその分子機構の解明	高岡賢輔	血液・腫瘍内科	1,200,000	補委 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
138	急性骨髄性白血病で選択的スプライシングをうける遺伝子の機能解析	木暮泰寛	血液・腫瘍内科	1,000,000	補助 日本学術振興会
139	白血病幹細胞レポーターマウスを用いた白血病幹細胞維持機構の解明と特異的治療の開発	宇仁暢大	血液・腫瘍内科	1,200,000	補助 日本学術振興会
140	AML白血病幹細胞分画におけるnoncoding RNAの発現異常や変異の同定	山崎翔	血液・腫瘍内科	1,000,000	補助 日本学術振興会
141	iPS化技術を用いた慢性骨髄性白血病幹細胞分画におけるイマチニブ耐性機構の解明	宮内将	血液・腫瘍内科	910,000	補助 日本学術振興会
142	骨髄異形成症候群患者由来iPS細胞の樹立および病態解析・治療法の探索	本田晃	血液・腫瘍内科	1,000,000	補助 日本学術振興会
143	白血病幹細胞に特異的な新規表面抗原の探索および機能解析	貫名有香	血液・腫瘍内科	1,200,000	補助 日本学術振興会
144	閉塞性動脈硬化症(ASO)関連遺伝子解析・機能解析	宮田哲郎	血管外科	1,300,000	補助 日本学術振興会
145	ナノDDSを用いた虚血肢に対する治療法確立	西山綾子	血管外科	2,860,000	補助 日本学術振興会
146	腹部および胸部大動脈瘤破裂リスク予知の指標作成に向けた、医工連携アプローチ	保科克行	血管外科	1,560,000	補助 日本学術振興会
147	化学感覚受容体を標的とした常在性腸内細菌叢の産生する生理活性代謝産物の探索	森田啓行	健康医科学創造講座	3,770,000	補助 日本学術振興会
148	リポクオリティを切り口としたヒト疾患の理解	矢富裕	検査部	16,900,000	補助 日本学術振興会
149	リゾリン脂質の病態検査学の確立	矢富裕	検査部	11,180,000	補助 日本学術振興会
150	代償性僧帽弁伸展の破綻:3次元心エコーによる新たな虚血性僧帽弁逆流発症機序の解明	大門雅夫	検査部	2,080,000	補助 日本学術振興会
151	アポ蛋白Mを用いた播種性血管内凝固症候群、多臓器不全の新規治療法の確立	蔵野信	検査部	2,210,000	補助 日本学術振興会
152	LTβ Rシグナルに着目したCOPD病態解明	三上優	検査部	1,430,000	補助 日本学術振興会
153	造血管腫瘍におけるオートタキシンの診断マーカーとしての意義	増田亜希子	検査部	1,820,000	補助 日本学術振興会
154	肝癌発症予防を目的とした肝癌関連分子MICAの小分子核酸による発現制御法の開発	佐藤雅哉	検査部	1,430,000	補助 日本学術振興会
155	交感神経によるエピジェネティック制御と心腎連関	下澤達雄	検査部	1,690,000	補助 日本学術振興会
156	高血圧患者における不眠症の診断および治療意義の検討	中尾倫子	検査部	1,820,000	補助 日本学術振興会
157	グルコース測定法で誤差を生じる薬剤の調査とその回避法の開発	久米 幸夫	検査部	300,000	補助 日本学術振興会
158	MALDI-TOF MSを使用したカルバペネマーゼ産生菌検出法の確立	児矢野 早穂	検査部	400,000	補助 日本学術振興会
159	転写因子ARID5Bの高脂肪食による肥満症における役割	大関敦子	検診部	1,950,000	補助 日本学術振興会
160	大腸癌におけるコリバクチン産生性大腸菌の病原性の検討とスクリーニング法の開発	吉田俊太郎	光学医療診療部	1,950,000	補助 日本学術振興会
161	代表的肺難治性疾患の発症関連遺伝子解明と創薬への応用	長瀬隆英	呼吸器内科	6,890,000	補助 日本学術振興会
162	気道炎症におけるZC3H12A/MCPIPの機能解析	山内康宏	呼吸器内科	1,690,000	補助 日本学術振興会
163	肺扁平上皮癌におけるFGFR1の役割とFGFR阻害薬への耐性化を来す機序の解明	天野陽介	呼吸器内科	2,080,000	補助 日本学術振興会
164	肺癌及び肺線維症における転写共役因子TAZの機能解析-肺間質に焦点を当てて-	野口智史	呼吸器内科	1,950,000	補助 日本学術振興会
165	マイクロダイセクションによる間質性肺炎の早期線維化巣からの病態関連因子の抽出と応用	漆山博和	呼吸器内科	1,950,000	補助 日本学術振興会
166	肺がんにおけるRNA編集の異常に着目した個別化医療の確立	渡邊広祐	呼吸器内科	2,340,000	補助 日本学術振興会
167	チック障害の予後予測因子の検討	金生由紀子	こころの発達診療部	3,380,000	補助 日本学術振興会
168	強迫スペクトラム障害における反復行動の行動表現型及びQOLと機能への影響の検討	金生由紀子	こころの発達診療部	1,690,000	補助 日本学術振興会
169	マルチモダル非侵襲脳計測を用いた発達障害児の自己/他者認知ネットワークの解明	川久保友紀	こころの発達診療部	1,040,000	補助 日本学術振興会
170	注意欠如多動性障害患児に対する薬物、心理社会的治療の選択のための客観的指標の開発	石井礼花	こころの発達診療部	1,820,000	補助 日本学術振興会
171	変形性膝関節症の治療薬を目指した関節軟骨最表層を再生誘導する低分子化合物の探索	矢野文子	骨・軟骨再生医療講座	1,170,000	補助 日本学術振興会
172	軟骨保護・再生因子Runx1をターゲットとした変形性関節症の治療標的分子の探索	矢野文子	骨・軟骨再生医療講座	7,800,000	補助 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
173	蓄尿機能障害ラットモデルにおける求心性神経活動と膀胱微小収縮の病態機能解析	相澤直樹	コンチネンス医学講座	1,170,000	補委 日本学術振興会
174	オンライン学習および転移学習の併用による画像診断支援システムの動的高性能化	野村行弘	コンピューター画像診断学/予防医学講座	1,040,000	補委 日本学術振興会
175	生体分子イメージングを用いた代謝疾患における免疫細胞賦活化機構の解明	長崎実佳	コンピューター画像診断学/予防医学講座	1,430,000	補委 日本学術振興会
176	オートファジーの内耳生理機能および加齢性内耳障害への関与	藤本千里	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	5,070,000	補委 日本学術振興会
177	聴覚・平衡機能の加齢による障害の機序の解明と治療戦略の確立	山岨達也	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	8,450,000	補委 日本学術振興会
178	内耳におけるミトコンドリア機能の定量的評価法の確立	藤本千里	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	910,000	補委 日本学術振興会
179	ミトコンドリア・蝸牛神経系の in situ 3次元イメージング	吉川弥生	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
180	直線加速・回転加速刺激による動物用前庭誘発脳電位検査の開発	岩崎真一	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
181	下咽頭癌に於ける接着斑キナーゼ(FAK)発現の分子生物学的役割と予後の検討	小村豪	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
182	患者由来腫瘍異種移植片モデルを用いた腺様嚢胞癌の進展機序の解明	安藤瑞生	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,950,000	補委 日本学術振興会
183	好酸性球性副鼻腔炎における局所IgE産生のメカニズムと病態生理への関与の解析	馬場信太郎	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
184	加齢による時間分解能の劣化が日常音場での語音聴取に与える影響	越智篤	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
185	内耳障害において細胞内タンパク質分解系による生体制御機構が果たす役割の解明	岩崎真一	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	3,510,000	補委 日本学術振興会
186	難治性嗅神経障害の病態生理解明とその診断・治療法開発のための分子生物学的研究	近藤健二	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	2,990,000	補委 日本学術振興会
187	蝸牛神経核における音声情報処理機構の解明	狩野章太郎	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
188	加齢と廃用による嚥下障害に対する分岐鎖アミノ酸の効果に関する基礎的・臨床的研究	二藤隆春	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
189	エッセンシャルオイルの耳科領域応用への基礎的研究	檉尾明憲	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
190	前庭系の加齢性変化抑制と機能回復に関する基礎的研究	牛尾宗貴	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,950,000	補委 日本学術振興会
191	嗅覚入力が生体嗅覚細胞の成熟過程に及ぼす影響の検討	菊田周	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
192	ミトコンドリア機能障害による難聴の新規治療法の開発	山岨達也	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
193	生体共焦点・多光子イメージングによる内耳聴覚生理と病態生理の解明	松本有	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
194	分子生物学的手法による本邦中咽頭扁平上皮癌の予後リスクの層別化	齊藤祐毅	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
195	腺様嚢胞癌における神経周囲浸潤を規定する分子メカニズムの解明	小林謙也	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	260,000	補委 日本学術振興会
196	急性中耳炎における粘膜炎形成の制御に関わる新たな増殖因子の検索	鈴川佳吾	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	780,000	補委 日本学術振興会
197	感冒後嗅覚障害の病態生理解明と治療への応用	金谷佳織	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
198	内耳DDSを用いたCMV難聴の治療戦略	高浪太郎	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	999,464	補委 日本学術振興会
199	MnSOD遺伝子改変動物による内耳活性酸素種処理機構の解明	木下淳	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
200	グルタチオン感受性蛍光プローブを用いた頭頸部癌における酸化ストレス耐性機構の解明	吉田昌史	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
201	膵β細胞と前駆細胞の維持・分化・脱分化の機構の解明と、糖尿病治療の基盤技術の創出	杉山拓也	脂肪細胞機能制御学講座	2,080,000	補委 日本学術振興会
202	脂肪組織の褐色化と肥満の遺伝素因のゲノム・エピゲノム連関	脇裕典	脂肪細胞機能制御学講座	2,340,000	補委 日本学術振興会
203	褐色脂肪細胞特異的転写制御におけるクロマチン構造変化とエピゲノム制御の役割	脇裕典	脂肪細胞機能制御学講座	5,330,000	補委 日本学術振興会
204	次世代型医療器材に対応する洗浄法の開発と評価	齋藤祐平	手術部	2,080,000	補委 日本学術振興会
205	細胞老化による脂肪細胞新生ニッチの変容と脂肪組織炎症慢性化機序の解明	眞鍋一郎	循環器内科	3,510,000	補委 日本学術振興会
206	心筋細胞の分化と破綻におけるエピゲノム機構の解析	小室一成	循環器内科	14,430,000	補委 日本学術振興会
207	Handgrip 負荷スペクトルトラッキング法を用いた糖尿病性心筋障害の病態解明	川田貴之	循環器内科	1,560,000	補委 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
208	内因性心筋再生の増幅を目的とした心筋細胞Hippo-YAP経路の制御方法の開発	武田憲文	循環器内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
209	腹部大動脈瘤への心臓リハビリテーションの安全性の確立と保護的作用について	中山敦子	循環器内科	2,470,000	補委 日本学術振興会
210	心線維化におけるマクロファージ極性変化の役割	安部元	循環器内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
211	心不全における心筋細胞のheterogeneityの意義とその誘導因子の解明	野村征太郎	循環器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
212	HIF- α を介する炎症プロセスの活性化および終息機構の解明	仙波宏章	循環器内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
213	脳神経システムと血管機能の連関の検討	網谷英介	循環器内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
214	脂肪幹細胞を軸とした、脂肪組織機能異常と脂肪・臓器連関の分子メカニズムの解明	松本佐保姫	循環器内科	1,820,000	補委 日本学術振興会
215	心不全における腸内細菌叢の機能的役割の解明	赤澤宏	循環器内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
216	炎症性マクロファージにおける機能的lncRNAの同定と機能解析	中山幸輝	循環器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
217	転写因子KLF5による摂食調節機構の解明	小島敏弥	循環器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
218	疾患特異的iPS細胞を用いた心筋症の病態解明、創薬研究	伊藤正道	循環器内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
219	成獣心筋細胞の分裂機序の解明と心筋再生医療への応用	原弘典	循環器内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
220	新規Wntシグナル制御系を標的とした抗癌剤の開発	藤城光弘	消化器内科	7,540,000	補委 日本学術振興会
221	B型肝炎ウイルスと炎症と過栄養による肝発癌スバイラルの解明	小池和彦	消化器内科	8,450,000	補委 日本学術振興会
222	小腸幹細胞を用いた難治性小腸疾患モデルの作成と治療法の開発	山田篤生	消化器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
223	膵多段階発癌におけるmicroRNAの発現動態とその診断治療への応用	山本夏代	消化器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
224	硬化性胆管炎マウスモデルを用いた胆管癌起源細胞の同定	内野康志	消化器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
225	患者由来膵癌異種移植腫瘍を用いたエピジェネティック因子を標的とした新規治療の開発	山本恵介	消化器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
226	後天的ゲノム修飾解析によるIPMN発癌の本態解明	多田稔	消化器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
227	膵癌進展を規定する細胞表面分子の同定と標的化	中井陽介	消化器内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
228	肝内胆管癌におけるIDH変異の生物学的意義の統合的解析	木暮宏史	消化器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
229	脂質代謝経路を標的としたNASH発癌予防と進展抑止策;新規マウスモデルによる検討	中川勇人	消化器内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
230	非コード反復配列RNAの発現を主因とした多段階発癌の発癌機構の解明と制御	大塚基之	消化器内科	4,940,000	補委 日本学術振興会
231	膵癌の生物学的悪性度に関わるデスモプラジアにおける線維芽細胞の腫瘍への応答の解明	伊佐山浩通	消化器内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
232	「胃分化」の分子基盤解析に基づく胃発癌ならびに胃癌組織型決定機構の解明	山道信毅	消化器内科	780,000	補委 日本学術振興会
233	肝特異的microRNAの発現低下に伴う細胞内代謝物量変化とその肝癌治療への応用	近藤祐嗣	消化器内科	910,000	補委 日本学術振興会
234	肝疾患におけるHippo pathwayの役割	浅岡良成	消化器内科	1,040,000	補委 日本学術振興会
235	肝細胞癌における直鎖状ポリユビキチン鎖の役割の解明	建石良介	消化器内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
236	胃食道接合部癌の幹細胞の同定と応用による治療法の開発	平田喜裕	消化器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
237	炎症性腸疾患における腸間膜脂肪組織の機能の解明	小林由佳	消化器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
238	HBV複製におけるエピジェネティクス制御機構の解明と新規抗ウイルス療法の開発	田中康雄	消化器内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
239	消化管内視鏡における抗血栓薬の適正使用に関する研究	小野敏嗣	消化器内科	650,000	補委 日本学術振興会
240	炎症に伴うmicroRNA機能不全を一因とした胃癌・肝癌の病態解明と制御法の開発	吉川剛史	消化器内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
241	膵の発癌過程で異常高発現する反復配列RNAによる細胞恒常性破綻の分子機構の解明	岸川孝弘	消化器内科	1,040,000	補委 日本学術振興会
242	新規の胃炎発癌モデルによる胃炎-化生-発癌過程の細胞系譜的および免疫学的解析	木下裕人	消化器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
243	消化器がんにおけるDNA脱メチル化酵素TET1の役割の検討～がんの発生と進展～	工藤洋太郎	消化器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
244	膵癌におけるBMPシグナルの役割の検討	宮林弘至	消化器内科	2,600,000	補委 日本学術振興会
245	FAM111Aの骨成長、ミネラル代謝における役割の解明	磯島豪	小児科	1,560,000	補委 日本学術振興会
246	先天性中枢性性腺機能低下症に伴う糖・脂質代謝異常症における新規疾患成立機序の解明	佐藤直子	小児科	1,690,000	補委 日本学術振興会
247	川崎病血管炎における自然免疫系の果たす役割の検討	平田陽一郎	小児科	1,560,000	補委 日本学術振興会
248	先天性腎尿路奇形の新規原因遺伝子の同定-CBWD1の腎臓発生における役割	神田祥一郎	小児科	2,080,000	補委 日本学術振興会
249	小児固形腫瘍の転移・再発を制御するクロン進化の時空的かつ網羅的ゲノム解析	滝田順子	小児科	4,810,000	補委 日本学術振興会
250	膜性増殖性糸球体腎炎におけるメサングウム細胞内シグナルの病態生理学的意義の解明	鶴見晴子	小児科	1,560,000	補委 日本学術振興会
251	気管支喘息に対する分子病態に基づいた新規ペプチド療法の開発	安戸裕貴	小児科	1,690,000	補委 日本学術振興会
252	先端的ゲノミクスによる小児横紋筋肉腫の新規転座とクロン進化の解析	西村力	小児科	1,300,000	補委 日本学術振興会
253	包括的ゲノムスクニングによる小児がんと先天奇形症候群の新規治療戦略の開発	滝田順子	小児科	1,430,000	補委 日本学術振興会
254	低身長関連新規因子による成長の機序解析と治療への応用	北中幸子	小児科	1,430,000	補委 日本学術振興会
255	パーソナルゲノミクスに基づくファロー四徴症の遺伝的成因の解明	犬塚亮	小児科	1,300,000	補委 日本学術振興会
256	蛋白尿発症に関わる腎上皮細胞の運動能の解析	梶保祐子	小児科	1,000,000	補委 日本学術振興会
257	カハール介在細胞に着目した胎便関連性腸閉塞の発症機序に関する臨床病理学的検討	吉田真理子	小児外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
258	内視鏡手術におけるスコピストの演技評価とトレーニングシステム開発に関する研究	石丸哲也	小児外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
259	安全な小児内視鏡手術のためのIntelligent Port Systemの開発	岩中督	小児外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
260	テーラーメイド手術を目指した小児内視鏡手術用シミュレーターの構築	岩中督	小児外科	2,600,000	補委 日本学術振興会
261	iPSCを用いた分化誘導癌幹細胞モデル(子宮頸癌モデル)に関する研究	足立克之	女性外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
262	着床前期胚特異的遺伝子を用いたiPS細胞のpotencyと安全性に関する検討	平田哲也	女性外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
263	子宮体癌・卵巣癌においてアポトーシスを誘導する新規分子標的治療法の探索	織田克利	女性外科	1,950,000	補委 日本学術振興会
264	子宮における着床成立に関与する新規因子の同定	藤田知子	女性外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
265	腫瘍微小環境の新規トランスクリプトーム解析	田口歩	女性外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
266	卵巣明細胞腺癌における細胞死誘導に着目した新規治療法の確立	樫山智子	女性外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
267	子宮-胚間の協調的なエピゲノム調節と胚の活性化	廣田泰	女性診療科・産科	4,680,000	補委 日本学術振興会
268	妊娠における子宮内膜上皮形成の分子機構とその破綻	廣田泰	女性診療科・産科	6,630,000	補委 日本学術振興会
269	脂質シグナル経路とプロゲステロンに着目した妊娠初期子宮内微小環境制御機構の解明	藤井知行	女性診療科・産科	8,840,000	補委 日本学術振興会
270	着床期の子宮内膜変化と胚受容能獲得のメカニズム	藤田知子	女性診療科・産科	1,950,000	補委 日本学術振興会
271	抗プロテアーゼ分子に着目した子宮頸管熟化制御機構の解明と早産予防療法の開発	永松健	女性診療科・産科	2,340,000	補委 日本学術振興会
272	抗老化を目的としたヒト卵巣における新規酸化ストレス経路の解明	平池修	女性診療科・産科	1,430,000	補委 日本学術振興会
273	進行性・転移性卵巣癌におけるPar3複合体の機能解析とEMT阻害剤開発への応用	長阪一憲	女性診療科・産科	2,210,000	補委 日本学術振興会
274	拡散反射分光法を用いた分娩時リアルタイム胎児脳機能評価法の開発	藤井知行	女性診療科・産科	2,470,000	補委 日本学術振興会
275	低酸素誘導因子による子宮内膜調節と着床	廣田泰	女性診療科・産科	3,640,000	補委 日本学術振興会
276	早産におけるプロゲステロンの標的遺伝子の同定と機能解析	金谷真由子	女性診療科・産科	3,640,000	補委 日本学術振興会
277	卵巣癌・子宮体癌におけるタンパク質メチル化を標的とした新規分子標的治療薬の開発	曾根献文	女性診療科・産科	1,950,000	補委 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
278	子宮内膜症の病態における樹状細胞の関与の解明と治療戦略	泉玄太郎	女性診療科・産科	1,950,000	補委 日本学術振興会
279	子宮内膜症術後女性における生殖補助医療の費用対効果分析	山本直子	女性診療科・産科	1,560,000	補委 日本学術振興会
280	HPV特異的T細胞の再生医療(T-iPS)を用いた子宮頸癌の細胞療法に関する研究	川名敬	女性診療科・産科	5,460,000	補委 日本学術振興会
281	プロゲステロン抵抗性に着目した、早産の治療標的分子の検索	廣田泰	女性診療科・産科	4,940,000	補委 日本学術振興会
282	小胞体ストレス応答の、卵胞発育過程における血管新生調節作用の検討	原田美由紀	女性診療科・産科	1,950,000	補委 日本学術振興会
283	子宮内膜症の病因病態における腹腔内貪食細胞の関与	甲賀かをり	女性診療科・産科	1,950,000	補委 日本学術振興会
284	分子シャペロンHSP70の妊娠における機能の解明と新規早産予防法の開発	山下隆博	女性診療科・産科	910,000	補委 日本学術振興会
285	子宮体癌・子宮内膜間質肉腫におけるアロマトゲンヒビターの有用性に関する検討	有本貴英	女性診療科・産科	1,300,000	補委 日本学術振興会
286	CD1d-iNKT系が妊娠に及ぼす影響についての検討	河合有希	女性診療科・産科	65,000	補委 日本学術振興会
287	子宮内膜症の発展・進展におけるストレス応答の関与	長谷川亜希子	女性診療科・産科	1,560,000	補委 日本学術振興会
288	子宮内膜症における線維化、EMTについての検討	齊藤亜子	女性診療科・産科	1,560,000	補委 日本学術振興会
289	iPS細胞技術を利用した、女性器腫瘍免疫療法の新規開発	南川淳隆	女性診療科・産科	1,200,000	補委 日本学術振興会
290	エピゲノム調節に着目した子宮の胚受容能獲得機序の解明	原口広史	女性診療科・産科	1,000,000	補委 日本学術振興会
291	SIRT3欠損マウスを使用したROSによる卵巣機能低下の機構の解明と救済	磯野渉	女性診療科・産科	800,000	補委 日本学術振興会
292	アデノシンシグナル経路を介した妊娠高血圧腎症の病態機序の解明と治療的可能性の検討	入山高行	女性診療科・産科	1,560,000	補委 日本学術振興会
293	神経修飾法による新しい運動障害治療の開発	濱田雅	神経内科	5,330,000	補委 日本学術振興会
294	COQ2変異に基づく多系統萎縮症の病態機序解明とサロゲートマーカーの開発	辻省次	神経内科	7,150,000	補委 日本学術振興会
295	多系統萎縮症のバイオマーカー探索	三井純	神経内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
296	筋炎の病型・病理像ごとの筋組織を用いた網羅的発現プロファイルによる筋炎の病態解明	清水潤	神経内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
297	安静時fMRIを用いた前臨床期アルツハイマー病画像バイオマーカーの開発	林俊宏	神経内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
298	筋内CD8陽性T細胞のトランスクリプトーム解析による自己免疫学的炎症病態の解明	作石かおり	神経内科	1,040,000	補委 日本学術振興会
299	パーキンソン関連疾患のレボドパ治療抵抗性症状に対する磁気刺激治療の開発	濱田雅	神経内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
300	超ロングリードを用いた包括的全ゲノム配列解析の確立と神経疾患解明への応用	石浦浩之	神経内科	2,470,000	補委 日本学術振興会
301	細胞核内タンパク質品質管理機構の解明によるポリグルタミン病の新規病態解明	岩田淳	神経内科	3,380,000	補委 日本学術振興会
302	振動分光技術を用いた非標識α-シヌクレインのin vivo定量的測定法の開発	長島優	神経内科	650,000	補委 日本学術振興会
303	視床を用いた神経核形成メカニズムの多段階解析	蛭子はるか	神経内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
304	ラマン分光法によるAlzheimer病凝集タンパク質の定量的測定技術の開発	長島優	神経内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
305	Exome解析を用いた副腎白質ジストロフィーの表現型規定因子の解析研究	松川敬志	神経内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
306	カルシウムホメオスタシスに着目した新規肝細胞癌治療薬の開発	稲垣善則	人工臓器・移植外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
307	肝がんのインドシアニン・グリーン蛍光機序解明と近赤外光線力学的療法の開発	金子順一	人工臓器・移植外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
308	低酸素シグナルが拓く生活習慣病の新しい病態制御	南学正臣	腎臓・内分泌内科	24,570,000	補委 日本学術振興会
309	腎臓病における代謝リプログラミングと hypoxic memoryの解明	南学正臣	腎臓・内分泌内科	6,630,000	補委 日本学術振興会
310	Whole exomeを用いた非典型性溶血性尿毒症症候群の遺伝子診断方法の確立	加藤秀樹	腎臓・内分泌内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
311	腎組織レニン・アンジオテンシン系と腎糖新生の制御による糖尿病治療	藤乗嗣泰	腎臓・内分泌内科	1,820,000	補委 日本学術振興会
312	培養単離尿管遺伝子発現調節系を用いた近位尿管管腔側輸送体の解析	中村元信	腎臓・内分泌内科	2,340,000	補委 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
313	FGF23産生調節に関する新規遺伝子の同定	木下祐加	腎臓・内分泌内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
314	生体におけるリン感知機構の解明	伊東伸朗	腎臓・内分泌内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
315	慢性腎臓病と異常腸内細菌叢による悪循環「腸腎連関」の病態生理の解明	大瀬貴元	腎臓・内分泌内科	1,170,000	補委 日本学術振興会
316	ヒト腎尿管に特有なエンドレリン・一酸化窒素の作用と調節機構の意義	堀田晶子	腎臓・内分泌内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
317	慢性腎臓病における低酸素転写調節因子の病態制御機構	田中哲洋	腎臓・内分泌内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
318	有機ルミネッセンスを用いた in vivo の体内臓器酸素化評価方法の開発	南学正臣	腎臓・内分泌内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
319	TRPV4を標的とした抗炎症作用による腎臓病新規治療の開発	川上貴久	腎臓・内分泌内科	1,820,000	補委 日本学術振興会
320	腎線維化に寄与する非翻訳RNAの同定およびその転写制御機構の解明	三村維真理	腎臓・内分泌内科	1,820,000	補委 日本学術振興会
321	DPP4阻害薬の腎線維化抑制および慢性低酸素に対する影響に関する検討	東島佳毅	腎臓・内分泌内科	900,000	補委 日本学術振興会
322	血流影響下での同種心臓弁・血管移植後石灰化に対する炭酸ランタンによる抑制法の検証	山内治雄	心臓外科	2,730,000	補委 日本学術振興会
323	先天性心臓外科手術の成績向上を目指した全国的データベースの構築および解析	平田康隆	心臓外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
324	脱細胞心臓・血管マトリックスへの分化細胞生着による移植グラフトの作成	北原 大翔	心臓外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
325	EMIを目指した心身両面からの生活習慣改善自己管理ツールの開発	吉内一浩	心療内科	1,170,000	補委 日本学術振興会
326	元素成分推定を可能にするMulti-Energy CT再構成アルゴリズム法の開発	芳賀昭弘	診療放射線管理室	1,950,000	補委 日本学術振興会
327	創薬開発を目指した変形性関節症の戦略的統合研究	川口浩	整形外科・脊椎外科	8,710,000	補委 日本学術振興会
328	次世代シーケンサーを用いた骨組織のエピジェネティクスと細胞間ネットワークの解明	田中栄	整形外科・脊椎外科	9,230,000	補委 日本学術振興会
329	治療標的分子探索を目指したNF-κBシグナルの関節軟骨維持・変性制御機構の解明	小林寛	整形外科・脊椎外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
330	転写因子Hes1による関節疾患発症の制御機構の解明	武富修治	整形外科・脊椎外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
331	転写因子群C/EBPファミリーによる関節疾患制御	森崎裕	整形外科・脊椎外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
332	変形性関節症モデル動物における歩行の高速度3次元解析による関節痛治療評価法の開発	齋藤琢	整形外科・脊椎外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
333	実用化を目指したヒトiPS細胞の軟骨分化誘導法の確立	齋藤琢	整形外科・脊椎外科	4,550,000	補委 日本学術振興会
334	次世代シーケンサーによる骨巨細胞腫の病態解明と新規治療ターゲットの探索	田中健之	整形外科・脊椎外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
335	マルファン症候群における脊柱過成長および側弯症発症のメカニズム解明を目指した研究	谷口優樹	整形外科・脊椎外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
336	変形性関節症への臨床応用を目指したTaceシグナルの網羅的機能解析	乾洋	整形外科・脊椎外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
337	関節リウマチ患者における手および足X線画像全自動評価システムの開発	田中栄	整形外科・脊椎外科	780,000	補委 日本学術振興会
338	DIOファミリー分子と甲状腺ホルモンシグナルによる関節軟骨制御機構の解明	山神良太	整形外科・脊椎外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
339	有尾両生類の高度な関節軟骨再生能の解明と哺乳類への応用法の検討	筑田博隆	整形外科・脊椎外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
340	変形性関節症治療への応用を目指したS100a1の関節軟骨保護作用の検討	森芳史	整形外科・脊椎外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
341	関節・脊椎の維持・変性における酸素環境の役割と転写因子HIFによる制御機構の解明	岡田慶太	整形外科・脊椎外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
342	血友病性関節症の新しい治療法開発に関する研究	廣瀬 旬	整形外科・脊椎外科	1,950,000	補委 日本学術振興会
343	自己制御精神総括班	笠井清登	精神神経科	18,980,000	補委 日本学術振興会
344	分子から社会までの統合的アプローチによる自己制御の形成・修復支援	笠井清登	精神神経科	46,540,000	補委 日本学術振興会
345	一卵性双生児統合失調症不一致例及び健常一致例の遺伝子発現解析	垣内千尋	精神神経科	1,950,000	補委 日本学術振興会
346	神経オンシレーション間相互作用の統合失調症研究への応用	切原賢治	精神神経科	1,430,000	補委 日本学術振興会
347	統合失調症・気分障害における「寛解」と「回復」の脳機能基盤に関する縦断的研究	滝沢龍	精神神経科	1,690,000	補委 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
348	オキシチン作用機序を手がかりに新たな自閉症治療標的を示す橋渡し研究	ベナー聖子	精神神経科	1,560,000	補委 日本学術振興会
349	神経発達障害モデルマウスを用いた統合失調症様行動におけるLINE-1の関与	村田唯	精神神経科	1,000,000	補委 日本学術振興会
350	統合失調症早期段階における γ オシレーション減弱のメカニズムの解明	多田真理子	精神神経科	1,560,000	補委 日本学術振興会
351	統合失調症におけるDPYDとIGHMの関与についての検討	西村文親	精神神経科	1,560,000	補委 日本学術振興会
352	標準データモデルの導入による臨床研究データマネジメント基盤技術の開発	岡田昌史	UMINセンター	1,430,000	補委 日本学術振興会
353	マイクロサテライト不安定性を呈する発癌機構の統合的理解と新たな治療体系の確立	渡邊聡明	大腸・肛門外科	8,710,000	補委 日本学術振興会
354	大腸癌および炎症性腸疾患に関わるVDRの高次機能の解明	山本陽子	大腸・肛門外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
355	胃癌腹膜播種の早期診断・モニタリングを目指した新規バイオマーカーの確立	山口博紀	大腸・肛門外科	2,340,000	補委 日本学術振興会
356	胸管を利用したリンパ管逆行性抗癌剤投与法の開発	田中潤一郎	大腸・肛門外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
357	潰瘍性大腸炎合併Dysplasiaの悪性度診断における癌幹細胞同定の有用性の検討	風間伸介	大腸・肛門外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
358	CPT-11によるHIF-1 α の抑制-大腸癌放射線療法に対する増感作用の解明	川合一茂	大腸・肛門外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
359	Colitic cancerにおけるAkt-mTORとオートファジーの役割	野澤宏彰	大腸・肛門外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
360	炎症性腸疾患における癌化マーカーの遺伝子学的検討-血液・糞便の臨床応用	須並英二	大腸・肛門外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
361	がん微小環境による大腸がんリプログラミング機構の解明	藤井正幸	大腸・肛門外科	1,000,000	補委 日本学術振興会
362	健康長寿のための普遍的代謝調節経路の包括的・発展的研究	門脇孝	糖尿病・代謝内科	124,800,000	補委 日本学術振興会
363	生活習慣病と組織幹細胞老化の連関メカニズム解明とその制御による予防・治療法の開発	山内敏正	糖尿病・代謝内科	5,590,000	補委 日本学術振興会
364	アディポカインによる腸内細菌叢制御の生活習慣病における病態生理的意義の解明	山内敏正	糖尿病・代謝内科	7,930,000	補委 日本学術振興会
365	肥満・2型糖尿病における肝臓の糖・脂質代謝調節破綻の分子機構	窪田直人	糖尿病・代謝内科	9,360,000	補委 日本学術振興会
366	細胞内リパーゼの脂肪性肝炎と肝癌の発症・進展における生理学的意義の解明	岡崎佐智子	糖尿病・代謝内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
367	2型糖尿病疾患感受性遺伝子KCNQ1の生理的・病態生理的役割の解明	高本偉碩	糖尿病・代謝内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
368	高次クロマチン構造解析・ゲノム編集による脂肪細胞特異的な遺伝子発現制御機構の解明	青山倫久	糖尿病・代謝内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
369	メタボ関連疾患における網羅的ゲノム・エピゲノム制御機構	庄嶋伸浩	糖尿病・代謝内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
370	モデル動物を用いた中枢におけるIRS-1の役割の解明	林高則	糖尿病・代謝内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
371	アディポネクチン受容体を標的とした構造ベース創薬に向けた基盤技術の創出と確立	岩部美紀	糖尿病・代謝内科	4,030,000	補委 日本学術振興会
372	アディポネクチン受容体シグナルの運動模倣効果メカニズムの解明	岩部真人	糖尿病・代謝内科	6,890,000	補委 日本学術振興会
373	グリコーゲン・センシングによる神経性代謝制御に関するメカニズムの解明とその応用	泉田欣彦	糖尿病・代謝内科	1,170,000	補委 日本学術振興会
374	糖尿病が惹起する脳エネルギー代謝異常と脳脂質代謝異常	鈴木亮	糖尿病・代謝内科	1,040,000	補委 日本学術振興会
375	Roles of Sdf211, a novel modulator of endoplasmic reticulum stress, on pathogenesis of obesity-induced diabetes and non-alcoholic steatohepatitis in mice and humans	笹子敬洋	糖尿病・代謝内科	1,820,000	補委 日本学術振興会
376	次世代シーケンサーを用いたI型・V型脂質異常症の新規責任遺伝子探索	高瀬暁	糖尿病・代謝内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
377	膵 β 細胞におけるPI3キナーゼとGLP-1シグナルの役割と機能解析	諏訪内浩紹	糖尿病・代謝内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
378	褐色脂肪細胞特異的な転写制御・エピゲノム制御におけるNFIAの役割に関する研究	平池勇雄	糖尿病・代謝内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
379	構造体内灌流システムによる栄養血管網付き三次元再生組織の大型化	小山博之	トランスレーショナルリサーチセンター	3,770,000	補委 日本学術振興会
380	iPS細胞の最小限の分化誘導による再生骨の作製と顎骨欠損モデルへの応用	西澤悟	トランスレーショナルリサーチセンター	1,820,000	補委 日本学術振興会
381	骨代謝細胞ネットワークのインビトロにおける再構成と蛍光技術を駆使した時空間的解析	疋田温彦	軟骨・骨再生医療(富士ソフト)講座	1,950,000	補委 日本学術振興会
382	流体力学的アプローチによる脳動脈瘤血流変向手術の効果予測法の開発	庄島正明	脳神経外科	1,560,000	補委 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
383	神経機能を“見える化”する術中モニタリングによる手術成績改善	中富浩文	脳神経外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
384	脳梗塞発症に関わる遺伝的バイオマーカー探索研究	宮脇哲	脳神経外科	2,340,000	補委 日本学術振興会
385	知的視覚化コンピュータグラフィックスによる手術シミュレーションシステムの開発	金太一	脳神経外科	2,990,000	補委 日本学術振興会
386	脳腫瘍を特異的に標識する新規蛍光プローブの開発	田中将太	脳神経外科	2,080,000	補委 日本学術振興会
387	脳梗塞における神経新生の課題克服～成長因子による内在性幹細胞増幅療法を基盤として	越智崇	脳神経外科	2,210,000	補委 日本学術振興会
388	脳卒中関連遺伝子に関する研究	齊藤延人	脳神経外科	5,590,000	補委 日本学術振興会
389	悪性神経膠腫のゲノム・エピゲノム変化による腫瘍進化機構の解明と新規標的療法の開発	武笠晃丈	脳神経外科	5,330,000	補委 日本学術振興会
390	大脳白質障害が及ぼす脳機能障害の病態解明と治療法開発のための基盤研究	今井英明	脳神経外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
391	腫瘍血管新生の機序解明と新規治療開発を目的とした血管芽腫原因遺伝子の探索	武笠晃丈	脳神経外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
392	高密度頭蓋内電極による高速・高精度言語機能マッピング法の開発	國井尚人	脳神経外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
393	ラット脳白質障害の多角的検討ー脳白質障害病態解明・治療法開発へ向けてー	小野秀明	脳神経外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
394	ヒトIPS細胞から安定的に成熟した心室筋細胞を得る基盤技術の開発	内藤篤彦	肺高血圧先進医療研究学講座	11,830,000	補委 日本学術振興会
395	高脂肪低炭水化物食による心不全改善効果の検討:心機能と心筋代謝への影響の解明	東口治弘	肺高血圧先進医療研究学講座	1,430,000	補委 日本学術振興会
396	Genetic scoreを用いた前立腺癌治療の個別化	藤村哲也	泌尿器科・男性科	1,690,000	補委 日本学術振興会
397	尿路上皮癌に対する腫瘍内免疫応答の解析と自己ガンマデルタT細胞療法の開発	中川徹	泌尿器科・男性科	1,690,000	補委 日本学術振興会
398	マイクロRNA発現制御による海綿体再生治療法の新規開発	西松寛明	泌尿器科・男性科	1,690,000	補委 日本学術振興会
399	間質性膀胱炎の尿中マーカーの探索	新美文彩	泌尿器科・男性科	1,300,000	補委 日本学術振興会
400	間質性膀胱炎の病態解明と病型分類の確立	本間之夫	泌尿器科・男性科	3,900,000	補委 日本学術振興会
401	腎癌を対象としたインターフェロン併用樹状細胞療法の臨床応用に関する研究	榎本裕	泌尿器科・男性科	910,000	補委 日本学術振興会
402	泌尿器癌に汎用性を有する癌特異的プロモータを利用した抗癌ウイルス療法の開発	竹島雄太	泌尿器科・男性科	2,080,000	補委 日本学術振興会
403	腎細胞癌の進展とクロマチン制御関連遺伝子異常	久米春喜	泌尿器科・男性科	1,690,000	補委 日本学術振興会
404	前立腺におけるWntシグナル機能解明と去勢抵抗性癌の新規治療の探索	高橋さゆり	泌尿器科・男性科	780,000	補委 日本学術振興会
405	皮膚悪性リンパ腫におけるB細胞の腫瘍増殖、腫瘍免疫逃避機構の解析	宮垣朝光	皮膚科・皮膚光線レーザー科	1,560,000	補委 日本学術振興会
406	強皮症における抗原特異的B細胞の役割	吉崎歩	皮膚科・皮膚光線レーザー科	1,430,000	補委 日本学術振興会
407	全身性強皮症の皮膚線維化におけるアディポネクチンの役割の検討	増井友里	皮膚科・皮膚光線レーザー科	1,560,000	補委 日本学術振興会
408	イミキモド乾癬マウスモデルにおけるex vivo誘導性制御性B細胞の役割	荒木麻由子	皮膚科・皮膚光線レーザー科	1,950,000	補委 日本学術振興会
409	Fli1を中心とした全身性強皮症の一元的モデルの確立	佐藤伸一	皮膚科・皮膚光線レーザー科	3,510,000	補委 日本学術振興会
410	全身性強皮症患者由来マクロファージの極性変化における転写因子Fli1の役割	浅野善英	皮膚科・皮膚光線レーザー科	1,560,000	補委 日本学術振興会
411	転写因子欠損による新たな自然発症強皮症モデルの作成	佐藤伸一	皮膚科・皮膚光線レーザー科	1,950,000	補委 日本学術振興会
412	深部静脈血栓症におけるsling関連分子の機能解析	桑野嘉弘	皮膚科・皮膚光線レーザー科	1,820,000	補委 日本学術振興会
413	全身性強皮症患者の骨髄由来細胞の表現型の異常における転写因子Fli1の役割	谷口隆志	皮膚科・皮膚光線レーザー科	1,560,000	補委 日本学術振興会
414	全身性強皮症の病態で転写因子Fli1の発現異常が自然免疫系に及ぼす影響の検討	高橋岳浩	皮膚科・皮膚光線レーザー科	1,560,000	補委 日本学術振興会
415	遺伝子変異に基づいた肝細胞癌におけるクロマチン構造の網羅的解析	林玲匡	病理部	1,300,000	補委 日本学術振興会
416	EBV関連胃癌における癌幹細胞の同定および機能解析	牛久綾(篠崎綾)	病理部	2,080,000	補委 日本学術振興会
417	質量分析法を用いた心不全の新規診断マーカーの同定	新谷裕加子	病理部	2,600,000	補委 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
418	予後予測因子としての癌免疫微小環境の意義	森川鉄平	病理部	1,690,000	補委 日本学術振興会
419	クロマチンリモデリング因子ARID1A発現消失の胃癌における意義の解明	阿部浩幸	病理部	1,950,000	補委 日本学術振興会
420	肺癌の発生・進展における癌間質での新たなマイクロDNAの異常発現と機能の解析	森田茂樹	病理部	1,300,000	補委 日本学術振興会
421	放射線治療新規マーカー開発を志向した非コードRNAの新規機能解析	宮川隆	病理部	2,340,000	補委 日本学術振興会
422	骨格筋を中心とする臓器間ネットワークによる老化調節機構解明と画期的抗加齢療法開発	植木浩二郎	分子糖尿病科学講座	40,430,000	補委 日本学術振興会
423	運動による肝臓の代謝調節機構およびIL-6/STAT3/FGF21の役割の解明	小林正稔	分子糖尿病科学講座	1,950,000	補委 日本学術振興会
424	多様な画像データベースからの解剖学的ランドマーク点自動定義アルゴリズムの開発	花岡昇平	放射線科	1,950,000	補委 日本学術振興会
425	大規模データによる神経疾患および精神疾患の統合的画像診断システムの確立	高尾英正	放射線科	780,000	補委 日本学術振興会
426	MRI神経ネットワーク解析のてんかん診断への応用	雨宮史織	放射線科	1,950,000	補委 日本学術振興会
427	X線CT画像における骨転移の自動診断システムの開発および初期臨床応用	花岡昇平	放射線科	650,000	補委 日本学術振興会
428	拡散強調画像による脳構造の内部分画化と、その機能および疾患との関連の解明	高尾英正	放射線科	3,250,000	補委 日本学術振興会
429	膵炎のバイオマーカーとしての膵管形態異常の役割の網羅的解明	五ノ井涉	放射線科	1,300,000	補委 日本学術振興会
430	適応型放射線治療のための統計標準モデルに基づく非線形レジストレーション法の開発	馬込大貴	放射線科	1,430,000	補委 日本学術振興会
431	緩和ケア情報システム(PCIS)を用いたがん登録システムの構築	大熊加恵	放射線科	1,560,000	補委 日本学術振興会
432	生物物理学的予後予測モデルに基づく循環型放射線治療計画法の開発	馬込大貴	放射線科	1,430,000	補委 日本学術振興会
433	放射線治療中の形態変化を考慮した積算線量分布の評価およびその予測法の開発	高橋涉	放射線科	1,560,000	補委 日本学術振興会
434	体幹部定位放射線治療における実線量分布を用いた腫瘍制御および副作用の予測法の構築	今江禄一	放射線部	1,820,000	補委 日本学術振興会
435	超高線量率による回転型強度変調放射線治療を用いた体幹部定位放射線治療の実現	竹中重治	放射線部	1,430,000	補委 日本学術振興会
436	TractographyとfMRIを用いた運動及び言語関連神経描出による手術支援	鈴木雄一	放射線部	780,000	補委 日本学術振興会
437	術後および敗血症時の自然免疫機能低下に対する免疫強化療法の試み	山田芳嗣	麻酔科・痛みセンター	8,450,000	補委 日本学術振興会
438	α 2アドレナリン受容体作動薬による、循環動態の安定および全身麻酔補助効果の検討	室屋充明	麻酔科・痛みセンター	1,170,000	補委 日本学術振興会
439	脳保護戦略におけるレミフェンタニルの効果およびそのメカニズム	内田寛治	麻酔科・痛みセンター	2,990,000	補委 日本学術振興会
440	炎症性メディエーターが引き起こす細胞死を不飽和脂肪酸が抑制する機構を解明する	張京浩	麻酔科・痛みセンター	1,560,000	補委 日本学術振興会
441	術後痛病態形成における炎症活性化脂質シグナルの役割の解明	伊藤伸子	麻酔科・痛みセンター	1,300,000	補委 日本学術振興会
442	手術中に医師が受けるストレス負荷の実態解明	朝元雅明	麻酔科・痛みセンター	1,170,000	補委 日本学術振興会
443	システムの理解に基づく医薬品副作用予測法の構築	鈴木洋史	薬剤部	5,330,000	補委 日本学術振興会
444	ヒト体臭発生機序の分子生理基盤：体質や健康状態のにおい診断実現を目指した基礎研究	豊田優	薬剤部	6,630,000	補委 日本学術振興会
445	マウス亜系間比較による新規コレステロール吸収制御因子の探索	山梨義英	薬剤部	2,210,000	補委 日本学術振興会
446	乳腺内物質動態制御に着目した新規乳がんリスク因子の実験的検証と関連分子機構の解明	豊田優	薬剤部	1,820,000	補委 日本学術振興会
447	骨細胞アポトーシスに伴う成熟破骨細胞形成の時空間的な制御機構の解析	池淵祐樹	薬剤部	1,820,000	補委 日本学術振興会
448	RANKL逆シグナルの発見に基づいた関節リウマチ発症機構の解析	池淵祐樹	薬剤部	6,630,000	補委 日本学術振興会
449	胆管側膜輸送体による胆汁排泄を介した胆管がん発症分子機構の研究	高田龍平	薬剤部	1,430,000	補委 日本学術振興会
450	特異体質性薬物副作用リスク評価手法の構築	鈴木洋史	薬剤部	1,690,000	補委 日本学術振興会
451	抗RANKL抗体医薬品デノスマブによる重篤副作用発症機構解析	苅谷嘉顕	薬剤部	1,820,000	補委 日本学術振興会
452	破骨細胞exosomeによる骨芽細胞動態制御の可能性検証	黛知子	薬剤部	1,950,000	補委 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
453	ニロチニブによる高血糖発現機序の解析	雨宮 貴洋	薬剤部	600,000	補委 日本学術振興会
454	心臓構成細胞の薬剤感受性の差に着目したドキシソルピシン誘発毒性の定量的解析	折山 豊仁	薬剤部	500,000	補委 日本学術振興会
455	分子連関ネットワークに基づくテロシキナーゼ阻害剤関連毒性予測モデルの構築	福岡 美帆	薬剤部	600,000	補委 日本学術振興会
456	胃がん化学療法において体表面積が大きい患者に対しての有効性の検討	大久保 聡	薬剤部	300,000	補委 日本学術振興会
457	新生児・乳児におけるミダゾラムによる逆説的反応発現リスク因子の解析	櫻井 愛	薬剤部	600,000	補委 日本学術振興会
458	抗癌剤における日本人と外国人における副作用プロファイルの相違の網羅的解析	白根 達彦	薬剤部	400,000	補委 日本学術振興会
459	複数の抗菌薬使用量評価指標を用いた薬剤耐性菌発生リスク予測モデルの構築	山口 諒	薬剤部	400,000	補委 日本学術振興会
460	骨吸収抑制作用と骨形成促進作用を併せ持つ新規骨粗鬆症治療薬の臨床応用に向けた検証	林円香	薬剤部	900,000	補委 日本学術振興会
461	骨恒常性維持におけるRANKL逆シグナルの役割の解析	本間雅	薬理動態学講座	2,730,000	補委 日本学術振興会
462	骨吸収抑制・骨形成促進バイファンクショナル高分子医薬の創製	本間雅	薬理動態学講座	1,430,000	補委 日本学術振興会
463	初発統合失調症の事象関連電位MMNを用いた病態生理研究	荒木剛	ユースメンタルヘルス講座	1,950,000	補委 日本学術振興会
464	HUVECワクテンの悪性脳腫瘍における免疫学的機序の解明と血管芽腫への適応拡大	高柳俊作	輸血部	1,560,000	補委 日本学術振興会
465	多血小板血漿による軟骨分化の分子メカニズムの解明 -軟骨再生薬創薬を目指して-	池田敏之	輸血部	1,300,000	補委 日本学術振興会
466	骨髄増殖性腫瘍幹細胞のin vivo追跡と新規分子標的の同定	佐藤智彦	輸血部	1,950,000	補委 日本学術振興会
467	持続型オゾン水が濃厚血小板製剤中の血小板機能に及ぼす影響	名倉 豊	輸血部	600,000	補委 日本学術振興会
468	後天性再生不良性貧血における遺伝子変異・クローン構造の解析	吉里哲一	輸血部	1,000,000	補委 日本学術振興会
469	感覚入力への介入を用いた姿勢・歩行リハビリテーション	芳賀信彦	リハビリテーション科	30,160,000	補委 日本学術振興会
470	二足直立の獲得過程・重力環境適応の解明	四津有人	リハビリテーション科	3,770,000	補委 日本学術振興会
471	統合失調症発症の脳病態解明と発症予測因子の同定	管心	リハビリテーション部	2,340,000	補委 日本学術振興会
472	骨転移患者QOL規定因子の同定とキャンサーボード至適介入方法の確立	篠田裕介	リハビリテーション部	1,950,000	補委 日本学術振興会
473	上肢切断児への義手療法の有効性の評価	藤原清香	リハビリテーション部	1,950,000	補委 日本学術振興会
474	先天的に四肢の麻痺・欠損を示す小児における四肢視覚認知に関する研究	芳賀信彦	リハビリテーション科	780,000	補委 日本学術振興会
475	鍼刺激による体幹柔軟性への影響	美根 大介	リハビリテーション部	100,000	補委 日本学術振興会
476	変形性関節症、加齢性筋肉減弱現象の定量評価による運動機能障害への影響：国際研究	村木重之	臨床運動器医学講座	3,510,000	補委 日本学術振興会
477	脳MRIを用いた認知症の予測因子の解明：統合型大規模住民コホート研究	村木重之	臨床運動器医学講座	1,300,000	補委 日本学術振興会
478	大規模医療データベースを用いた2型糖尿病における急性膵炎の合併リスクの評価	小出大介	臨床疫学研究システム学講座	910,000	補委 日本学術振興会
479	ヘリコバクターピロリ菌感染と口腔内病巣の関連に関する検討	水野由子	臨床疫学研究システム学講座	1,690,000	補委 日本学術振興会
480	高中性脂肪血症の新たな分子機構解明と治療標的の探索	高梨幹生	臨床疫学研究システム学講座	1,820,000	補委 日本学術振興会
481	臨床研究者・専門家育成のための生涯教育カリキュラム構築のための調査研究	スヴェンソン岸暁	臨床研究支援センター	2,210,000	補委 日本学術振興会
482	カヘキシアを伴う心不全患者に対する分子鎖アミノ酸製剤の有効性と安全性の検証	高田宗典	臨床研究支援センター	1,950,000	補委 日本学術振興会
483	化膿レンサ球菌感染症における好中球細胞外トラップ分解産物の同定と機能解析	田中基嗣	臨床研究支援センター	1,560,000	補委 日本学術振興会
484	エイジングドミノ理論に基づくフレイルの病態解明と治療法の探索	秋下雅弘	老年病科	5,590,000	補委 日本学術振興会
485	災害復興下の被災地コミュニティのレジリエンス醸成に向けた実験経済学的研究	芦田登代	老年病科	780,000	補委 日本学術振興会
486	炎症老化を介したサルコペニア発症進展機構の解明と予防的応用	小川純人	老年病科	1,820,000	補委 日本学術振興会
487	誤嚥による肺の異物反応が嚥下性肺疾患や炎症性肺疾患に及ぼす病態上の意義	山口泰弘	老年病科	1,690,000	補委 日本学術振興会

小計：35

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
488	サルコペニアのメカニズム解明と治療可能性の検討	矢可部満隆	老年病科	1,300,000	補委 日本学術振興会
489	ロコモティブ症候群とメタボリック症候群発症に関わる新規内分泌因子の解明	浦野友彦	老年病科	5,850,000	補委 日本学術振興会
490	高齢患者に対する処方適正化システムの構築と検討	小島太郎	老年病科	1,560,000	補委 日本学術振興会
491	認知症患者・介護者の介入によるストレスバイオマーカー変化の検討	亀山祐美	老年病科	1,170,000	補委 日本学術振興会
492	在宅療養者を対象とした意思決定支援プログラムの試行及び評価	吉江悟	老年病科	1,300,000	補委 日本学術振興会
493	介護施設高齢入所患者における処方内容適正化の試み	石井伸弥	老年病科	1,170,000	補委 日本学術振興会
494	大規模臨床データベースの分析・ベンチマーキングによる次世代型EBMの手法の構築	宮田裕章	医療品質評価学講座	1,690,000	補委 日本学術振興会
495	ヒストン関連血管内皮障害に着目した移植後肺機能不全の機序解明	安樂真樹	医療安全管理学講座	2,080,000	補委 日本学術振興会
496	高齢者緑内障の視野・認知低下の関連の分析と診断・進行の客観的判定法の開発	本庄恵	眼科・視覚矯正科	1,690,000	補委 日本学術振興会
497	新規の大規模レセプト情報を用いた縦断的疫学研究に向けたリスク調整法の開発	佐藤大介	企画情報運営部	1,430,000	補委 日本学術振興会
498	日米における医療情報システムの導入政策の比較研究	吉田裕一	企画情報運営部	780,000	補委 日本学術振興会
499	電子カルテデータ二次利用による患者転倒に関するクリニカルインディケータ開発研究	横田慎一郎	企画情報運営部	650,000	補委 日本学術振興会
500	Web機能の再利用と統合に向けた大規模UIコンポーネント検索方法の研究	韓浩	企画情報運営部	1,430,000	補委 日本学術振興会
501	単一分子をトレーサとするナノチャンネル時空間流動計測法の創成	嘉副 裕	血液浄化療法部	8,840,000	補委 日本学術振興会
502	ヒトネフローゼ発症に関わるBMPファミリー下流経路の解析	野入英世	血液浄化療法部	2,860,000	補委 日本学術振興会
503	東南アジアにおける森林減少とその社会的動因のマッピング	東城文柄	血液浄化療法部	1,040,000	補委 日本学術振興会
504	ICTを利用した自己管理支援システムの構築とその効果の検証	脇嘉代	健康空間情報学講座	2,340,000	補委 日本学術振興会
505	心臓マクロファージによる不整脈発症機序の解明と治療法開発	藤生克仁	健康空間情報学講座	1,950,000	補委 日本学術振興会
506	2型糖尿病患者自己管理支援のための栄養価推定マニュアルの開発	木村滋子	健康空間情報学講座	910,000	補委 日本学術振興会
507	薬剤耐性再発卵巣がんの新規治療標的の同定	山口聡子	健康空間情報学講座	2,619,300	補委 日本学術振興会
508	Neoantigensをターゲットにした肺がん個別化がんワクチン治療の開発	中島淳	呼吸器外科	6,240,000	補委 日本学術振興会
509	術後再発抑制のための肺癌特異的蛍光プローブの開発	似鳥純一	呼吸器外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
510	Perfluorocarbonを用いた移植臓器保護方法の開発	中島淳	呼吸器外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
511	肺移植後肺内リンパ組織新生に伴う局所抗体産生が重症型慢性拒絶RASに及ぼす影響	佐藤雅昭	呼吸器外科	3,120,000	補委 日本学術振興会
512	移植肺拒絶における自然免疫の役割の解明:マウス肺移植モデルによる試み	村川知弘	呼吸器外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
513	パッセンジャー変異を利用した新規肺癌個別化医療、網羅的固有抗原同定システムの構築	長山和弘	呼吸器外科	2,080,000	補委 日本学術振興会
514	癌吸入療法:肺内リンパ組織新生を利用した抗腫瘍ワクチンの新たなプラットフォーム	佐藤雅昭	呼吸器外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
515	外来患者の構造分析と医療機関の外来機能分化に関する研究	小林大介	国立大学病院データベースセンター	1,430,000	補委 日本学術振興会
516	院内感染症モデルに対するインターフェロンβの治療的効果とそのメカニズム	比留間孝広	集中治療部	1,560,000	補委 日本学術振興会
517	ヒトiPS細胞由来3次元臓器作出を可能とする臓器特異的3次元スキャホールド開発	菱川慶一	先端臓器・再生医学講座	3,900,000	補委 日本学術振興会
518	iPS細胞由来腎臓組織幹細胞を用いた新規腎臓再生療法開発	吉川真弘	先端臓器・再生医学講座	2,340,000	補委 日本学術振興会
519	エンハンサーの標的決定を超えて:クロマチン基本高次構造の機能的多様性を探る	辻村太郎	先端臓器・再生医学講座	2,470,000	補委 日本学術振興会
520	腎不全合併による循環器疾患増悪の機序解明と新規治療法の開発	鈴木淳一	先端臨床医学開発講座	1,430,000	補委 日本学術振興会
521	ヒト腎臓由来iPS細胞の細胞記憶を利用した腎臓構成細胞への特異的分化誘導法の確立	高瀬敦	先端臓器・再生医学講座	1,040,000	補委 日本学術振興会
522	β-アレステン偏向性オーファンGPCRIに特化した次世代ペプチド性リガンド探索	熊谷英敏	先端臨床医学開発講座	1,560,000	補委 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
523	ヒト腎癌細胞のiPS化における細胞記憶に着目した新規治療標的分子の探索	出射真奈	先端腎臓・再生医学講座	1,430,000	補委 日本学術振興会
524	統合失調症患者前頭葉ゲノムにおけるLINE-1挿入部位の決定	文東美紀	分子精神医学講座	1,300,000	補委 日本学術振興会
525	虚血・小胞体ストレス応答経路関連microRNAの腎臓病態生理活性の解明	稲城玲子	慢性腎臓病(CKD)病態生理学講座	650,000	補委 日本学術振興会
526	腎臓老化における小胞体ストレスシグナル(UPR経路)のエプゲノム制御の解明	稲城玲子	慢性腎臓病(CKD)病態生理学講座	2,470,000	補委 日本学術振興会
527	T細胞受容体遺伝子導入T細胞を用いたNeoantigen 解析システム	垣見和宏	免疫細胞治療学講座	2,080,000	補委 日本学術振興会
528	次世代シーケンサーを用いた腎がん固有抗原の同定と個別化がん免疫治療の開発	松下博和	免疫細胞治療学講座	1,170,000	補委 日本学術振興会
529	未承認薬へのアクセスに関する制度(コンパッション・ユース制度)についての研究	宮路天平	臨床試験データ管理学講座	1,690,000	補委 日本学術振興会
530	コホート研究におけるDNAメチル化のバイオマーカーとしての有用性の検討	文東美紀	分子精神医学講座	5,200,000	補委 日本学術振興会
531	IVRの有効性・安全性向上にむけた拡張現実および三次元モデルの相互活用環境の構築	大友邦	放射線科	7,930,000	補委 日本学術振興会
532	ヒト皮膚居住T細胞の解析	細川玲(渡辺玲)	皮膚科・皮膚光線レーザー科	1,430,000	補委 日本学術振興会
533	腫瘍免疫に基づくアプスコパル効果のメカニズム解明と画期的な腫瘍治療戦略	白石憲史郎	放射線科	3,120,000	補委 日本学術振興会
534	転写および蛋白質レベルでのアンドロゲンによるp53機能制御機構の解明	高山賢一	老年病科	2,470,000	補委 日本学術振興会
535	リンパ管腫のリンパ管内皮細胞内の生存シグナル阻害を応用した新規治療の開発	高橋正貴	小児外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
536	リンパ浮腫の発症病態メカニズムの解明と新規の標的薬物治療の開発	緒方英(元木英)	循環器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
537	植込み型補助人工心臓セルフケア評価尺度とリスクスコアの開発	加藤尚子	重症心不全治療開発講座	1,430,000	補委 日本学術振興会
538	内リンパ水腫形成への抗利尿ホルモンとアクアポリンの関与に関する研究	柿本章伸	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	2,210,000	補委 日本学術振興会
539	神経疾患における時間情報処理の中核機構に関する総合的検討	寺尾安生	神経内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
540	システム疾患生命科学による先端医療技術開発	門脇 孝	糖尿病・代謝内科	421,655,320	補委 文部科学省
541	がん診療連携拠点病院機能強化事業	齊藤 延人	事務部医事課	15,994,000	補委 厚生労働省
542	医療安全支援センター総合支援事業	児玉 安司	医療安全管理学講座	23,247,000	補委 厚生労働省
543	組織バンク設備整備事業	齊藤 延人	事務部医事課	2,581,000	補委 東京都
544	先端医療の開発支援拠点形成と実践	齊藤 延人	TRセンター	1,023,749,884	補委 日本医療研究開発機構
545	ヘルスケアポータルサイト等の開設	森田 啓行	健康医科学創造講座	175,750,000	補委 厚生労働省
546	早期・探索的臨床試験拠点	齊藤 延人	早期探索開発推進室	37,425,000	補委 厚生労働省
547	世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	齊藤 延人	早期探索開発推進室	40,000,000	補委 日本医療研究開発機構
548	臨床試験支援機能構築事業	齊藤 延人	早期探索開発推進室	756,700,000	補委 日本医療研究開発機構
549	革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業	齊藤 延人	早期探索開発推進室	42,000,000	補委 厚生労働省
550	ヒト角膜内皮細胞を用いた角膜内皮組織再生医療材料の実用化開発	山上 聡	眼科・視覚矯正科	29,601,000	補委 日本医療研究開発機構
551	革新的な自閉症中核症状治療法の創出	山末 英典	精神神経科	2,960,100	補委 日本医療研究開発機構
552	老化関連疾患における慢性炎症の病態生理学的意義の解明	赤澤 宏	循環器内科	27,300,000	補委 日本医療研究開発機構
553	iPS細胞を用いた造血器腫瘍の病態解明と治療法の探索	黒川 峰夫	血液・腫瘍内科	36,284,300	補委 日本医療研究開発機構
554	細胞間相互作用と臓器代謝ネットワークの破綻による組織線維化の制御機構の解明と医学応用	眞鍋 一郎	循環器内科	10,400,000	補委 日本医療研究開発機構
555	生活習慣病による進行性腎障害に関わるエピジェネティック異常の解明と診断・治療への応用	下澤 達雄	検査部	7,800,000	補委 日本医療研究開発機構
556	疾患関連リポリン脂質の同定と医療応用	矢富 裕	検査部	25,350,000	補委 日本医療研究開発機構
557	2型糖尿病・肥満における代謝制御機構とその破綻のエピゲノム解析	山内 敏正	糖尿病・代謝内科	36,400,000	補委 日本医療研究開発機構

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
558	代謝産物解析拠点の創成とがんの代謝に立脚した医療基盤技術開発	伊地知 秀明	病態栄養治療部	8,775,000	補 委 日本医療研究開発機構
559	臨床候体を用いた疾患部位特異的な代謝活性のライブイメージング探索技法の確立と創薬への応用	保科 克行	血管外科	3,770,000	補 委 日本医療研究開発機構
560	臨床候体を用いた疾患部位特異的な代謝活性のライブイメージング探索技法の確立と創薬への応用	瀬戸 泰之	胃・食道外科	5,200,000	補 委 日本医療研究開発機構
561	生体膜リン脂質を基軸とした医療基盤技術の開発	山内 敏正	糖尿病・代謝内科	12,740,000	補 委 日本医療研究開発機構
562	顧みられない熱帯病対策～特にカラ・アザールの診断体制の確立とベクター対策研究	野入 英世	血液浄化治療部	9,495,200	補 委 日本医療研究開発機構
563	がん治療標的探索プロジェクト	瀬戸 泰之	胃・食道外科	3,900,000	補 委 日本医療研究開発機構
564	iPS細胞由来軟骨細胞を用いた軟骨疾患再生治療法の開発拠点	高戸 毅	顎口腔外科・歯科矯正 歯科	30,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
565	疾患特異的iPS細胞技術を用いた神経難病研究	辻 省次	神経内科	7,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
566	iPS細胞を用いた遺伝性心筋疾患の病態解明および治療法開発	森田 啓行	循環器内科	113,700,000	補 委 日本医療研究開発機構
567	立体造形による機能的な生体組織製造技術の開発/細胞を用いた機能的な立体組織および立体臓器作製技術の研究開発/高機能足場素材とバイオ3Dプリンタを用いた再生組織・臓器の製造技術の開発	高戸 毅	ティッシュ・エンジニア リング部	152,458,000	補 委 日本医療研究開発機構
568	医療機器の市販後における使用成績評価の質および信頼性の確保のため要件等に関する研究	宮田 裕章	医薬品質評価学	4,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
569	皮膚ガス測定による無侵襲血糖モニタリングシステムの開発	飯塚 陽子	糖尿病・代謝内科	21,840,000	補 委 日本医療研究開発機構
570	三大合併症を阻止する先端的な多機能人工膝関節の実用化に関する橋渡し研究	茂呂 徹	整形外科・脊椎外科	71,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
571	化学物質誘発性胆管がんのリスク評価基盤:胆管がん発症機構の解明と関連バイオマーカーの探索	高田 龍平	薬剤部	35,835,000	補 委 日本医療研究開発機構
572	HCVIに対する高ウイルス治療後、SVR後の病態に関する研究	小池 和彦	消化器内科	3,504,800	補 委 日本医療研究開発機構
573	長期保存型3次元再生皮下軟骨の医師主導治験の実施	高戸 毅	ティッシュ・エンジニア リング部	47,564,000	補 委 日本医療研究開発機構
574	低出生体重児の発症機序及び長期予後の解明に関する研究	高橋 尚人	周産母子診療部	14,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
575	ノイズ様前庭電気刺激を利用した末梢前庭障害患者に対するバランス障害改善機器の開発	岩崎 真一	耳鼻咽喉科・聴覚音声 外科	7,200,000	補 委 日本医療研究開発機構
576	老人性難聴に対する詳細な聴取評価法と聴覚認知訓練の開発	山嵜 達也	耳鼻咽喉科・聴覚音声 外科	9,569,000	補 委 日本医療研究開発機構
577	認知症の根本的な原因の解明を目指したコホート研究と網羅的ゲノム配列解析研究	辻 省次	神経内科	23,040,000	補 委 日本医療研究開発機構
578	在宅療養者に対する地域単位の夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究	吉江 悟	老年病科	15,600,000	補 委 日本医療研究開発機構
579	神経疾患の集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究	辻 省次	神経内科	215,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
580	多系統萎縮症の治療法開発研究	辻 省次	神経内科	175,074,879	補 委 日本医療研究開発機構
581	ゲノム解析技術および疾患特異的iPS細胞を用いた心筋症に対する革新的な医薬品開発研究	小室 一成	循環器内科	37,600,000	補 委 日本医療研究開発機構
582	B型肝炎ウイルスの完全排除等、完治を目指した新規治療法の開発に関する包括的研究	森屋 恭爾	感染制御部	62,700,000	補 委 日本医療研究開発機構
583	疾患由来iPS細胞を利用した難治性疾患の創薬研究	門脇 孝	糖尿病・代謝内科	43,580,000	補 委 日本医療研究開発機構
584	乳幼児の疾患疫学を踏まえたスクリーニング等の効果的実施に関する研究	岡 明	小児科	9,880,000	補 委 日本医療研究開発機構
585	母子感染の実態把握及び検査・治療に関する研究	藤井 知行	女性診療科・産科	71,994,000	補 委 日本医療研究開発機構
586	アルツハイマー病の根本治療・予防を目指すβアミロイド抑制薬のfirst in man, proof of concept試験	齊藤 延人	早期・探索開発推進室	114,381,800	補 委 日本医療研究開発機構
587	MRIを用いた気分障害の診断補助法についての実用化研究	笠井 清登	精神神経科	19,623,000	補 委 日本医療研究開発機構
588	高齢者の薬物治療の安全性に関する研究	秋下 雅弘	老年病科	17,280,000	補 委 日本医療研究開発機構
589	膝痛・腰痛・肩肘に関する高齢者介護予防のための研究:大規模住民コホート(LOCOMOスタディ)の追跡	吉村 典子	関節疾患総合研究講座	16,412,000	補 委 日本医療研究開発機構
590	免疫疾患に対する有効な治療法の確立に関する研究	田中 栄	整形外科・脊椎外科	26,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
591	子宮頸癌に対する粘膜免疫を介したヒトパピローマウイルス(HPV)分子標的免疫療法の臨床応用に関する研究	川名 敬	女性診療科・産科	34,600,000	補 委 日本医療研究開発機構
592	アカデミックな臨床研究実施状況の全国集計と分析に関する研究	木内 貴弘	医療情報ネットワーク研 究センター	12,532,000	補 委 日本医療研究開発機構

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
593	腹膜播種を伴う胃癌に対するパクリタキセル腹腔内投与併用療法の有用性を評価する第Ⅲ相臨床試験	石神 浩徳	外来化学療法部	36,400,000	補 委 日本医療研究開発機構
594	高齢者の筋骨格系変性を改善・予防する在宅ロボットリハビリシステム開発とその実証試験	住谷 昌彦	緩和ケア診療部	1,573,910	補 委 日本医療研究開発機構
595	メタボリック・シンドローム関連疾患の個別化医療実現	門脇 孝	糖尿病・代謝内科	67,410,000	補 委 日本医療研究開発機構
596	「がんエピゲノム異常を標的とした治療・診断法の開発」(ノンコーディングRNAを標的とした革新的がん医療シーズの開発)	井上 聡	老年病科	8,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
597	「分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発」(悪性脳腫瘍克服のための新規治療標的及びバイオマーカーの創出)	齊藤 延人	脳神経外科	24,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
598	「分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発」(統合的ゲノムスクリーニングによる難治性小児固形腫瘍の新規標的分子の探索)	滝田 順子	無菌治療部	24,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
599	「分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発」(進行性卵巣がんの治療感受性を規定する遺伝子変異の同定)	矢野 哲	女性外科	24,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
600	精神疾患バイオマーカーの開発とDecNef等による臨床応用のための技術基盤整備	荒木 剛	ユースメンタルヘルス	22,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
601	中高年発症うつ病モデルとしてエンドセリン誘発白質虚血ラットの解析	齊藤 延人	脳神経外科	5,200,000	補 委 日本医療研究開発機構
602	プロトコール策定および評価指標検討による次段階のオキシトシン臨床試験の計画・実施	山末 英典	精神神経科	46,664,000	補 委 日本医療研究開発機構
603	大規模画像解析とトモ-霊長類トランスレータブル脳・行動指標開発にもとづく精神・神経疾患の病態神経回路解明	笠井 清登	精神神経科	153,673,000	補 委 日本医療研究開発機構
604	ヒトPS分化細胞技術を活用した医薬品の次世代毒性・安全性評価試験系の開発と国際標準化に関する研究	内藤 篤彦	肺高血圧先進医療研究学	5,250,000	補 委 日本医療研究開発機構
605	胃癌腹膜播種に対するタキサン腹腔内投与を用いた新規治療戦略の確立	石神 浩徳	外来化学療法部	26,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
606	HIV感染防御ワクチン開発に関する研究	川名 敬	女性診療科・産科	4,030,000	補 委 日本医療研究開発機構
607	ウイルス肝炎を含む代謝関連肝がんの病態解明及び治療法の開発等に関する研究	小池 和彦	消化器内科	80,600,000	補 委 日本医療研究開発機構
608	日米医学協力計画を基軸としたウイルス性疾患の感染制御に関する研究	小池 和彦	消化器内科	19,057,533	補 委 日本医療研究開発機構
609	高次脳機能障害支援における血液バイオマーカーの活用に関する研究	筑田 博隆	整形外科・脊椎外科	650,000	補 委 日本医療研究開発機構
610	ゲノムおよび遺伝子発現情報の統合的解析に基づく全身性エリテマトーデスの治療標的の同定とその制御法の開発	山本 一彦	アレルギー・リウマチ内科	32,263,000	補 委 日本医療研究開発機構
611	がん治療による神経系合併症(認知機能障害と痛み)の緩和に関する研究	住谷 昌彦	緩和ケア診療部	20,067,100	補 委 日本医療研究開発機構
612	再生医療等の産業化に向けた評価手法等の開発/密封培養システムにおける上皮シートの品質評価法の確立	山上 聡	眼科・視覚矯正科	41,898,000	補 委 日本医療研究開発機構
613	原因不明遺伝子関連疾患の全国横断的症例収集・パンキングと網羅的解析	岡 明	小児科	14,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
614	ゲノム・エピゲノム解析による子宮頸癌前駆病変(CIN)患者の子宮頸癌発癌リスクの特定とそれに基づくCIN患者の個別化リスク低減法に関する研究	川名 敬	女性診療科・産科	22,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
615	医用知能情報システム基盤の研究開発	大江 和彦	企画情報運営部	54,860,000	補 委 日本医療研究開発機構
616	認知症臨床研究の実施を支援する国内・国際連携体制の構築に関する研究	岩坪 威	早期・探索開発推進室	55,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
617	単一B細胞タンパク分析の実証	吉崎 歩	皮膚科	5,330,000	補 委 日本医療研究開発機構
618	ID統合等を活用した標準化データベースのセキュアな横断的検索における有用性と匿名性のリスク評価	山本 隆一	医療経営政策学講座	1,950,000	補 委 日本医療研究開発機構
619	神経変性疾患における系統的網羅的エピジェネティクス解析	岩田 淳	神経内科	13,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
620	栄養摂取バランスの崩れによる恒常性維持機構の破綻メカニズムの解明	岩部 真人	糖尿病・代謝内科	13,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
621	炎症に伴うmicroRNA機能不全が惹起する炎症性発癌の病態解明と制御法の開発	大塚 基之	消化器内科	13,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
622	マクロファージを軸とする細胞間・多臓器間連携による心臓恒常性維持機構の解明	藤生 克仁	循環器内科	19,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
623	心臓線維芽細胞活性制御を介する臓器恒常性維持機構の解明	武田 憲彦	循環器内科	20,150,000	補 委 日本医療研究開発機構
624	ヒト多型・変異データの体系化とデータ登録	辻 省次	神経内科	9,750,000	補 委 日本医療研究開発機構
625	CPCを必要としない閉鎖系培養器具を用いた再生医療技術の開発	横尾 誠一	眼科・視覚矯正科	1,391,000	補 委 日本医療研究開発機構
626	人間力活性化によるスーパー日本人の育成拠点	山末 英典	精神神経科	4,000,100	補 委 日本医療研究開発機構
627	セレンディピターを用いた血中稀少細胞の検出	矢富 裕	検査部	3,500,000	補 委 日本医療研究開発機構

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助又は委託元
628	リスクの多元性を考慮したリスクコミュニケーションの実施とそのあり方に関する研究	中川 恵一	放射線科	16,899,020	補 委 日本医療研究開発機構
629	医療用途のプラズマ装置等に関する国際標準化	瀬戸 泰之	胃・食道外科	1,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
630	医療情報システムのための医療知識基盤データベース研究開発事業	大江 和彦	企画情報運営部	85,792,114	補 委 日本医療研究開発機構
631	医療情報データベースに保存された医療情報の実践的な利活用のためのデータ検証(パリエーション)業務	小出 大介	臨床疫学研究システム学講座	14,172,000	補 委 日本医療研究開発機構
632	神経芽腫ゲノム変異の網羅的解析と標的分子の同定	滝田 順子	小児科	250,000	補 委 日本医療研究開発機構
633	エピジェネティック診断の基盤構築・患者コホートの維持	山道 信毅	消化器内科	500,000	補 委 日本医療研究開発機構
634	軟骨と粘膜上皮の複合再建を実現する再生気管軟骨の医師主導治験の実施	高戸 毅	顎口腔外科・歯科矯正歯科	40,264,240	補 委 日本医療研究開発機構
635	MCI全国有症率調査と認知症診断補助ツールの開発	秋下 雅弘	老年病科	1,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
636	要介護高齢者、フレイル高齢者、認知症高齢者に対する栄養療法、運動療法、薬物療法に関するガイドライン作成に向けた調査研究	秋下 雅弘	老年病科	1,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
637	フレイルの進行に関わる要因に関する研究	小川 純人	老年病科	1,200,000	補 委 日本医療研究開発機構
638	3D経食道心エコーデータ集積解析	山田 芳嗣	麻酔科・痛みセンター	600,000	補 委 日本医療研究開発機構
639	インプラント型再生気管作成に関する研究	古村 真	小児外科	600,000	補 委 日本医療研究開発機構
640	摂食障害の多面的評価法ならびに効果的治療法の開発	吉内 一浩	心療内科	800,000	補 委 日本医療研究開発機構
641	筋ジストロフィー関連疾患の診断と病態に関する研究	清水 潤	神経内科	1,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
642	顧みられない熱帯病対策～特にカラ・アザールの診断体制の確立とベクター対策研究プロジェクト	野入 英世	血液浄化療法部	27,306,270	補 委 国際協力機構
643	オープンシステム・セミオープンシステムの運営	永松 健	女性診療科	1,100,000	補 委 東京都
644	(仮称)柏市地域医療介護総合確保計画の策定にかかるデータ集計等業務	吉江 悟	老年病科	3,240,000	補 委 柏市
645	耳鼻咽喉科分野に関する学術研究動向調査研究	山嵜 達也	耳鼻咽喉科	6,500,000	補 委 日本学術振興会
646	東京都子ども救命センター運営事業	齊藤 延人	脳神経外科	46,004,947	補 委 東京都
647	重症心不全患者に対するテイラーメイド方式心臓サポートネット開発	小野 稔	心臓外科	8,151,000	補 委 名古屋大学
648	ヒト用カスタムボーンプレート評価支援	田中 栄	整形外科	4,025,000	補 委 大阪大学
649	エストロゲン低下に伴う骨粗鬆症の病態解明と予防、治療に関する研究	田中 栄	整形外科・脊椎外科	23,300,000	補 委 日本医療研究開発機構
650	若年女性のスポーツ障害の解析とその予防と治療	藤井 知行	女性診療科・産科	16,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
651	子宮内膜症の病態解明、および予防・治療法の開発	大須賀 穰	女性外科	23,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
652	生きた患者由来組織中の脂質組成を同定できる振動分光顕微鏡の開発	長島 優	神経内科	9,126,000	補 委 日本医療研究開発機構
653	子宮の生理的機能に関わる脂肪酸代謝産物の同定と機能の解析	廣田 泰	女性診療科・産科	4,886,060	補 委 日本医療研究開発機構
654	ストレス強度に応じた関節軟骨細胞のメカノレスポンスの変容機構の解明	齋藤 琢	整形外科・脊椎外科	5,070,000	補 委 日本医療研究開発機構

小計:27

計:654

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Suzuki J, Imai Y, Aoki M,	循環器内科	High incidence and severity of periodontitis in patients with Marfan	Heart and vessels. 2015;30(5):692-5.
2	Matsuo T, Kawasaki K,	脳神経外科	Alternating zones selective to faces and written words in the human ventral	Cereb Cortex. 2015;25(5):1265-
3	Yoshimura J, Asano Y,	皮膚科	A case of scleredema adultorum successfully treated with narrow-band	Mod Rheumatol. 2016
4	J. Shindoh, K. Hasegawa and N.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Anatomic resection of hepatocellular carcinoma: a step forward for the precise	Ann Surg; 261
5	Aizawa N, Homma Y, Igawa	泌尿器科・男性科	Effects of L-arginine, mirabegron, and oxybutynin on the primary bladder afferent	Neurourol Urodyn. 2015 Apr;
6	Fujita D, Takahashi M,	循環器内科	Response of urinary liver-type fatty acid-binding protein to contrast media	Heart and vessels. 2015;30(3):296-
7	Nakayama A, Morita H,	循環器内科	Coronary atherosclerotic lesions in patients with a ruptured abdominal aortic	Heart and vessels. 2015;30(3):304-8.
8	Suzuki J, Aoyama N, Aoki	循環器内科	Incidence of periodontitis in Japanese patients with cardiovascular diseases: a	Heart and vessels. 2015;30(4):498-
9	Kobayashi R, Shiraishi K,	放射線科	Omission of axillary lymph node dissection for clinically node negative early-stage	Breast Cancer.
10	Sato M., Hikita H., Hagiwara S.,	消化器内科	Potential associations between perihepatic lymph node enlargement and liver fibrosis,	Hepatol Res. 2015 45(4):397-404.
11	J. Shindoh, X. de Aretxabala, T.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Tumor location is a strong predictor of tumor progression and survival in T2	Ann Surg; 261
12	Mikami S, Tateishi R,	消化器内科	Tumor markers are more useful in patients undergoing surveillance for hepatocellular	Hepatol Res 2015;45(4):415-22
13	Muraki S, Akune T, Nagata K,	整形外科・脊椎外科	Does Osteophytosis at the Knee Predict Health-related Quality of Life Decline? A	Clin Rheumatol. 2015;34(9):1589-
14	Omura G, Ando M, Saito Y,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Disease control and clinicopathological prognostic factors of total	International journal of clinical
15	Takahashi M, Myojo M,	循環器内科	Effect of purified eicosapentaenoic acid on red cell distribution width in patients with	Heart and vessels. 2015;30(5):587-94.
16	Yasuda T, Fukumura K,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Effects of Low-Load, Elastic Band Resistance Training Combined With Blood	J Gerontol A Biol Sci Med Sci. 2015;
17	S. Yamashita, K. Hasegawa, M.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Hobson's choice two-stage hepatectomy for multiple and bilobar colorectal liver	Surg Today; 45
18	Shiibashi M, Yoshimoto M,	眼科・視覚矯正科	A case of proliferative diabetic retinopathy that regressed on HIV treatment.	Int J STD & AIDS 26: 516-517
19	Kimura M, Kinoshita O,	循環器内科	Midterm outcome of implantable left ventricular assist devices as a bridge to	Journal of cardiology.
20	Takami H, Yoshida A,	脳神経外科	Revisiting TP53 Mutations and Immunohistochemistry--A Comparative	Brain Pathol. 2015;25(3):256-
21	Fujiwara N, Tateishi R,	消化器内科	Slight elevation of high-sensitivity C-reactive protein to predict recurrence and	Hepatol Res 2015;45(6):645-55
22	Aoki Y, Watanabe T,	こころの発達診療部	Oxytocin's neurochemical effects in the medial prefrontal cortex underlie recovery	Mol Psychiatry. 20(4):447-53
23	Ishida M, Gonoi W, Hagiwara K,	人体病理・病理診断学	Early postmortem volume reduction of adrenal gland: initial longitudinal computed	Radiol Med. 2015;120(7):662-9.
24	63: Kato M, Yamamoto T.	形成外科、美容外科	Simple wire retractor for supermicrosurgical lymphaticovenular	Microsurgery. 2015 May;35(4):335-6.
25	Niikura R, Yasunaga H,	消化器内科	Factors affecting in-hospital mortality in patients with lower gastrointestinal tract	J Gastroenterol. 2015
26	Sugaya M	皮膚科	Chemokines and skin diseases	Arch Immunol Ther Exp. 2015;
27	Kawai K, Ishihara S,	22世紀医療センター	Nomogram prediction of metachronous colorectal neoplasms in patients with	Ann Surg ,261(5):926-32
28	Y. Mise, K. Hasegawa, J.	肝胆膵・人工臓器移植外科	The Feasibility of Third or More Repeat Hepatectomy for Recurrent Hepatocellular	Ann Surg; 262

29	Higo T, Miyagaki T, Nakamura F,	血液・腫瘍内科	Paraneoplastic pemphigus occurring after bendamustine and rituximab therapy for	Ann Hematol. 94(4):683-5
30	Fujimoto C, Egami N,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Involvement of vestibular organs in idiopathic sudden hearing loss with vertigo:	Clin Neurophysiol. 2015; 126:1033-
31	Aizawa N, Ito H, Sugiyama R,	泌尿器科・男性科	Selective inhibitory effect of imidafenacin and 5-hydroxymethyl tolterodine on	J Urol. 2015 Apr; 193(4):1423-32
32	Ito T, Hanafusa N, Iwase S, Noiri	腎臓・内分泌内科	Effects of cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy (CART) on	Int J Clin Oncol. 2015
33	56: Furuya M, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	The half notching method for Flow-through lymphaticovenular anastomosis.	Microsurgery. 2015 Jul;35(5):415-6.doi:
34	Obuchi M, Sumitani M, Shin	脳神経外科	Spinal cord stimulation ameliorates neuropathic pain-related sleep disorders: a	Neuromodulation. 2015;18(3):191-
35	Uni M, Kagoya Y, Nannya Y,	血液・腫瘍内科	Central nervous system relapse in patients with diffuse large B-cell lymphoma:	Leuk Lymphoma. 56(6):1869-71.
36	Nakashima R, Watanabe C,	22世紀医療センター	The effect of expert knowledge on medical search: medical experts have specialized	Psychol.Res. 79:729-738,2015.
37	45: Yamamoto T, Fujita M, Ishiura	形成外科、美容外科	Trans-flap anchoring suture technique for tension-free skin flap interposition.	Microsurgery. 2015 Sep;35(6):494-5.
38	Sakaguchi Y, Tsuji Y, Ono S,	消化器内科	Polyglycolic acid sheets with fibrin glue can prevent esophageal stricture after	Endoscopy. 2015 Apr;47(4):336-40.
39	Ogata F, Fujii K, Koshima I,	循環器内科	Phenotypic modulation of smooth muscle cells in lymphoedema.	The British journal of dermatology.
40	Omura G, Ando M, Saito Y,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Comorbidity as predictor poor prognosis for patients with advanced head and neck	Head Neck. 2016;38(3):364-9
41	Hata K, Kazama S, Nozawa H,	大腸肛門外科	Laparoscopic Surgery for Ulcerative Colitis: a review of the literature.	Surgery Today. 2015; 45(8). 933-8.
42	T. Aoki, N. Kokudo, I.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Streptozocin chemotherapy for advanced/metastatic well-differentiated	J Gastroenterol; 50
43	37: Yamamoto T, Mito D, Hayashi	形成外科、美容外科	Multiple-in-one concept for lymphatic supermicrosurgery.	Microsurgery. 2015 Oct;35(7):588-9.
44	Nishikawa T, Sunami E,	大腸肛門外科	Incidence and prognostic significance of positive peritoneal lavage in colorectal	Surg Today. 2015; 45(9): 1073-1081.
45	55: Yoshimatsu H, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	The role of non-enhanced angiography in toe tip transfer with small diameter pedicle.	Microsurgery. 2015 Jul;35(5):364-9.
46	Ishihara S, Matsuda K,	大腸肛門外科	Patient factors predisposing to complications following laparoscopic	Surg Laparosc Endosc Percutan
47	Ozawa T, Ishihara S,	大腸肛門外科	Prognostic significance of the lymph node ratio in stage IV colorectal cancer patients	Ann Surg Oncol. 2015; 22(5): 1513-
48	Nakai Y, Isayama H,	消化器内科	The inhibition of renin-angiotensin system in advanced pancreatic cancer: an	J Cancer Res Clin Oncol. 2015
49	Yamamoto S, Hoshina K,	血管外科	Long-term outcomes of surgical treatment in patients with popliteal artery entrapment	Vascular • 23(5)
50	Kitayama J, Emoto S,	胃・食道外科	Flow Cytometric Quantification of Intraperitoneal Free Tumor Cells is a	Ann Surg Oncol. 2015;22(7):2336-
51	Yoshino M, Kin T, Ito A, Saito	脳神経外科	Diffusion tensor tractography of normal facial and vestibulocochlear nerves.	Int J Comput Assist Radiol Surg.
52	Yoshimura N, Muraki S, Oka	整形外科・脊椎外科	Mutual associations among musculoskeletal diseases and metabolic syndrome	Mod Rheumatol. 2015;25(3):438-48
53	Nagasaka K, Kawana K,	女性診療科・産科、女性外科	Positive peritoneal cytology at interval surgery is a poor prognostic factor in	J Obstet Gynaecol Res. 2015
54	Sugihara T, Yasunaga H, Yu	泌尿器科・男性科	Perioperative Outcome Comparisons Between Open and Laparoscopic	J Endourol. 2015 Jul;29(7):770-6
55	Motonishi S, Nangaku M,	糖尿病・代謝内科	Sirtuin1 Maintains Actin Cytoskeleton by Deacetylation of Cortactin in Injured	J Am Soc Nephrol. 2015;26(8):1939-
56	Omata Y, Yasui T, Hirose J,	顎口腔外科・歯科矯正歯科	Genomewide comprehensive analysis reveals critical cooperation between Smad	J Bone Mine Res. 2015 May;
57	Iwagami M, Yasunaga H,	腎臓・内分泌内科	Choice of renal replacement therapy modality in intensive care units: data from	J Crit Care. 2015 Apr;30(2):381-5.
58	Tsuji Y, Fujishiro M,	消化器内科	Polyglycolic acid sheets and fibrin glue decrease the risk of bleeding after	Gastrointest Endosc. 2015
59	Nakajima K, Taketomi S, Inui	整形外科・脊椎外科	Missed Medial Malleolar Fracture Associated With Achilles Tendon Rupture:	J Foot Ankle Surg. 2016 ;55(1):169-
60	Nishikawa M, Kurano M, Ikeda	消化器内科	Lysophosphatidylserine has bilateral effects on macrophage in developing	J Atheroscler Thromb. 2015
61	Ito H, Aizawa N, Fujita Y, Suzuki	泌尿器科・男性科	Long-term caloric restriction in rats may prevent age related impairment of in vitro	J Urol. 2015 Jun;193(6):2123-30

62	Tada M, Nagai T, Kirihara K,	精神科	Differential alterations of auditory gamma oscillatory responses between pre-onset	Cereb Cortex 26: 1027-35, 2016
63	Kanatani A, Nakagawa T,	泌尿器科・男性科	Adjuvant chemotherapy is possibly beneficial for locally advanced or node-	Clin Genitourin Cancer. 2015
64	23: Iida T, Yoshimatsu H,	形成外科、美容外科	Reconstruction of a full-thickness, complex nasal defect that includes the nasal septum	Microsurgery. 2016 Jan;36(1):66-9. doi:
65	S. Ohta, T. Nishiyama, M.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Development of carboxymethyl cellulose nonwoven sheet as a novel hemostatic	J Biosci Bioeng; 119
66	Nara, A., Nagai, H.,	病院検査部	Pulmonary Arterial Hypertension in Rats Due to Age-related Arginase Activation in	Am. J. Respir. Cell Mol. Biol. 53: 184-
67	Nomura T, Ushio M, Kondo K,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Effects of nasal septum perforation repair surgery on three-dimensional airflow: an	Eur Arch.Otorhinolaryn
68	Tezuka D, Terashima M,	22世紀医療センター	Clinical characteristics of definite or suspected isolated cardiac sarcoidosis:	J Card Fail. 2015 21(4):313-22.
69	Takami H, Mukasa A,	脳神経外科	Findings from positron emission tomography and genetic analyses for	Brain Tumor Pathol.
70	Ohya J, Chikuda H, Kato S,	整形外科・脊椎外科	Risks of in-hospital death and complications after fusion surgery in	World Neurosurg. 2015;83(4):603-7
71	Shoda N, Yasunaga H,	整形外科・脊椎外科	Prophylactic effect of fondaparinux and enoxaparin for preventing pulmonary	Mod Rheumatol. 2015;25(4): 625-9
72	29: Todokoro T, Hara H,	形成外科、美容外科	A threader technique using an 11-0 loop needle for supermicrosurgery.	Microsurgery. 2015 Nov;35(8):672-3.
73	Iwasaki S, Fujimoto C,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Clinical characteristics of patients with abnormal ocular/cervical vestibular evoked	Ann Otol Rhinol Laryngol. 2015;
74	Fujishiro J, Ishimaru T,	小児外科	Thoracoscopic plication for diaphragmatic eventration after surgery for congenital	J Laparoendosc Adv Surg Tech A.
75	Suzuki S, Yasunaga H,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Factors associated with severe epiglottitis in adults: Analysis of a Japanese inpatient	Laryngoscope. 2015
76	Kishikawa J, Kawai K, Tsuno	大腸肛門外科	Characteristics and prognosis of colorectal cancer associated with rheumatic disease.	International Surgery. 2015;
77	Itaoka N, Nagamatsu T,	女性診療科・産科、女性外科	Cervical Expression of Elafin and SLPI in Pregnancy and Their Association With	Am J Reprod Immunol. 2015
78	Minami T, Tateishi R,	消化器内科	Comparison of improved prognosis between hepatitis B- and hepatitis C-related	Hepatal Res 2015;45(10):E99-
79	Imamura K, Kawakami N,	精神科	Does Internet-based cognitive behavioral therapy (iCBT) prevent major depressive	Psychol Med. 45:1907-17, 2015
80	C. Lim, T. Ishizawa, A.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Surgical Indications and Procedures for Resection of Hepatic Malignancies	Ann Surg; 263
81	Takahashi T, Asano Y, Shibata	皮膚科	Arthritis possibly induced and exacerbated by TNF antagonist in a patient with	Br J Dermatol. 2015;172(5):1458-
82	Shiraya T, Kato S, Araki F,	眼科・視覚矯正科	Comparison of burn sizes resulting from photocoagulation using a transpupillary	Acta Ophtalmologica,
83	Nangaku M, Inagi R, Mimura	CKD病態生理学講座	Epigenetic Changes Induced by Hypoxia-Inducible Factor: a Long Way Still To Go	Am Soc Nephrol. 2015;26(7):1478-
84	Yamaguchi Y, Hibi S, Ishii M,	老年病科	Removal of the CPAP Therapy Device During Sleep and Its Association With	Respir Care 2015;60:658-665
85	Ono S, Fujishiro M, Yoshida N,	消化器内科	Thienopyridine derivatives as risk factors for bleeding following high risk endoscopic	Endoscopy. 2015 Jul;47(7):632-7.
86	Sasahira N, Kawakami H,	消化器内科	Early use of double-guidewire technique to facilitate selective bile duct cannulation:	Endoscopy. 2015 May;47(5):421-9.
87	Urano T, Shiraki M, Sasaki N,	老年病科	SLC25A24 as a novel susceptibility gene for low fat mass in humans and mice.	J Clin Endocrinol Metab
88	Baba M, Itaka K, Kondo K,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Treatment of neurological disorders by introducing mRNA in vivo using polyplex	Journal of Controlled Release.
89	Azuma K, Shiba S, Hasegawa T,	老年病科	Osteoblast-specific gamma-glutamyl carboxylase-deficient mice display	J Bone Miner Res 2015;30(7):1245-
90	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Readmission due to driveline infection can be predicted by new score by using serum	Journal of artificial organs : the official
91	Konoeda C, Nakajima J,	呼吸器外科	Fibroblasts of recipient origin contribute to airway fibrosis in murine tracheal	Transpl Int. 28(6) 761-763 2015
92	Izumi G, Koga K, Nagai M,	老年病科	Cyclic stretch augments production of neutrophil chemokines, matrix	Am J Reprod Immunol
93	69: Araki J, Sakai H,	形成外科、美容外科	Normothermic preservation of the rat hind limb with artificial oxygen-carrying	Transplantation. 2015
94	Ando H, Hisaka A, Suzuki H.	薬剤部	A new physiologically based pharmacokinetic model for the prediction	Drug Metab Dispos. 2015

95	Okada N, Takahashi K,	こころの発達診療部	Characterizing prefrontal cortical activity during inhibition task in	Addict Biol. 21(2):489-503
96	Shimizu K, Doi K, Imamura T,	循環器内科	Ratio of urine and blood urea nitrogen concentration predicts the response of	Nephrology (Carlton).
97	Arita R, Morishige N,	眼科・視覚矯正科	Increased Tear Fluid Production as a Compensatory Response to Meibomian	Ophthalmology 122:925-933
98	Fujimura T, Yamada Y,	泌尿器科・男性科	Nocturia in men is a chaotic condition dominated by nocturnal polyuria.	Int J Urol. 2015 May; 22(5):496-
99	Shinozaki-Ushiku A, Kunita	人体病理・病理診断学	Update on Epstein-Barr virus and gastric cancer (Review).	Int J Oncol. 2015;46(4):1421-
100	Takahara N, Isayama H,	消化器内科	Pancreatic cancer with malignant ascites: clinical features and outcomes.	Pancreas. 2015 Apr;44(3):380-5.
101	Muraki S, Akune T, En-yo Y,	整形外科・脊椎外科	Joint space narrowing, body mass index, and knee pain: The ROAD study.	Osteoarthritis Cartilage.
102	Miyagaki T, Sugaya M, Oka	皮膚科	Serum chemokine levels differentially regulated by vorinostat in a Sézary	Br J Dermatol.2015 Aug;173(2):620-2
103	Yoshida Y, Kage H, Murakawa T,	人体病理・病理診断学	Worse prognosis for stage IA lung cancer patients with smoking history and more	Ann Thorac Cardiovasc Surg.
104	Huang H, Kitano K,	呼吸器外科	Results of bony chest wall reconstruction with expanded polytetrafluoroethylene soft	Ann Thorac Cardiovasc Surg.
105	Sumida M, Doi K, Ogasawara E,	腎臓・内分泌内科	Regulation of Mitochondrial Dynamics by Dynamin-Related Protein-1 in Acute	J Am Soc Nephrol. 2015
106	Kikuchi R, Ono M, Kinugawa K,	循環器内科	Health-related quality of life in parents of pediatric solid organ transplant recipients	Pediatric transplantation.
107	Imai H, Miyawaki S, Ono H,	脳神経外科	The importance of encephalo-myosynangiosis in surgical revascularization	World Neurosurg. 2015;83(5):691-
108	Higashijima Y, Tanaka T,	腎臓・内分泌内科	Anti-inflammatory role of DPP-4 inhibitors in a nondiabetic model of glomerular injury.	Am J Physiol Renal Physiol. 2015 Apr
109	Iwasaki S, Yamasoba T	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Dizziness and imbalance in the elderly: age-related decline in the vestibular	Aging and disease. 2015; 6 (1):38-47
110	Kurano, M., Hara, M., Satoh,	病院検査部	Hepatic NPC1L1 Overexpression Ameliorates Glucose Metabolism in	Metabolism. 64: 588-596, 2015.
111	Kato R, Sumitomo S,	アレルギー・リウマチ内科	Successful treatment of cerebral large vessel vasculitis in systemic lupus	Lupus. 2015 Jul;24(8):880-4
112	Sakurabashi A, Wada-Hiraike	女性診療科・産科、女性外科	CCAR2 negatively regulates nuclear receptor LXRalpha by competing with	J Steroid Biochem Mol Biol. 2015
113	Yamamoto K, Okada Y, Suzuki	アレルギー・リウマチ内科	Genetics of rheumatoid arthritis in Asia - present and future	Nat.Rev.Rheumatol. 2015;
114	Kogure Y, Yoshimi A, Ueda	血液・腫瘍内科	Modified ESHAP regimen for relapsed/refractory T cell lymphoma: a	Ann Hematol. 94(6):989-94.
115	Ito N, Ito K, Ikebuchi Y,	薬剤部	Prediction of Drug Transfer into Milk Considering Breast Cancer Resistance	Pharm Res. 2015 Aug;32(8):2527-37.
116	Yamashita H, Onishi H,	放射線科	Survival outcomes after stereotactic body radiotherapy for 79 Japanese patients with	J Radiat Res. 2015;
117	Yamaguchi J, Tanaka T, Eto	腎臓・内分泌内科	Inflammation and hypoxia linked to renal injury by CCAAT/enhancer-binding	Kidney Int. 2015 Aug;88(2):262-75.
118	Kawai K, Ishihara S,	大腸肛門外科	Nomograms for predicting the prognosis of stage IV colorectal cancer after curative	European Journal of Surgical Oncology.
119	Fujino Y, Murata H, Mayama C,	眼科・視覚矯正科	Applying 'Lasso' regression to predict future visual field progression in glaucoma	Invest Ophthalmol Vis Sci
120	Hasegawa W, Yamauchi Y,	呼吸器内科	Factors that predict in-hospital mortality in eosinophilic granulomatosis with	Allergy 70(5)
121	Akamata K, Asano Y,	皮膚科	Endothelin receptor blockade ameliorates vascular fragility in endothelial cell-specific	Arthritis Rheumatol.
122	Miura S, Asano Y, Saigusa R,	皮膚科	Serum vaspin levels: a possible correlation with digital ulcers in patients with systemic	J Dermatol. 2015;42(5):528-31
123	59: Yamamoto T, Ishiura R, Kato	形成外科、美容外科	Hands-free vein visualizer for selection of recipient vein with an intact valve in	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
124	62: Matsutani H, Hayashi A,	形成外科、美容外科	All-star lymphatic supermicrosurgery: Multiple lymph flow diversion using end-	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
125	Takada S, Tanaka R, Kurita	眼科・視覚矯正科	Vogt-Koyanagi-Harada disease in three-year-old boy.	Clin Experiment Ophthalmol
126	Ueha S, Yokochi S, Ishiwata Y,	22世紀医療センター	Robust Antitumor Effects of Combined Anti-CD4-Depleting Antibody and Anti-	Cancer Immunol Res. 2015
127	Niikura R, Nagata N,	消化器内科	Natural history of bleeding risk in colonic diverticulosis patients: a long-term	Aliment Pharmacol Ther. 2015

128	Yamaguchi K, Komura M,	大腸肛門外科	Detection of APC mosaicism by next-generation sequencing in an FAP patient.	J Hum Genet. 2015; 60(5): 227-
129	Kinoshita M, Kikkawa Y S,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Safety, reliability, and operability of cochlear implant electrode arrays coated	Acta otolaryngologica.
130	Saigusa R, Asano Y, Nakamura K,	皮膚科	The association of anti-RNA polymerase III antibody and malignancy in Japanese	J Dermatol. 2015;42(5):524-7
131	Doi K, Ogata F, Eto H, Kato	循環器内科	Differential contributions of graft-derived and host-derived cells in tissue	Plastic and reconstructive
132	Fujiwara N, Nakagawa H,	消化器内科	Sarcopenia, intramuscular fat deposition, and visceral adiposity independently	J Hepatol 2015;63(1):131-40
133	Okano A, Nakatomi H,	人体病理・病理診断学	Intracranial inflammatory pseudotumors associated with immunoglobulin G4-related	World Neurosurg. 2015;83(6):1181.e1
134	Tanaka R, Takamoto M,	眼科・視覚矯正科	Clinical features of psoriatic uveitis in Japanese patients.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol
135	T. Kokudo, E. Bonard, M.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Reappraisal of shunt surgery for extrahepatic portal vein obstruction in	Hepatol Res; 45
136	Yamauchi A, Yokonishi H,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Vocal Fold Vibration in Vocal Fold Atrophy: Quantitative Analysis With High-	Journal of Voice. 2015; 29(6):755-62
137	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Novel scoring system using cardiopulmonary exercise testing predicts	Circulation journal : official journal of
138	Hanafusa N, Torato T,	血液浄化療法部	Deep vein puncture under ultrasonographic guidance—an alternative approach for	J Clin Apher. 2015 Dec;30(6):380-1.
139	Hino H, Murakawa T,	呼吸器外科	Results of Lung Cancer Surgery for Octogenarians.	Ann Thorac Cardiovasc Surg
140	Shinozaki-Ushiku A, Kunita	人体病理・病理診断学	Profiling of Virus-encoded MicroRNAs in Epstein-Barr Virus-associated Gastric	J Virol. 2015;89(10):5581-
141	G. Wakabayashi, D. Cherqui, D.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Recommendations for laparoscopic liver resection: a report from the second	Ann Surg; 261
142	Imamura K, Kawakami N,	精神科	Effects of an internet-based cognitive behavioral therapy intervention on	J Occup Environ Med. 57:578-84.
143	Myojo M, Takahashi M,	循環器内科	Midterm follow-up after retrievable inferior vena cava filter placement in venous	Clinical cardiology. 2015;38(4):216-21.
144	Hashimoto T, Chen L, Kimura	血管外科	Silencing of eIF3e promotes blood perfusion recovery after limb ischemia	Journal of Vascular Surgery • 64(1)
145	Harada M, Takahashi N,	女性診療科・産科、女性外科	Laparoscopic excision of ovarian endometrioma does not exert a qualitative	J Assist Reprod Genet. 2015
146	Masuda A, Jona M, Satoh Y,	血液・腫瘍内科	The criteria to suspect chronic myeloid leukemia using absolute basophil counts in	Int J Hematol. 101(6):626-8.
147	Shibata J, Ishihara S, Tada	大腸肛門外科	Surgical stress response after colorectal resection: a comparison of robotic,	Techniques in Coloproctology.
148	Moro T, Takatori Y,	整形外科・脊椎外科	Wear resistance of the biocompatible phospholipid polymer-grafted highly cross-	J Orthop Res. 2015;33(7):1103-
149	Miura S, Asano Y, Saigusa R,	皮膚科	Serum omentin levels: a possible contribution to vascular involvement in	J Dermatol. 2015;42(5):461-6
150	Y. Hoshino, J. Nishida, Y.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Smad4 Decreases the Population of Pancreatic Cancer-Initiating Cells through	Am J Pathol; 185
151	Miyagaki T, Sugaya M	皮膚科	Recent advances in atopic dermatitis and psoriasis: genetic background, barrier	J Dermatol Sci. 2015;78(2):89-94
152	Hikita A, Imura T, Oshima Y,	顎口腔外科・歯科矯正歯科	Analyses of bone modeling and remodeling using in vitro reconstitution system with	Bone. 2015 Jul; 76:5-17.
153	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Biventricular failure with low pulmonary vascular resistance was managed by left	Journal of artificial organs : the official
154	S. Yamamoto, K. Hasegawa, Y.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Bile duct preserving surgery for hepatocellular carcinoma with bile duct	Ann Surg; 261
155	Shichijo S, Hirata Y,	消化器内科	Distribution of intestinal metaplasia as a predictor of gastric cancer development.	J Gastroenterol Hepatol. 2015
156	Shoda H, Fujio K, Sakurai K,	アレルギー・リウマチ内科	Autoantigen BiP-Derived HLA-DR4 Epitopes Differentially Recognized by	Arthritis Rheumatol. 2015
157	Takahashi T, Asano Y, Noda	皮膚科	A possible contribution of lipocalin-2 to the development of dermal fibrosis,	Br J Dermatol. 2015
158	T. Watanabe, M. Itabashi, Y.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) Guidelines 2014 for	Int J Clin Oncol; 20
159	Ando M, Saito Y, Morikawa T,	人体病理・病理診断学	Maxillary carcinosarcoma: Identification of a novel MET mutation in both	Head Neck. 2015;37(12):E179-
160	Komura M, Komura H, Otani	小児外科	Tracheoplasty with cartilage-engineered esophagus environments	J Pediatr Surg. 50(7):1093-8, 2015

161	Takayasu H, Masumoto K,	小児外科	Increased pulmonary RhoA expression in the nitrofen-induced congenital	J Pediatr Surg. 2015
162	Aoki A, Tan X, Yamagishi R,	眼科・視覚矯正科	Risk Factors for Age-Related Macular Degeneration in an Elderly Japanese	Invest Ophthalmol Vis Sci 5:2580-5
163	Shibuya M, Fujio K, Shoda H,	アレルギー・リウマチ内科	A new T-cell activation mode for suboptimal doses of antigen under the full	Eur J Immunol. 2015
164	Hori M, Kinoshita Y,	腎臓・内分泌内科	Phosphate enhances Fgf23 expression through reactive oxygen species in UMR-	J Bone Miner Metab. 2016; 34:
165	Iwagami M, Yasunaga H,	腎臓・内分泌内科	Current state of continuous renal replacement therapy for acute kidney	Nephrol Dial Transplant. 2015
166	Masuda A, Hara T, Miyata K,	眼科・視覚矯正科	Do pattern deviation values accurately estimate glaucomatous visual field damage	Br J Ophthalmol 99: 1240-1244
167	Shin M, Kondo K, Kin T,	脳神経外科	Endoscopic transnasal interseptal approach for invasive clival tumors: development of	Neurol Med Chir (Tokyo).
168	Ohya J, Chikuda H, Kato S,	整形外科・脊椎外科	Elevated levels of phosphorylated neurofilament heavy subunit in the	Spine J. 2015;15(7):1587-
169	64: Sari Y, Sanada H,	形成外科、美容外科	Vibration inhibits deterioration in rat deep-tissue injury through HIF1-MMP	Wound Repair Regen. 2015 May-
170	58: Tashiro K, Harima M, Mito	形成外科、美容外科	Preoperative color Doppler ultrasound assessment of the lateral thoracic artery	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
171	Kobayashi M, Hoshina K,	血管外科	Development of an image-based modeling system to investigate evolutionary geometric	Circ J • 79
172	Wu CY, Asano Y, Taniguchi T,	皮膚科	Serum heparanase levels: a protective marker against digital ulcers in patients	J Dermatol. 2015;42(6):625-8
173	Sugaya M, Morimura S,	皮膚科	CCR4 is expressed on infiltrating cells in lesional skin of early mycosis fungoides and	J Dermatol. 2015;42(6): 613-
174	Miyawaki S, Imai H, Shimizu M,	脳神経外科	Genetic Analysis of RNF213 c.14576G>A Variant in Nonatherosclerotic Quasi-	J Stroke Cerebrovasc Dis.
175	T. Yamaguchi, K. Hasegawa and	肝胆膵・人工臓器移植外科	An unusual cause of ascites	Gastroenterology; 148
176	Kishikawa T, Otsuka M, Tan	消化器内科	Decreased miR122 in hepatocellular carcinoma leads to	Oncotarget. 2015 Apr 10;6(10):8339-
177	Watanabe T, Hirano K, Tada	消化器内科	Short-term prognostic factors for primary sclerosing cholangitis.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015
178	68: Mashiko T, Yoshimura K.	形成外科、美容外科	How does fat survive and remodel after grafting?	Clin Plast Surg. 2015
179	67: Kuno S, Yoshimura K.	形成外科、美容外科	Condensation of tissue and stem cells for fat grafting.	Clin Plast Surg. 2015
180	Kato S, Oshima Y, Oka H,	整形外科・脊椎外科	Comparison of the Japanese Orthopaedic Association (JOA) score and modified JOA	PLoS One. 2015;10(4):e012302
181	Fukuda T, Oda K, Wada-Hiraike	女性診療科・産科、女性外科	The anti-malarial chloroquine suppresses proliferation and overcomes cisplatin	Gynecol Oncol. 2015
182	Kadowaki T, Haneda M,	糖尿病・代謝内科	Efficacy and safety of empagliflozin monotherapy for 52 weeks in Japanese	Adv Ther. 2015;32(4):306-18
183	Inokuchi H, Tojima M, Mano	リハビリテーション科・部	Neck range of motion measurements using a new three-dimensional motion analysis	Eur Spine J 2015; 24: 2807-2815
184	65: Hayashi A, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	Ultrasound visualization of the lymphatic vessels in the lower leg.	Microsurgery. 2015 Apr 8. doi:
185	Tanabe H, Fujii Y, Okada-Iwabu	22世紀医療センター	Crystal structures of the human adiponectin receptors.	Nature. 2015;520(7547):31
186	Hamada T, Isayama H,	消化器内科	Antireflux metal stent with an antimigration system for distal malignant biliary	Surg Laparosc Endosc Percutan
187	Yamamichi N, Shimamoto T,	消化器内科	Trend and risk factors of diverticulosis in Japan: age, gender, and	PLoS One. 2015 Apr
188	Kadowaki T, Marubayashi F,	糖尿病・代謝内科	Safety and efficacy of teneligliptin in Japanese patients with type 2 diabetes	Expert Opin Pharmacother.
189	Yoshino M, Kin T, Ito A, Saito	脳神経外科	Feasibility of diffusion tensor tractography for preoperative prediction of the location	Acta Neurochir (Wien).
190	Ohkawa R., Kurano M.,	消化器内科	Possible involvement of sphingomyelin in the regulation of the plasma sphingosine 1-	Clin Biochem, 2015 48(10-11):690-
191	Takao H, Hayashi N,	22世紀医療センター	Brain morphology is individual-specific information.	Magn.Reson.Imagin g 33:816-821,2015.
192	Nakamura M, Satoh N, Suzuki	泌尿器科・男性科	Stimulatory effect of insulin on renal proximal tubule sodium transport is	Biochem Biophys Res Commun. 2015
193	Kawai K, Sunami E, Tanaka J,	血管外科	Synchronous colorectal malignancy and abdominal aortic aneurysm treated with	Int Surg • 100(4)

194	Waki K, Aizawa K, Kato S, Fujita	糖尿病・代謝内科	DialBetics With a Multimedia Food Recording Tool, FoodLog: Smartphone-	J Diabetes Sci Technol.
195	Seiki T, Nagasaka K,	女性診療科・産科、女性外科	HPV-16 impairs the subcellular distribution and levels of expression of	BMC Cancer. 2015 Apr 7;15:230.
196	Tada K, Nishioka K, Kikuchi Y,	乳腺内分泌外科	Virtual touch tissue quantification cannot assess breast cancer lesions except for	World J Surg Oncol. 2015;13:147
197	Nishimatsu H, Suzuki E, Saito	泌尿器科・男性科	Senescent Cells Impair Erectile Function through Induction of Endothelial	PLoS One. 2015 Apr
198	Nakajima R, Miyagaki T, Oka	皮膚科	Elevated serum galectin-9 levels in patients with atopic dermatitis	J Dermatol. 2015;42(7):723-6
199	J. Togashi, N. Akamatsu, Y.	肝胆膵・人工臓器移植外科	One-year extended, monthly vaccination prophylaxis combined with hepatitis B	Hepatol Res; 46
200	Hitomi Y, Kawashima M,	輸血部	Human primary biliary cirrhosis susceptible allele of rs4979462 enhances TNFSF15	Human Genetics 134:737-47, 2015
201	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Opening of native aortic valve accomplished after left ventricular assist	International heart journal.
202	Taguchi S, Nakagawa T,	泌尿器科・男性科	Pretreatment neutrophil-to-lymphocyte ratio as an independent predictor of	Int J Urol. 2015 Jul;22(7):638-43
203	Taketani Y, Mayama C,	眼科・視覚矯正科	Transient but significant visual field defects after robot-assisted laparoscopic radical	PLoS One Apr 23;10(4):e0123361,
204	Shiomi Y, Yamauchi T,	糖尿病・代謝内科	A Novel Peroxisome Proliferator-activated Receptor (PPAR)alpha Agonist and	J Biol Chem. 2015;290(23):1456
205	Mitsui J, Matsukawa T,	リハビリテーション科・部	Variants associated with Gaucher disease in multiple system atrophy	Ann Clin Transl Neurol 2015; 2(4):
206	Kimura K, Daimon M,	循環器内科	Evaluation of right ventricle by speckle tracking and conventional	International heart journal.
207	Kamo T, Akazawa H,	循環器内科	Pleiotropic Effects of Angiotensin II Receptor Signaling in Cardiovascular	International heart journal.
208	Miyasaka A, Oda K, Ikeda Y, Sone	女性診療科・産科、女性外科	PI3K/mTOR pathway inhibition overcomes radioresistance via suppression of the	Gynecol Oncol. 2015
209	Shimada S, Kunii N, Kawai K,	脳神経外科	Spontaneous Temporal Pole Encephalocoele Presenting with Epilepsy: Report of Two	World Neurosurg. 2015;84(3):867.e86
210	Kinoshita A, Takizawa R,	こころの発達診療部	Effect of metabotropic glutamate receptor-3 variants on prefrontal brain activity in	Prog Neuropsychopharm
211	Y. Nishioka, J. Shindoh, R.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Radiological Morphology of Colorectal Liver Metastases after Preoperative	J Gastrointest Surg; 19
212	Ando M, Yamauchi H,	心臓外科	Long-term outcome after the original and simple modified technique of valve-sparing	J Cardiol. 2016 Jan; 67(1) : 86-91.
213	Son BK, Sawaki D, Tomida S,	老年病科	Granulocyte macrophage colony-stimulating factor is required for aortic	Nat Commun. 2015;29(6):6994.
214	Yokoyama Y, Hata K,	大腸肛門外科	Giant solitary fibrous tumor of the pelvis successfully treated with preoperative	World Journal of Surgical Oncology.
215	Shirasu T, Hoshina K,	血管外科	Poor Prognosis in Critical Limb Ischemia Without Pre-Onset Intermittent	Circ J • 79(7)
216	Kaneko M, Ohnishi I,	整形外科・脊椎外科	Prediction of proximal femur strength by a quantitative computed tomography-based	Mod Rheumatol. 2016; 26(1):151-5
217	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Should cardiac resynchronization therapy be a rescue therapy for inotrope-	Journal of cardiac failure.
218	Amemiya S, Takahashi K,	放射線科	Reversible alterations of the neuronal activity in spontaneous intracranial	Cephalalgia. 2016; 36(2): 162-71
219	Miyashita M, Koga K, Izumi	女性診療科・産科、女性外科	Drospirenone induces decidualization in human eutopic endometrial stromal cells	Fertil Steril. 2015 Jul;104(1):217-
220	Hirata T, Nakazawa A,	女性診療科・産科、女性外科	Four Cases of Postoperative Pneumothorax Among 2814 Consecutive Laparoscopic	J Minim Invasive Gynecol. 2015
221	Ishii-Takahashi A, Takizawa R,	こころの発達診療部	Neuroimaging-aided prediction of the effect of methylphenidate in children with	Neuropsychopharm acology.
222	Yamamoto K, Tanei Z,	人体病理・病理診断学	Chronic optogenetic activation augments a beta pathology in a mouse model of	Cell Rep. 2015;11(6):859-65.
223	Suzuki N, Murata-Kamiya	消化器内科	Mutual reinforcement of inflammation and carcinogenesis by the Helicobacter pylori	Sci Rep. 2015 May 6;5:10024.
224	Suzuki S, Yasunaga H,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Complication rates after functional endoscopic sinus surgery: Analysis of	The Laryngoscope. 2015; 125(8):1785-
225	Ozawa T, Saito S, Matsuura S,	大腸肛門外科	Thyroid gland metastasis of rectal cancer.	J Surg Case Rep. 2015; 2015(5): pii:
226	Yokonishi H, Imagawa H,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Relationship of Various Open Quotients With Acoustic Property, Phonation Types,	J Voice. 2016;30(2):145-57

227	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Opening of Aortic Valve During Exercise Is Key to Preventing Development of Aortic	ASAIO J. 2015;61(5):514-9.
228	Miyagaki T, Fujimoto M,	皮膚科	Regulatory B cells in human inflammatory and autoimmune diseases: from mouse	Int Immunol. 2015 Oct;27(10):495-
229	Miyagawa T, Kadono T,	皮膚科	Cutaneous apocrine carcinoma of the scrotum: A case with widespread	J Dermatol. 2015;42(8):815-
230	Ito S, Hirabayashi K,	消化器内科	Novel sex-dependent differentially methylated regions are	Biochem Biophys Res Commun. 2015
231	Anzai H, Kazama S, Kiyomatsu T,	人体病理・病理診断学	Alpha-fetoprotein-producing early rectal carcinoma: a rare case report and review.	World J Surg Oncol.
232	Nishimura S, Nagasaki M,	糖尿病・代謝内科	IL-1alpha induces thrombopoiesis through megakaryocyte rupture in response to	J Cell Biol. 2015;209(3):453-
233	Kazama S, Kitayama J,	大腸肛門外科	Phospholipase A2 Group III and Group X Have Opposing Associations with	Anticancer Res. 2015; 35(5): 2983-
234	Hashimoto T, Shibasaki F	血管外科	Hypoxia-inducible factor as an angiogenic master switch	Frontiers in Pediatrics • 24(3)
235	Kimura, K., Morita, K.,	病院検査部	Prognostic Impact of Venous Thromboembolism in Patients with	Int. J. Cardiol. 191: 178-180, 2015.
236	Yasui T, Nishino J, Shoda N,	整形外科・脊椎外科	Prevalence of total knee arthroplasty and its predictive factors in Japanese patients	Mod Rheumatol. 2016;26(1):36-9
237	Imamura K, Kawakami N,	精神科	Effects of an internet-based cognitive behavioural therapy intervention on	BMJ Open 5: e007590, 2015
238	Kobayashi K, Ando M, Saito	人体病理・病理診断学	Nerve Growth Factor Signals as Possible Pathogenic Biomarkers for Perineural	Otolaryngol Head Neck Surg.
239	43: Ishiura R, Yoshimatsu H,	形成外科、美容外科	Near-infrared fluorescent angiography for demarcation of infected ulcer debridement.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
240	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Prophylactic Intra-Aortic Balloon Pump Before Ventricular Assist Device	Circulation journal : official journal of
241	57: Mashiko T, Abo Y, Kuno S,	形成外科、美容外科	A novel facial rejuvenation treatment using pneumatic injection of non-cross-linked	Dermatol Surg. 2015
242	Kariya T, Ito N, Kitamura T,	麻酔科・痛みセンター	Recovery from Extreme Hemodilution (Hemoglobin Level of 0.6 g/dl) in	Anesthesia and Analgesia Case
243	Takeda N, Morita H, Fujita	循環器内科	Congenital contractural arachnodactyly complicated with aortic dilatation and	American journal of medical genetics
244	Mitsui A, Tada Y, Takahashi T,	皮膚科	Serum IL-33 levels are increased in patients with psoriasis	Clin Exp Dermatol. 2016
245	Inui H, Taketomi S, Yamagami R,	整形外科・脊椎外科	Twice cutting method reduces tibial cutting error in unicompartmental knee	Knee. 2016;23(1):173-6.
246	Yagi H, Hatano M, Takeda N,	循環器内科	Congenital Contractural Arachnodactyly without FBN1 or FBN2 Gene Mutations	Intern Med. 2015;54(10):1237-
247	Yamaguchi H, Kitayama J,	大腸肛門外科	Cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy (CART) for management	European Journal of Surgical Oncology.
248	Okamoto K, Honda K, Doi K,	腎臓・内分泌内科	Glypican-5 Increases Susceptibility to Nephrotic Damage in Diabetic Kidney.	Am J Pathol. 2015 Jul;185(7):1889-98.
249	Sawaki D, Hou L, Tomida S,	老年病科	Modulation of Cardiac Fibrosis by Krü ppe-like Factor 6 through Transcriptional	Cardiovasc Res 2015;107(4):420-
250	14: Yamamoto T, Yoshimatsu H,	形成外科、美容外科	A method of continuous indirect aspiration for field clearance in lymphatic	Microsurgery. 2016 Feb;36(2):175. doi:
251	Uni M, Yoshimi A, Yamazaki S,	血液・腫瘍内科	Comparison of garenoxacin with levofloxacin as antimicrobial prophylaxis in	Jpn J Clin Oncol. 45(8):745-8.
252	Kato I, Fujimoto F, Higurashi Y,	感染制御部	Antibiotic Susceptibilities of Pseudomonas aeruginosa Isolated from Blood Samples	Infect Dis Ther 2015; 4(2)
253	Y. Inagaki, P. Song, W. Tang	肝胆膵・人工臓器移植外科	Cancer-associated carbohydrate antigens for clinical diagnostic markers--its	Drug Discov Ther; 9
254	Takami H, Fukushima S,	脳神経外科	Human chorionic gonadotropin is expressed virtually in all intracranial germ	J Neurooncol. 2015;124(1):23-32.
255	Yamauchi Y, Yasunaga H,	呼吸器内科	Comparison of in-hospital mortality in patients with COPD, asthma and asthma-	Respirology 20(6)
256	Yamauchi A, Yokonishi H,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Quantification of Vocal Fold Vibration in Various Laryngeal Disorders Using High-	J Voice. 2016;30(2):205-14
257	Kaneko K, Kawai K, Tsuno NH,	大腸肛門外科	Perioperative Allogeneic Blood Transfusion Is Associated With Surgical Site Infection	International Surgery. 2015;
258	Urabe M, Yamagata Y,	人体病理・病理診断学	Solitary fibrous tumor of the greater omentum, mimicking gastrointestinal	Int Surg. 2015;100(5):836-
259	Okubo K, Ishibashi Y,	腎臓・内分泌内科	Successful management of a chest exit site in a psoriasis patient.	Perit Dial Int. 2015 May-

260	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Perioperative Hypoalbuminemia Affects Improvement in Exercise Tolerance After	Circulation journal : official journal of
261	Fujiwara K, Koyama K, Suga	放射線科	90Y-Labeled Anti-ROBO1 Monoclonal Antibody Exhibits Antitumor Activity	PLoS One. 2015; 10(5): e0125468
262	Ono S, Fujishiro M, Ikeda Y,	消化器内科	Recent clinical management of antithrombotic agents for gastrointestinal	Dig Endosc. 2015 Sep;27(6):649-56.
263	P. Song, Y. Inagaki, Z.	肝胆膵・人工臓器移植外科	High Levels of Gamma-Glutamyl Transferase and Indocyanine Green	Medicine (Baltimore); 94
264	Kumagai H, Ikeda Y,	糖尿病・代謝内科	Quantitative measurement of GPCR endocytosis via pulse-chase covalent	PLOS ONE. 2015;10(5):e012939
265	M. Takahashi, K. Hasegawa, M.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Repeat resection leads to long-term survival: analysis of 10-year follow-up of	Am J Surg; 210
266	Iizuka H, Kagoya Y, Kataoka K,	血液・腫瘍内科	Targeted gene correction of RUNX1 in induced pluripotent stem cells derived from	Exp Hematol. 43(10):849-57.
267	Ko T, Higashitani M,	循環器内科	Impact of Acute Kidney Injury on Early to Long-Term Outcomes in Patients Who	The American journal of
268	Ishii T, Goto Y, Matsuzaki H,	人体病理・病理診断学	Pulmonary Metastasis of Combined Hepatocellular and Cholangiocarcinoma:	Internal medicine 2015 ; 54(11) :
269	Ikeda Y, Kumagai H,	糖尿病・代謝内科	Monitoring beta-arrestin recruitment via beta-lactamase enzyme fragment	PLOS ONE. 2015;10(6):e012744
270	Arita R, Morishige N,	眼科・視覚矯正科	Effects of Eyelid Warming Devices on Tear Film Parameters in Normal Subjects and	Ocul Surf. 13:321-330
271	Saito H, Hamasaki Y,	腎臓・内分泌内科	Phospholipase A2 receptor positive membranous nephropathy long after living	Nephrology (Carlton). 2015
272	Inaba K, Oda K, Ikeda Y, Sone K,	女性診療科・産科、女性外科	Antitumor activity of a combination of dual PI3K/mTOR inhibitor SAR245409 and	Gynecol Oncol. 2015
273	42: Yoshimatsu H, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	Pedicle-in-a-trench technique for lower extremity reconstruction.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
274	Furuya H, Taguchi A,	女性診療科・産科、女性外科	Resveratrol Protects Against Pathological Preterm Birth by Suppression of	Reprod Sci. 2015 Dec;22(12):1561-8.
275	Akiyama Y, Nomiya A, Niimi	泌尿器科・男性科	Botulinum toxin type A injection for refractory interstitial cystitis: A	Int J Urol. 2015 Sep; 22(9):835-41
276	Tanaka J, Nishikawa T,	大腸肛門外科	Analysis of anastomotic leakage after rectal surgery: A case-control study	Ann Med Surg. 2015; 4(2):183-6
277	Uehara Y, Oda K, Ikeda Y, Koso	女性診療科・産科、女性外科	Integrated copy number and expression analysis identifies profiles of whole-arm	PLoS One. 2015 Jun
278	Makise N, Morikawa T,	泌尿器科・男性科	Urinary bladder urothelial carcinoma with concurrent plasmacytoid and	Pathol Int. 2015 Sep;65(9):495-500
279	Nagai Y, Yamamoto Y,	大腸肛門外科	High RAD54B expression: an independent predictor of postoperative distant	Oncotarget. 2015; 6(25): 21064-73.
280	Ueha R, Nito T, Sakamoto T,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Supra-thyroid alar cartilage approach for the complete resection of laryngeal	European Archives of Oto-Rhino-
281	Ozawa T, Ishihara S,	大腸肛門外科	The preoperative platelet to lymphocyte ratio is a prognostic marker in patients	Int J Colorectal Dis. 2015; 30(9):
282	Saito Y, Yasuhara H,	材料管理部	Time-dependent influence on assessment of contaminated environmental surfaces in	Am J Infect Control. 2015 Sep
283	Kyomoto M, Shobuie T,	整形外科・脊椎外科	Prevention of bacterial adhesion and biofilm formation on a vitamin E-blended,	Acta Biomater. 2015;24:24-34
284	Morita K, Masamoto Y,	輸血部	BAALC potentiates oncogenic ERK pathway through interactions with MEKK1	Leukemia 29:2248-56, 2015
285	Matsudaira K, Kawaguchi M,	22世紀医療センター	Assessment of psychosocial risk factors for the development of non-specific chronic	Ind Health. 2015;53(4):368-77.
286	Shin M, Kondo K, Hanakita S,	脳神経外科	Endoscopic transnasal approach for resection of locally aggressive tumors in	J Neurosurg. 2015;123(3):748-
287	Yoshino M, Kin T, Ito A, Saito	脳神経外科	Combined use of diffusion tensor tractography and multifused contrast-	J Neurosurg. 2015;123(6):1480-
288	Saito T, Ohba S, Yano F, Seto I,	顎口腔外科・歯科矯正歯科	Runx1 and Runx3 Are Downstream Effectors of Nanog in Promoting	Cell Reprogram. 2015
289	Saito Y, Yoshida M, Omura G,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Prognostic value of p16 expression irrespective of human papillomavirus status	Jpn J Clin Oncol. 2015; 45(9):828-36
290	Imai Y, Morita H, Takeda N,	循環器内科	A deletion mutation in myosin heavy chain 11 causing familial thoracic aortic	International journal of
291	T. Kokudo, K. Hasegawa, E.	肝胆膵・人工臓器移植外科	A new formula for calculating standard liver volume for living donor liver	J Hepatol; 63
292	Ishihara S, Otani K, Yasuda K,	大腸肛門外科	Recent advances in robotic surgery for rectal cancer.	International Journal of Clinical

293	Fujishiro M, Higuchi K, Kato	消化器内科	Long-term efficacy and safety of rabeprazole in patients taking low-dose	J Clin Biochem Nutr. 2015
294	Tamiya H, Yasunaga H,	老年病科	Hypnotics and the occurrence of bone fractures in hospitalized dementia patients:	PLoS ONE 2015;10(6):e012936
295	Minami T, Tateishi R,	消化器内科	Serum Alpha-Fetoprotein Has High Specificity for the Early Detection of	Medicine (Baltimore)
296	36: Saito T, Yoshimatsu H,	形成外科、美容外科	Precise measurement using a new background sheet with crack scales for	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
297	Wu CY, Asano Y, Taniguchi T,	皮膚科	Serum level of circulating syndecan-1: a possible association with proliferative	J Dermatol. 2016 Jan;43(1):63-6
298	Ikeda Y, Takimoto E,	循環器内科	SH2B1: a new player in the regulation of cardiac hypertrophic response in failing	Cardiovascular research.
299	Y. Nishioka, N. Akamatsu, Y.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Hereditary Hemorrhagic Telangiectasia with Hepatic Vascular Malformations	Case Rep Med; 2015
300	Takeyama E, Tanaka M,	小児外科	A case of alpha-fetoprotein-producing gastric cancer in a child presenting with	Pediatr Surg Int. 2015
301	Tokuhara Y., Kurano M.,	消化器内科	A New Enzyme Immunoassay for the Quantitative Determination of Classical	PLoS One. 2015 Jun
302	Muraoka H, Imamura T,	循環器内科	Reverse Remodeling Achieved by Combination Therapy With High-Dose	International heart journal.
303	Muraoka H, Imamura T,	循環器内科	Secure Combination Therapy With Low-Dose Bosentan and Ambrisentan to Treat	International heart journal.
304	38: Hara H, Mihara M, Ohtsu	形成外科、美容外科	Indication of Lymphaticovenous Anastomosis for Lower Limb Primary	Plast Reconstr Surg. 2015
305	Yoshimura N, Muraki S, Oka	整形外科・脊椎外科	Factors affecting changes in the serum levels of 25-hydroxyvitamin D: A 3-year	Osteoporos Int. 2015;26(11):2597-
306	Kamo T, Akazawa H,	循環器内科	Cardiac nonmyocytes in the hub of cardiac hypertrophy.	Circulation research.
307	Morita H, Komuro I.	循環器内科	Mendelian randomisation study for statin treatment.	Lancet. 2015;385(9981):19
308	Kimura T, Sugaya M, Oka	皮膚科	Lymphatic dysfunction attenuates tumor immunity through impaired antigen	Oncotarget. 2015;6(20):18081-
309	Yoshimura N, Muraki S, Oka	22世紀医療センター	Association between new indices in the locomotive syndrome risk test and decline	J Orthop Sci. 2015; 20(5):896-905
310	Iwase S, Kawaguchi T,	22世紀医療センター	Efficacy and safety of an amino acid jelly containing coenzyme Q10 and L-carnitine	Support Care in Cancer 2015 Jun
311	Saito T, Yano F, Mori D, Kawata	顎口腔外科・歯科矯正歯科	Hyaline cartilage formation and tumorigenesis of implanted tissues derived	Biomed Res. 2015 Jun;36(3):179-86.
312	Kato H, Ishida J, Matsusaka T,	腎臓・内分泌内科	Erythropoiesis and Blood Pressure Are Regulated via AT1 Receptor by Distinctive	PLoS One. 2015 Jun
313	Y. Kono, T. Ishizawa, K.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Techniques of Fluorescence Cholangiography During Laparoscopic	Medicine (Baltimore); 94
314	Ohno M, Otsuka M, Kishikawa T,	消化器内科	Novel therapeutic approaches for hepatitis B	World J Gastroenterol.
315	Yamada A, Niikura R,	消化器内科	Risk factors for small bowel angioectasia: The impact of visceral fat accumulation.	World J Gastroenterol.
316	Nakamura K, Asano Y, Shibata	皮膚科	A case of psoriasis vulgaris developing ulcerative colitis during adalimumab	J Dermatol. 2015 Oct;42(10):1029-
317	Ichikawa M, Nagamatsu T,	女性診療科・産科、女性外科	Placental autotaxin expression is diminished in women with pre-eclampsia.	J Obstet Gynaecol Res. 2015
318	35: Yoshino Y, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	Inguinal seroma prevention after superficial circumflex iliac artery perforator	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
319	34: Yoshimatsu H, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	Deep branch of the superficial circumflex iliac artery for backup.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
320	Taketani Y, Murata H,	眼科・視覚矯正科	How many visual fields are required to precisely predict future test results in	Invest Ophthalmol Vis Sci 56:4076-
321	52: Yoshimura K, Coleman SR.	形成外科、美容外科	Complications of Fat Grafting: How They Occur and How to Find, Avoid, and Treat	Clin Plast Surg. 2015 Jul;42(3):383-
322	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Advantage of Pulsatility in Left Ventricular Reverse Remodeling and Aortic	Circulation journal : official journal of
323	Tajima S, Takashi Y, Ito N,	腎臓・内分泌内科	ERG and FLI1 are useful immunohistochemical markers in	Med Mol Morphol. 2015 pp1-7
324	Hamada T, Yasunaga H,	消化器内科	Bleeding after endoscopic sphincterotomy or papillary balloon dilation among users of	Endoscopy. 2015 Nov;47(11):997-
325	Nakatani K, Watabe T,	循環器内科	Myocardial energy provision is preserved by increased utilization of glucose and	Metabolism: clinical and experimental.

326	Nagai, H., Kuwahira, I.,	病院検査部	Pulmonary Macrophages Attenuate Hypoxic Pulmonary Vasoconstriction via	PLoS One. 10: e0131923, 2015.
327	Kiyomatsu H, Kawai K,	大腸肛門外科	"Mesalazine-induced pleuropericarditis in a patient with Crohn's disease"	Internal Medicine. 2015; 54(13):
328	Arai S, Miyauchi M, Kurokawa M.	血液・腫瘍内科	Modeling of hematologic malignancies by iPS technology.	Exp Hematol. 43(8):654-60
329	Taguchi S, Nakagawa T,	泌尿器科・男性科	Validation of major prognostic models for metastatic urothelial carcinoma using a	World J Urol. 2016 Feb;34(2):163-71
330	T. Ishizawa, C. Lim and N.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Reply to "Liver Malignancies in Segment VII: The Role of Robot-assisted Surgery"	Ann Surg;
331	Kobayashi H, Shinoda Y, Ohki	リハビリテーション科・部	Intercostal neuralgia as a symptom of an osteoblastoma in thoracic spine	BMJ Case Rep 2015 Jul 2
332	Tojo A, Asaba K, Kinugasa S,	人体病理・病理診断学	The reduced expression of proximal tubular transporters in acquired Fanconi syndrome	Med Mol Morphol. 2016;49(1):48-52.
333	Oka H, Matsudaira K,	整形外科・脊椎外科	Risk Factors for Prolonged Treatment of Whiplash-Associated Disorders.	PLoS One. 2015;10(7):e013219
334	Yamane S, Kyomoto M,	整形外科・脊椎外科	Effects of extra irradiation on surface and bulk properties of PMPC-grafted cross-	J Biomed Mater Res A. 2016;
335	Yamauchi Y, Yasunaga H,	呼吸器内科	Comparison of clinical characteristics and outcomes between aspiration pneumonia	BMC Pulm Med 15(69)
336	Motozawa Y, Uozumi H,	循環器内科	Acute Myocardial Infarction That Resulted From Poor Adherence to Medical	International heart journal.
337	Sakamoto A, Higashikuni Y,	消化器内科	Pioglitazone Reduces Vascular Lipid Accumulation in Angiotensin	J Atheroscler Thromb.
338	Yamada T, Hara K, Shoijima N,	糖尿病・代謝内科	Daytime Napping and the Risk of Cardiovascular Disease and All-Cause	Sleep. 2015;38(12):1945-
339	33: Yamamoto T, Yoshimatsu H,	形成外科、美容外科	Parallel pocket incision: Less invasive surgical intervention for the treatment of	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
340	Otsuka, A., Yumoto, M.,	病院検査部	Frequency characteristics of neuromagnetic auditory steady-state	Clin Neurophysiol. 127: 790-802,
341	Ozawa T, Ishihara S, Kawai	大腸肛門外科	Impact of a lymphocyte to monocyte ratio in stage IV colorectal cancer.	J Surg Res. 2015; 199(2): 386-92.
342	Takahashi M, Kume H,	泌尿器科・男性科	Preoperative Evaluation of Renal Cell Carcinoma by Using 18F-FDG PET/CT.	Clin Nucl Med. 2015
343	Sakamoto A, Ishizaka N, Imai	循環器内科	Relationship between serum IgG4 concentrations and atherosclerotic	Journal of cardiology.
344	Fukuda T, Shirane A,	女性診療科・産科、女性外科	HAND2-mediated proteolysis negatively regulates the function of estrogen receptor	Mol Med Rep. 2015 Oct;12(4):5538-44.
345	Shibasaki K, Ogawa S,	老年病科	Favorable Effect of Sympathetic Nervous Activity on Rehabilitation Outcomes in	J Am Med Dir Assoc
346	Mizuno S, Hirano K,	消化器内科	Prospective study of bezafibrate for the treatment of primary sclerosing cholangitis.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015
347	Shibata S, Tada Y, Hau CS,	糖尿病・代謝内科	Adiponectin regulates psoriasisiform skin inflammation by suppressing IL-17	Nat Commun. 2015;6:7687
348	Takahashi T, Asano Y, Oka T,	皮膚科	Scleroderma en coup de sabre with recurrent episodes of brain hemorrhage	J Dermatol. 2016;43(2):203-6
349	Ishida M, Gono W, Okuma H,	放射線科	Common Postmortem Computed Tomography Findings Following	Korean J Radiol. 2015; 16(4): 798-
350	Hirasawa K, Murata H,	眼科・視覚矯正科	Revalidating the usefulness of a 'actor-wise regression' approach to predict	Invest Ophthalmol Vis Sci 56:4332-
351	Arita R, Mori N, Shirakawa R,	眼科・視覚矯正科	Meibum Color and Free Fatty Acid Composition in Patients With Meibomian	Invest Ophthalmol Vis Sci 56:4403-
352	Kamei J, Furuta A, Akiyama Y,	泌尿器科・男性科	Video-urodynamic effects of mirabegron, a beta3-adrenoceptor agonist, in patients	Int J Urol. 2015 Oct; 22(10):956-61
353	Otsuka M, Nagata M,	泌尿器科・男性科	Primary Retroperitoneal Tumor with Unexpected Gingival Involvement.	Intern Med. 2015;54(14):1787-
354	Ikeda Y, Kumagai H,	循環器内科	Biased Agonism of the Angiotensin II Type I Receptor.	International heart journal.
355	Fukuda T, Wada-Hiraike	女性診療科・産科、女性外科	Putative tumor suppression function of SIRT6 in endometrial cancer.	FEBS Lett. 2015 Aug
356	Shimizu Y, Itoda Y,	循環器内科	Giant left atrial myxoma that caused mitral valve obstruction and pulmonary	International journal of
357	Yoshikawa T, Wu J, Otsuka M,	消化器内科	ROCK inhibition enhances microRNA function by promoting deadenylation of	Nucleic Acids Res. 2015 Sep
358	Shinagawa T, Hata K,	大腸肛門外科	Hepatic Portal Venous Gas After Colonoscopy for Ulcerative Colitis: A Case	Journal of Crohn's and Colitis. 2015;

359	Hata K, Ishihara S, Watanabe T.	大腸肛門外科	Successful Surveillance Colonoscopy for Patients with Ulcerative Colitis After	J Crohns Colitis. 2015; 9(10). 937-8.
360	Ito H, Aizawa N, Sugiyama R,	泌尿器科・男性科	Functional role of the transient receptor potential melastatin 8 (TRPM8) ion channel	BJU Int. 2016 Mar; 117(3):484-94
361	Tajima K, Hoshina K,	血管外科	Intimal sarcoma of the abdominal aorta and common iliac arteries presenting as	Int J Clin Exp Patho• 18
362	Mitsui C, Kajiwara K,	アレルギー・リウマチ内科	Platelet activation markers overexpressed specifically in patients with aspirin-	J Allergy Clin Immunol.2016;137(
363	Kato S, Chikuda H, Ohya J,	整形外科・脊椎外科	Phosphorylated neurofilament subunit levels in the serum of cervical compressive	J Clin Neurosci. 2015; 22(10):1638-
364	Kikuchi H, Yoshiuchi K,	心療内科	Influence of psychological factors on acute exacerbation of tension-type headache:	J Psychosom Res.2015;79:239-
365	Watanabe T.	大腸肛門外科	Current therapeutic strategies for rectal cancer.	International Journal of Clinical
366	A. Miyata, T. Ishizawa, K.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Reappraisal of a Dye-Staining Technique for Anatomic Hepatectomy by the	J Am Coll Surg; 221
367	Nishimatsu H, Suzuki E, Saito	泌尿器科・男性科	Neuromedin B Restores Erectile Function by Protecting the Cavernous Body and the	PLoS One. 2015 Jul
368	Imamura T, Kinugawa K,	心臓外科	Preoperative iodine-123 meta-iodobenzylguanidine imaging is a novel	J Artif Organs. 2016 Mar; 19(1):
369	Yoshino M, Saito T, Kin T,	脳神経外科	A Microscopic Optically Tracking Navigation System That Uses High-	Neurol Med Chir (Tokyo).
370	Ito M, Doi K, Takahashi M,	循環器内科	Plasma neutrophil gelatinase-associated lipocalin predicts major adverse	Journal of cardiology.
371	Akiyama D, Hamada T,	消化器内科	Superiority of 10-mm-wide balloon over 8-mm-wide balloon in papillary dilation for	Saudi J Gastroenterol.
372	Kishikawa T, Otsuka M, Ohno	消化器内科	Circulating RNAs as new biomarkers for detecting	World J Gastroenterol.
373	Ikutomi M, Sahara M,	循環器内科	Diverse contribution of bone marrow-derived late-outgrowth endothelial	Journal of molecular and
374	28: Hayashi N, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	Correlation between indocyanine green (ICG) patterns and real-time elastography	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
375	27: Ito T, Saito T, Ishiura R,	形成外科、美容外科	Diagnosis of trauma-induced lymphedema using indocyanine green lymphography.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
376	Takata M, Amiya E,	循環器内科	The association between orthostatic increase in pulse pressure and ischemic	Clin Exp Hypertens. 2015;1-
377	Iidaka T, Muraki S, Akune T, Oka	22世紀医療センター	Prevalence of radiographic hip osteoarthritis and its association with hip	Osteoarthritis Cartilage. 2016
378	Iwase S, Kawaguchi T,	緩和ケア診療部	Assessment of Cancer-Related Fatigue, Pain,	PLOS One 10: e0134022
379	Ishigaki K, Shoda H, Kochi	整形外科・脊椎外科	Quantitative and qualitative characterization of expanded CD4+ T cell	Sci Rep. 2015;5:12937
380	Ichimura Y, Asano Y,	皮膚科	Progranulin overproduction due to Fli1 deficiency contributes to the resistance of	Arthritis Rheumatol. 2015
381	Nozawa H, Ishihara S,	人体病理・病理診断学	Metachronous tubulovillous and tubular adenomas of the anal canal.	Diagn Pathol. 2015;10:139.
382	Nozawa H, Nishikawa T,	大腸肛門外科	Large colorectal carcinoma is predictive of recurrence after adjuvant chemotherapy	Anticancer Res. 2015; 35(9): 5073-
383	Kato NP, Okada I,	循環器内科	Quality of Life and Influential Factors in Patients Implanted With a Left Ventricular	Circulation journal : official journal of
384	Watanabe K, Amano Y,	人体病理・病理診断学	Histonemethylation-mediated silencing of miR-139 enhances invasion of non-small-	Cancer Med. 2015;4(10):1573-
385	Yamada A, Niikura R,	消化器内科	Endoscopic management of colonic diverticular bleeding.	Dig Endosc. 2015 Nov;27(7):720-5.
386	22: Koshima I, Narushima M,	形成外科、美容外科	Lymphadiposal Flaps and Lymphaticovenular Anastomoses for	J Reconstr Microsurg. 2016
387	Kubo K, Yamamoto K	アレルギー・リウマチ内科	IgG4-related disease	Int J Rheum Dis. 2015 Aug 10. doi:
388	Makise N, Morikawa T,	泌尿器科・男性科	Squamous differentiation and prognosis in upper urinary tract urothelial carcinoma.	Int J Clin Exp Pathol. 2015 Jun
389	M. Ri, H. Miyata, S.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Effects of body mass index (BMI) on surgical outcomes: a nationwide survey	Surg Today; 45
390	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Improved clinical course of autologous skeletal myoblast sheet (TCD-51073)	Journal of artificial organs : the official
391	Yamashita H, Takenaka R,	放射線科	Involved-field radiotherapy (IFRT) versus elective nodal irradiation (ENI) in	Radiat Oncol.

392	Kawashima M, Murakawa T,	呼吸器外科	Significance of the Glasgow Prognostic Score as a prognostic indicator for lung	Interactive Cardiovascular and
393	Y. Kawaguchi, N. Akamatsu, T.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Evaluation of hepatic perfusion in the liver graft using fluorescence imaging with	Int J Surg Case Rep; 14
394	Igarashi K, Matsumoto Y,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Acupressure Bead in the Eustachian Tube.	J Acupunct Meridian Stud.
395	Sumitani M, Misaki M,	緩和ケア診療部	Internally-represented space and its mirror-reversed image of the visuospatial	Medical Hypotheses 2015;
396	Takata M, Amiya E,	循環器内科	The association between orthostatic increase in pulse pressure and ischemic	Clin Exp Hypertens.
397	Honda A, Yoshimi A,	リハビリテーション科・部	Successful control of carcinoma of unknown primary with axitinib, a novel	Chemotherapy 2015; 60(5-6):
398	Miyai M, Eikawa S, Hosoi	呼吸器外科	Detection and Tracking of NY-ESO-1-Specific CD8+ T Cells by High-	PLoS One 10(8) e0136086 2015
399	Harada M, Nose E, Takahashi N,	女性診療科・産科、女性外科	Evidence of the activation of unfolded protein response in granulosa and cumulus	Gynecol Endocrinol.
400	Seri Y, Shoda H, Suzuki A,	アレルギー・リウマチ内科	Peptidylarginine deiminase type 4 deficiency reduced arthritis severity in a	Sci Rep. 2015 Aug 21;5:13041.
401	Saito M, Hatakeyama S,	感染症内科	A pathologically proven case of adult-onset HIV-related lymphocytic interstitial	J Infect Chemother. 2015
402	Ikemura M, Kunita A, Miwa	人体病理・病理診断学	Gut wall replacing type of gastrointestinal stromal tumor presenting as a perforation	Pathol Res Prac. 2015;211(11):892-
403	20: Ito T, Nakagawa R,	形成外科、美容外科	Nerve reconstruction after sural nerve biopsy with supermicrosurgical fascicular	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2016
404	Kishikawa T, Otsuka M, Ohno	消化器内科	Development of a screening method to identify regulators of	Biochem Biophys Res
405	Nakagawa H	消化器内科	Recent advances in mouse models of obesity- and nonalcoholic steatohepatitis-	World J Hepatol. 2015 Aug
406	Fujita D, Takeda N,	循環器内科	A novel mutation of TGFBR2 causing Loey's-Dietz syndrome complicated with	International journal of
407	46: Fujisawa K, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	Inguinal seroma prevention by reverse mapping using indocyanine green	Microsurgery. 2015 Aug 25. doi:
408	Yoshimura N, Muraki S, Oka	整形外科・脊椎外科	Association between new indices in the locomotive syndrome risk test and decline	J Orthop Sci. 2015;20(5):896-
409	Ogura K, Uehara K, Akiyama T,	リハビリテーション科・部	Cross-cultural adaptation and validation of the Japanese version of the Toronto	J Orthop Sci 2015; 20(6): 1098-1105
410	Teranishi Y, Shin M, Yoshino M,	脳神経外科	Solitary Langerhans cell histiocytosis of the occipital condyle: a case report and	Childs Nerv Syst. 2016;32(2):399-
411	Ando S, Shibahara J,	人体病理・病理診断学	beta-catenin alteration is rare in hepatocellular carcinoma with	Virchows Arch. 2015;467(5):535-
412	Matsuura M, Hirasawa K,	眼科・視覚矯正科	The relationship between visual acuity and the reproducibility of visual field	Invest Ophthalmol Vis Sci 56:5630-
413	Mayama C, Saito H, Hirasawa H,	眼科・視覚矯正科	Diagnosis of Early-Stage Glaucoma by Grid-Wise Macular Inner Retinal Layer	Invest Ophthalmol Vis Sci 56:5681-
414	Oichi T, Chikuda H,	放射線科	Concurrent spinal schwannoma and meningioma mimicking a single cervical	J Neurosurg Spine.
415	Saito-Kanatani M, Urano T,	老年病科	Identification of TRIM22 as a progesterone-responsive gene in Ishikawa	J Steroid Biochem Mol Biol.
416	Yamada Y, Eto M, Ito Y,	老年病科	Suppressive Role of PPARgamma-Regulated Endothelial Nitric Oxide	PLoS One 2015;10:e0136597
417	Inai A, Tochigi M, Kuwabara H,	こころの発達診療部	Analysis of SLITRK1 in Japanese patients with Tourette syndrome using a next-	Psychiatr Genet. 25(6):256-258
418	Hana T, Tanaka S, Shin M,	脳神経外科	Neuroendoscopic Ventriculocisternostomy with Stent Placement for Trapped	World Neurosurg. 2015;84(6):2078.e2
419	Saito A, Nagase T	呼吸器内科	Hippo and TGF-beta interplay in the lung field.	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol.
420	Nakayama A, Morita H, Nakao	循環器内科	A Food-Derived Flavonoid Luteolin Protects against Angiotensin II-Induced	PloS one. 2015;10(9):e013710
421	Takashi Y, Kinoshita Y,	腎臓・内分泌内科	Rapid Recovery of Hypothalamic-Pituitary Axis after Successful Resection of an	Intern Med 2015; 54: 2201-5
422	44: Yoshimatsu H, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	Indocyanine green angiography for prediction of thrombosis in the internal	Microsurgery. 2015
423	Fujii M, Matano M, Nanki K, Sato	大腸肛門外科	Efficient genetic engineering of human intestinal organoids using electroporation.	Nature Protocols. 2015; 10(10):
424	Watanabe T, Kuroda M,	こころの発達診療部	Clinical and neural effects of six-week administration of oxytocin on core	Brain. 138(Pt 11):3400-

425	Takiyama H, Kazama S,	大腸肛門外科	Efficacy of magnetic resonance imaging in the diagnosis of perianal hidradenitis	Int J Surg Case Rep. 2015; 15:
426	Kano Y, Matsuda N, Nonaka M,	こころの発達診療部	Sensory Phenomena in Relation to Tics, Obsessive-compulsive Symptoms, and	Comprehensive Psychiatry. 62:141-
427	Y. Kawaguchi, M. Nagai, Y.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Usefulness of indocyanine green-fluorescence imaging during laparoscopic	J Surg Oncol; 112
428	Sakamoto T, Kikuta S,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Differences in Postoperative Hearing Outcomes and Vertigo in Patients with	ORL. 2015; 77(5):287-293
429	Shin M, Kondo K, Saito N	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Current Status of Endoscopic Endonasal Surgery for Skull Base Meningiomas:	Neurol Med Chir (Tokyo). 2015;
430	Kamiya K, Amemiya S,	脳神経外科	Machine Learning of DTI Structural Brain Connectomes for Lateralization of	Magn Reson Med Sci.
431	Imamura T, Kinugawa K.	循環器内科	Shoshin Beriberi With Low Cardiac Output and Hemodynamic Deterioration Treated	International heart journal.
432	K. Omichi, J. Shindoh, S.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Postoperative Outcomes for Patients with Non-B Non-C Hepatocellular Carcinoma:	Ann Surg Oncol; 22 Suppl 3
433	Shibata J, Kawai K, Nishikawa T,	大腸肛門外科	Prognostic Impact of Histologic Type in Curatively Resected Stage IV Colorectal	Annals of Surgical Oncology. 2015; 22
434	Koga K, Takamura M,	女性診療科・産科、女性外科	Prevention of the recurrence of symptom and lesions after conservative surgery for	Fertil Steril. 2015 Oct;104(4):793-
435	Maekawa S, Nagata M,	泌尿器科・男性科	Resection of bulky chromophobe renal cell carcinoma resolved severe idiopathic	Int J Urol. 2015 Dec;22(12):1167-9
436	Watanabe Y, Yamaji Y,	消化器内科	Association between colorectal polyps and hypertension treatment.	J Dig Dis. 2015 Nov;16(11):649-55.
437	73: Kinoshita K, Ishimine H,	形成外科、美容外科	Cell and Tissue Damage after Skin Exposure to Ionizing Radiation: Short- and	Cells Tissues Organs.2014;200(3)
438	Matsuda N, Kono T, Nonaka	こころの発達診療部	Self-initiated Coping with Tourette's Syndrome: Effect of Tic Suppression on	Brain Dev. 38(2):233-241
439	Y. Kawaguchi, N. Tanaka, M.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Usefulness of Intraoperative Real-Time Tissue Elastography During Laparoscopic	J Am Coll Surg; 221
440	K. Mori, T. Ishizawa, S.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Intraoperative visualization of pancreatic juice leaking from the pancreatic stump in	Gastroenterology; 149
441	24: Fuse Y, Yamamoto T.	形成外科、美容外科	Diamond-shaped anastomosis for supermicrosurgical side-to-side	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015
442	Niikura R, Nagata N,	消化器内科	Adverse Events during Bowel Preparation and Colonoscopy in Patients with Acute	PLoS One. 2015 Sep
443	Ikeda M, Yagihara Y,	感染制御部	Clinical characteristics and antimicrobial susceptibility of Bacillus cereus blood	Ann Clin Microbiol Antimicrob 2015;
444	Kimura M, Nawata K,	循環器内科	Successful Treatment of Intractable Fluid Retention Using Tolvaptan After	International heart journal.
445	Nitta D, Kinugawa K,	循環器内科	An Experience of Landiolol Use for an Advanced Heart Failure Patient With	International heart journal.
446	Nemoto M, Koyama H,	血管外科	Adequate selection of a therapeutic site enables efficient development of collateral	J Am Heart Assoc • 4(9)
447	Matsumiya R, Hosono O,	人体病理・病理診断学	Elevated Serum IgG4 Complicated by Pericardial Involvement with a Patchy	Internal medicine 2015 ; 54(18) :
448	19: Fuse Y, Yamamoto T.	形成外科、美容外科	Half notching method for supermicrosurgical lambda-shaped	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2016
449	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Complete left bundle branch block and smaller left atrium are predictors of	Circulation journal : official journal of
450	Fujimoto C, Kinoshita M,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Characteristics of vertigo and the affected vestibular nerve systems in idiopathic	Acta Otolaryngol. 2016;136(1):43-7
451	Takamura M, Koga K, Izumi	女性診療科・産科、女性外科	Simultaneous Detection and Evaluation of Four Subsets of CD4+ T Lymphocyte in	Am J Reprod Immunol. 2015
452	Nozawa H, Nishikawa T,	大腸肛門外科	'Deepness of Response' is associated with overall survival in standard systemic	Chemotherapy. 2015; 60(5-6):
453	J. Togashi, N. Akamatsu, T.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Living donor liver transplantation for hemophilia with special reference to the	Liver Transpl; 22
454	Nanao M, Kojima T, Yamaguchi Y,	老年病科	An elderly man with rapidly progressive depression and activities of daily living	Geriatr Gerontol Int.
455	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	High pulmonary vascular resistance in addition to low right ventricular stroke	Journal of artificial organs : the official
456	Ono S, Sakaguchi Y,	消化器内科	Foam plompage: a novel technique for optimal fixation of polyglycolic acid sheets	Endoscopy. 2015;47 Suppl 1
457	N. Kokudo and Y. Kawaguchi	肝胆膵・人工臓器移植外科	Foreword	Dig Dis; 33

458	Y. Kawaguchi, K. Hasegawa, N.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Advances in Assessment and Planning for Surgical Treatment of Hepatocellular	Dig Dis; 33
459	Saigusa R, Asano Y, Yamashita T,	皮膚科	Fli1 deficiency contributes to the downregulation of endothelial protein C	Br J Dermatol. 2016
460	Kamogashira T, Akamatsu Y,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Development of auditory skills after cochlear implantation in children with inner	Acta Otolaryngol. 2016;136(1):78-82
461	Takayama K, Misawa A,	老年病科	TET2 repression by androgen hormone regulates global hydroxymethylation status	Nat Commun. 2015;29(6):8219
462	Hirano K, Hosoi A, Matsushita H,	胃・食道外科	The nitric oxide radical scavenger carboxy-PTIO reduces the	Oncoimmunology. 2015;4(8):e1019195
463	Mugita Y, Minematsu T,	アドバンストナーシングテクノロジー	Histopathology of Incontinence-Associated Skin Lesions: Inner Tissue Damage Due to	PLoS One.2015; 10(9):e0138117.
464	Ota H, Ogawa S, Ouchi Y,	老年病科	Protective effects of NMDA receptor antagonist, memantine, against senescence	Exp Gerontol 2015;72:109-116
465	Otsuka M, Taguchi S,	人体病理・病理診断学	Lower ureteral lesion is an independent predictor of intravesical recurrence after	Urol Oncol 2016; 34(2):59.e9-
466	Y. Kawaguchi, V. Velayutham,	肝胆膵・人工臓器移植外科	Usefulness of Indocyanine Green-Fluorescence Imaging for Visualization of	J Am Coll Surg; 221
467	Hoshi K.	顎口腔外科・歯科矯正歯科	Bone cell biology assessed by microscopic approach. Regenerative medicine of	Clin Calcium. 2015 Oct; 25(10):1499-
468	Sato T, Suenaga H, Igarashi M,	顎口腔外科・歯科矯正歯科	Rare case of external dental fistula of the submental region misdiagnosed as inverted	Int J Surg Case Rep. 2015
469	Akamatsu N, Sugawara Y,	臓器移植医療部	Asunaprevir (BMS-650032) for the treatment of hepatitis C virus	Expert Rev Anti Infect Ther.
470	Miyahara T, Suhara M,	血管外科	Long-Term Results of Treatment for Critical Limb Ischemia.	Ann Vasc Dis • .8(3)
471	Kawase-Koga Y, Mori Y, Fujii Y,	顎口腔外科・歯科矯正歯科	Complications after intraoral vertical ramus osteotomy: relationship to the shape	Int J Oral Maxillofac Surg.
472	21: Narushima M, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	Indocyanine Green Lymphography Findings in Limb Lymphedema.	J Reconstr Microsurg. 2016
473	Hashimoto H, Hatakeyama S,	感染症内科	Development of cryptococcal immune reconstitution inflammatory syndrome 41	AIDS Res Ther. 2015 Sep 30;12:33.
474	Y. Sakamoto, N. Kokudo, Y.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Proposal of a new staging system for intrahepatic cholangiocarcinoma: Analysis	Cancer; 122
475	Ishii S, Ogawa S, Akishita M	老年病科	The State of Health in Older Adults in Japan: Trends in Disability, Chronic	PLoS One 2015;10(10):e01396
476	Ishiyama Y, Murata H,	眼科・視覚矯正科	The usefulness of gaze tracking as an index of visual field reliability in glaucoma	Invest Ophthalmol Vis Sci 56:6233-
477	Ohya J, Chikuda H, Oichi T,	整形外科・脊椎外科	Perioperative stroke in patients undergoing elective spinal surgery: a retrospective	BMC Musculoskelet
478	Okuhara T., Ishikawa H.,	大学病院医療情報ネットワーク研究センター	Readability, suitability, and health content assessment of cancer screening	Asian Pacific Journal of Cancer
479	Tsuda Y, Yasunaga H,	整形外科・脊椎外科	Complications and Postoperative Mortality Rate After Surgery for Pathological Femur	Ann Surg Oncol. 2016;23(3):801-10
480	72: Feng J, Doi K, Kuno S,	形成外科、美容外科	Micronized cellular adipose matrix as a therapeutic injectable for diabetic ulcer.	Regen Med. 2015;10(6):699-
481	Hashimoto T, Yoshiuchi K,	心療内科	Physical activity of elderly patients with rheumatoid arthritis and healthy	Biopsychosoc Med.2015;9:19
482	Kurano M., Hara M., Nojiri T.,	消化器内科	Resveratrol exerts a biphasic effect on apolipoprotein M.	Br J Pharmacol. 2016 173:222-233.
483	Tamiya H, Yasunaga H,	老年病科	Comparison of short-term mortality and morbidity between parenteral and enteral	Am J Clin Nutr. 2015;102:1222-
484	Akiyama-Fukuda R, Usui T,	眼科・視覚矯正科	Diagnosis of dry eye by tear meniscus measurements using anterioro segment	Cornea 11:S115-20
485	Suenaga H, Furukawa KS,	顎口腔外科・歯科矯正歯科	Bone regeneration in calvarial defects in a rat model by implantation of human bone	J Mater Sci Mater Med. 2015
486	Shichino S, Abe J, Ueha S, Otsuji	人体病理・病理診断学	Reduced supply of monocyte-derived macrophages leads to a transition from	Am J Pathol. 2015;185(11):2923
487	Okamura T, Morita K,	アレルギー・リウマチ内科	Role of TGF-beta3 in the regulation of immune responses.	Clin Exp Rheumatol. 2015
488	Yamamoto K, Okada Y, Suzuki	アレルギー・リウマチ内科	Genetic studies of rheumatoid arthritis.	Proc Jpn Acad Ser B Phys Biol Sci.
489	Kobayashi R, Yamashita H,	放射線科	Details of recurrence sites after definitive radiation therapy for cervical cancer.	J Gynecol Oncol. 2016; 27(2): e16
490	Kataoka Y, Tsuji Y, Sakaguchi Y,	消化器内科	Preventing esophageal stricture after endoscopic submucosal dissection: steroid	Endoscopy. 2015;47 Suppl 1

491	Muraki S, Akune T, Teraguchi M,	22世紀医療センター	Quadriceps muscle strength, radiographic knee osteoarthritis and knee pain: the	BMC Musculoskelet
492	Homma Y, Nakagawa T	泌尿器科・男性科	Optimal Dose and Duration of bacillus Calmette-Guerin Therapy for Urothelial	J Urol. 2016 Jan;195(1):9-10
493	Nozawa H, Ishihara S,	消化器内科	Outcome of salvage surgery for colorectal cancer initially treated by upfront	Surgery. 2016 Mar;159(3):713-20.
494	M. Oba, K. Hasegawa, J.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Survival benefit of repeat resection of successive recurrences after the initial	Surgery; 159
495	18: Fuse Y, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	Near-infrared fluorescent swallow test for detection of the alimentary tract	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2016
496	Shirasu T, Hoshina K,	血管外科	Favorable outcomes of very elderly patients with critical limb ischemia who	J Vasc Surg • 63(2)
497	Asaoka R, Nakakura S,	眼科・視覚矯正科	The relationship between Corvis ST tonometry measured corneal parameters	PLoS One 20;10(10):e0140385
498	Inokuchi H, Gonzalez-	リハビリテーション科・部	Electromyography of swallowing with fine wire intramuscular electrodes in healthy	Dysphagia 2016;31(1):33-40
499	Tsuda Y, Yasunaga H,	整形外科・脊椎外科	Association between dementia and postoperative complications after hip	Arch Orthop Trauma Surg.
500	Matsukura M, Ozaki K,	血管外科	Genome-Wide Association Study of Peripheral Arterial Disease in a Japanese	PLoS One • 10(10)
501	Fujimoto A, Morishima K,	女性診療科・産科、女性外科	Elective single-embryo transfer improves cumulative pregnancy outcome in young	J Assist Reprod Genet. 2015
502	25: Mineda K, Feng J, Ishimine	形成外科、美容外科	Therapeutic Potential of Human Adipose-Derived Stem/Stromal Cell Microspheroids	Stem Cells Transl Med. 2015
503	Ohtomo K, Mayama C, Ueta	眼科・視覚矯正科	Outcomes of Late-Onset Bleb-Related Endophthalmitis Treated with Pars Plana	J Ophthalmol. 923857,
504	Sakitani K, Hirata Y, Hikiba	消化器内科	Inhibition of autophagy exerts anti-colon cancer effects via	BMC Cancer. 2015 Oct
505	Kato S, Chikuda H, Ohya J, Oichi	整形外科・脊椎外科	Risk of infectious complications associated with blood transfusion in elective spinal	Spine J. 2016;16(1):55-60
506	J. Shindoh, M. Makuuchi, Y.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Complete removal of the tumor-bearing portal territory decreases local tumor	J Hepatol; 64
507	Matsuzaki H, Mikami Y,	呼吸器内科	Interleukin-17A and Toll-like Receptor 3 Ligand Poly(I:C) Synergistically Induced	PLoS One 10(10)
508	30: Seki Y, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	The Superior-Edge-of-the-Knee Incision Method in Lymphaticovenular Anastomosis	Plast Reconstr Surg. 2015
509	Taguchi S, Fukuhara H,	泌尿器科・男性科	Radical Prostatectomy versus External Beam Radiotherapy for cT1-4N0M0	PLoS One. 2015 Oct
510	Tan X, Fujii K, Manabe I,	循環器内科	Choroidal neovascularization is inhibited via an intraocular decrease of inflammatory	Scientific reports. 2015;5:15702.
511	Nishimura Y, Takahashi K,	精神科	Social function and frontopolar activation during a cognitive task in patients with	Neuropsychobiology 72: 81-90, 2015
512	12: Iida T, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	Supermicrosurgical free sensate superficial circumflex iliac artery perforator flap for	Microsurgery. 2016 Mar;36(3):254-258.
513	Hasumi E, Fujii K, Imamura	循環器内科	Cardiac Arrest Triggered by Subepicardial Aneurysm Without Cardiac Rupture.	Circulation journal : official journal of
514	Matsukura M, Hoshina K,	血管外科	Paramalleolar Bollinger score in the era of diabetes and end-stage renal disease: its	Circ J • 80(1)
515	32: Yoshimatsu H, Yamamoto T,	形成外科、美容外科	Reconstruction of the ankle complex wound with a fabricated superficial	Microsurgery. 2015 Oct 29. doi:
516	39: Yamamoto T, Yoshimatsu H,	形成外科、美容外科	Multisite Lymphaticovenular Anastomosis Using Vein Graft for Uterine Cancer-	Vasc Endovascular Surg. 2015
517	Ueha R, Nito T, Sakamoto T,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Postoperative swallowing in multiple system atrophy.	European Journal of Neurology.
518	Ichimura Y, Sugaya M,	皮膚科	Two cases of CD8-positive hypopigmented mycosis fungoides without TOX expression	Int J Dermatol. 2016
519	Suenaga H, Tran HH, Liao H,	顎口腔外科・歯科矯正歯科	Vision-based Markerless Registration Using Stereo Vision and an Augmented	BMC Med Imaging. 2015 Nov
520	Fujimura T, Takahashi S,	泌尿器科・男性科	Toremifene, a selective estrogen receptor modulator, significantly improved	BMC Cancer. 2015 Nov 2;15:836
521	Sato M, Kawana K, Fujimoto A,	女性診療科・産科、女性外科	Clinical significance of Gremlin 1 in cervical cancer and its effects on cancer	Oncol Rep. 2016 Jan;35(1):391-7.
522	Katagiri D, Hamasaki Y, Doi	腎臓・内分泌内科	Interstitial renal fibrosis due to multiple cisplatin treatments is ameliorated by	Kidney Int. 2016 Feb;89(2):374-85.
523	Nitta D, Kinugawa K,	循環器内科	How Should We Treat Early Post-Transplant Lymphoproliferative Disease	International heart journal.

524	Yamaguchi T, Amiya E,	循環器内科	Improvement of Severe Heart Failure after Endovascular Stent Grafting for Thoracic	International heart journal.
525	Ikeda Y, Kumagai H,	循環器内科	Next Generation ARBs. Going Beyond Modulation of the Renin-Angiotensin	International heart journal.
526	Imamura T, Kinugawa K.	循環器内科	Mid-Term Administration of Tolvaptan Improves Renal Function Accompanied by	International heart journal.
527	Tanaka R, Murata H,	眼科・視覚矯正科	Behçet's disease ocular attack score 24 and visual outcome in patients with Behç	Br J Ophthalmol. pii: bjophthalmol
528	Ikeda Y, Oda K, Ishihara H,	人体病理・病理診断学	Prognostic importance of CDK4/6-specific activity as a predictive marker for	Br J Cancer. 2015;113(10):1477
529	Z. Sun, W. Tang, Y. Sakamoto, K.	肝胆膵・人工臓器移植外科	A systematic review and meta-analysis of feasibility, safety and efficacy of associating	Biosci Trends; 9
530	Oki S, Nagamatsu T,	女性診療科・産科、女性外科	A case of pregnancy complicated with dilated cardiomyopathy 1X.	Oxf Med Case Reports. 2015 Nov
531	Okada-Iwabu M, Iwabu M, Ueki	糖尿病・代謝内科	Perspective of Small-Molecule AdipoR Agonist for Type 2 Diabetes and Short Life	Diabetes Metab J. 2015;39(5):363-72
532	Yamagata K, Uno K, Mori K,	胃・食道外科	Unusual U wave induced by reconstructed retrosternal esophagus	Clin Case Rep. 2015;3(11):949-51
533	Amemiya A, Noguchi H, Oe	糖尿病・代謝内科	Comparison of Gait Features Between Feet With Callus or Corns and Normal Feet	J Diabetes Sci Technol.
534	Watanabe K, Kyomoto M,	整形外科・脊椎外科	Effects of Surface Modification and Bulk Geometry on the Biotribological Behavior	Biomed Res Int. 2015:435432
535	Oshima Y, Miyoshi K,	整形外科・脊椎外科	Long-Term Outcomes of Cervical Laminoplasty in the Elderly.	Biomed Res Int. 2015:713952
536	Akiyoshi T, Ota H, Iijima K, Son	老年病科	A novel organ culture model of aorta for vascular calcification.	Atherosclerosis 2016;244:51-8
537	Maeda E, Tomizawa N,	22世紀医療センター	Optimized heart rate for 320-row cardiac CT can be feasibly predicted from prescan	Springerplus 4:697-015-1478-5.
538	Maeda D, Akiyama Y,	人体病理・病理診断学	Hunner-Type (Classic) Interstitial Cystitis: A Distinct Inflammatory Disorder	PLoS One. 2015;10(11):e01433
539	Matsubara TJ, Fujii K, Asada	循環器内科	Direct left atrial ICE imaging guided ablation for atrial fibrillation without	International journal of
540	Baba S, Kagoya R, Kondo K,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	T-cell phenotypes in chronic rhinosinusitis with nasal polyps in Japanese patients.	Allergy, Asthma & Clinical
541	Ishii H, Kawai K, Hata K, Shuno	大腸肛門外科	Comparison of Functional Outcomes of Patients Who Underwent Hand-Sewn or	Int Surg. 2015;100(7-
542	Saigusa R, Asano Y, Taniguchi T,	皮膚科	Multi-facet contribution of the TLR4-activated IRF5 transcription factor in	Proc Natl Acad Sci U S A. 2015 Dec
543	Matsubayashi Y, Takeshita K,	緩和ケア診療部	Psychometric validation of the Japanese version of the Neuropathic Pain Symptom	Plos One 2015; 10: e0143350
544	Yamaguchi H, Kitayama J,	大腸肛門外科	Breakthrough therapy for peritoneal carcinomatosis of gastric cancer:	World Journal of Gastrointestinal
545	Ishii K, Tabuchi F, Matsuo M,	感染制御部	Phenotypic and genomic comparisons of highly vancomycin-resistant	Sci Rep 2015; 5
546	Takei Y, Kikkawa YS,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Defects in Synaptic Plasticity, Reduced NMDA-Receptor Transport, and Instability	J Neurosci. 2015;35(47):15539
547	Niimi K, Aikou S, Kodashima S,	胃・食道外科	Video of the Month: A Novel Endoscopic Full-Thickness Resection for Early Gastric	Am J Gastroenterol.
548	Shirota G, Gonoi W, Ishida M,	放射線科	Brain Swelling and Loss of Gray and White Matter Differentiation in Human	PLoS One. 2015;
549	H. Nozawa, J. Tanaka, T.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Predictors and outcome of complete removal of colorectal cancer with	Mol Clin Oncol; 3
550	Okumura Y, Aikou S,	人体病理・病理診断学	Evaluation of 18F-FDG uptake for detecting lymph node metastasis of gastric	World J Surg Oncol.
551	S. Abe, N. Akamatsu, M.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Ectopic Jejunal Variceal Rupture in a Liver Transplant Recipient Successfully Treated	Medicine (Baltimore); 94
552	Nakayama A, Morita H,	循環器内科	Inverse Correlation Between Calcium Accumulation and the Expansion Rate of	Circulation journal : official journal of
553	Hirakawa Y, Yoshihara T,	腎臓・内分泌内科	Quantitating intracellular oxygen tension in vivo by phosphorescence lifetime	Sci Rep. 2015 Dec 8;5:17838.
554	11: Tashiro K, Yamashita S,	形成外科、美容外科	Proximal and distal patterns: Different spreading patterns of indocyanine green	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2016
555	Serizawa T, Hirata Y,	消化器内科	Gastric Metaplasia Induced by Helicobacter pylori Is Associated with	Infect Immun. 2015 Dec 7;84(2):562-72
556	Makino K, Kume H, Morikawa T,	人体病理・病理診断学	Adenocarcinoma at Anastomotic Site of Ureterosigmoidostomy Potentially of	Case Rep Urol. 2015;2015:564082.

557	Ishiyama Y, Murata H,	眼科・視覚矯正科	Estimating the usefulness of Humphrey Perimetry gaze tracking for evaluating	Invest Ophthalmol Vis Sci 56:7801-
558	Oichi T, Oshima Y, Takeshita K,	整形外科・脊椎外科	Evaluation of Comorbidity Indices for a Study of Patient Outcomes Following	Spine (Phila Pa 1976). 2015;
559	Takayama K, Misawa A,	泌尿器科・男性科	Corrigendum: TET2 repression by androgen hormone regulates global	Nat Commun. 2015 Dec 14;6:10265
560	Miura M, Yamasaki M,	循環器内科	Effect of Statin Treatment and Low-Density Lipoprotein-Cholesterol on Short-	Circulation journal : official journal of
561	H. Maki, J. Kaneko, N.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Interleukin-2 receptor antagonist immunosuppression and consecutive viral	Clin J Gastroenterol; 9
562	Anzai H, Hata K, Kishikawa J,	大腸肛門外科	Clinical patterns and progression of ulcerative proctitis in the Japanese	Colorectal Disease.2016;18(3):
563	Taguchi S, Kishida Y,	泌尿器科・男性科	Intrapelvic Bulky Tumor as an Unusual Presentation of Erdheim-Chester Disease.	Intern Med. 2015;54(24):3241-
564	Koizumi S, Shojima M, Iijima	脳神経外科	Stent-assisted Coiling for Ruptured Basilar Artery Dissecting Aneurysms: An Initial	Neurol Med Chir (Tokyo). 2015.
565	Miyama Y, Morikawa T,	人体病理・病理診断学	Lipid Cell and Micropapillary Variants of Urothelial Carcinoma of the Ureter	Case Rep Oncol. 2015;8(3):515-519.
566	Kurano, M., Dohi, T., Nojiri,	病院検査部	Blood levels of serotonin are specifically correlated with plasma	BBA Clinical. 4: 92-98, 2015.
567	Sato M, Kawana K, Adachi K,	女性診療科・産科、女性外科	Decreased expression of the plasminogen activator inhibitor type 1 is involved in	Int J Oncol. 2016 Feb;48(2):829-35.
568	Ishikawa R, Amano Y,	人体病理・病理診断学	The chimeric transcript RUNX1-GLRX5: a biomarker for good postoperative prognosis	Jpn J Clin Oncol. 2016;46(2):185-9.
569	Tada Y, Suzuki J.	22世紀医療センター	Oxidative stress and myocarditis.	Curr Pharm Des. 2016;22(4):450-71.
570	Obata A, Kubota N, Kubota T,	糖尿病・代謝内科	Tofogliflozin Improves Insulin Resistance in Skeletal Muscle and Accelerates Lipolysis	Endocrinology. 2016;157(3):1029-
571	Horie M, Tamiya, H, Goto	呼吸器内科	Nonspecific elevation of serum Aspergillus galactomannan antigen levels in patients	Respiratory Investigation 54(1)
572	Egami N, Kakigi A, Takeda T,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Dehydration effects of V2 antagonist on endolymphatic hydrops in guinea pigs.	Hearing Research. 2015; 332:151-159
573	Nomura Y, Kaneko M,	病院検査部	Bevacizumab and Afibercept Activate Platelets via FcγRIIIa.	Invest. Ophthalmol. Vis. Sci. 56: 8075-
574	Shinya Y, Miyawaki S,	人体病理・病理診断学	Recurrent cerebral aneurysm formation and rupture within a short period due to	Int J Clin Exp Pathol.
575	Higo T, Kobayashi T,	血液・腫瘍内科	Cerebral embolism through hematogenous dissemination of pulmonary mucormycosis	Int J Clin Exp Pathol.8(10):13639
576	Hanakita S, Shin M, Koga T, Igaki	脳神経外科	Outcomes of Volume-Staged Radiosurgery for Cerebral Arteriovenous Malformations	World Neurosurg. 2016;87:242-249.
577	Hagiwara A, Akai H, Kosaka	放射線科	A Dorsal Pancreatic Artery Originating from the Right Inferior Phrenic Artery.	J Vasc Interv Radiol. 2016; 27(1):
578	T. Tanaka, N. Akamatsu, Y.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Treatment with ribavirin for chronic hepatitis E following living donor liver	Hepatol Res;
579	Wakabayashi Y, Okugawa S,	感染症内科	Scedosporium prolificans Endocarditis: Case Report and Literature Review.	Intern Med. 2016;55(1):79-82.
580	10: Tashiro K, Yamashita S,	形成外科、美容外科	Preoperative color Doppler ultrasonographic examination in the	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2016
581	Goto M, Takedani H,	リハビリテーション科・部	Joint function and arthropathy severity in patients with hemophilia	J Jpn Phys Ther Assoc 2015; 18:
582	D. Ito, T. Tanaka, N.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Recurrent Acute Liver Failure Because of Acute Hepatitis Induced by Organic	Medicine (Baltimore); 95
583	Niwa R, Hasumi E, Fujii K,	循環器内科	A Case of Multiple Coronary Artery-Left Ventricular Micro Fistulae Complicated	International heart journal.
584	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Tolvaptan Prolongs Blockage of the Vasopressin Type II Receptor Over 24	International heart journal.
585	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Long-Term Adaptive Servo-Ventilator Treatment Prevents Cardiac Death and	International heart journal.
586	Karasaki T, Nagayama K,	呼吸器外科	Identification of Individual Cancer-Specific Somatic Mutations for Neoantigen-Based	J Thorac Oncol 11(3)
587	P. P. Song, J. F. Xia, Y. Inagaki,	肝胆膵・人工臓器移植外科	Controversies regarding and perspectives on clinical utility of biomarkers in	World J Gastroenterol; 22
588	Urabe M, Yamashita H,	胃・食道外科	Pre-treatment Neutrophil to Lymphocyte Ratio Independently Predicts Disease-	Ann Surg. 2016
589	Akamatsu N, Sugawara Y,	臓器移植医療部	Low Platelet Counts and Prolonged Prothrombin Time Early After Operation	Ann Surg. 2016 Jan 7. [Epub ahead of

590	Hirakawa Y, Hanafusa N,	腎臓・内分泌内科	Correction of Metabolic Alkalosis and Elevated Calcium Levels by Sodium	Ther Apher Dial. 2016 Feb;20(1):86-
591	Mayumi K, Yamashita T,	血液浄化療法部	IMPACT OF CONTINUOUS RENAL REPLACEMENT THERAPY INTENSITY	Shock. 2016 Feb;45(2):133-8
592	Kawai K, Tanaka T, Watanabe T.	大腸肛門外科	A rare anomaly of left renal vein drainage into the left common iliac vein: A case	Int J Surg Case Rep. 2016;20:4-6
593	Hamada T, Yasunaga H,	消化器内科	Interstitial lung disease associated with gemcitabine: A Japanese retrospective	Respirology. 2016 Feb;21(2):338-43.
594	Itoda Y, Panthee N, Tanaka T,	心臓外科	Novel Anastomotic Device for Distal Coronary Anastomosis: Preclinical Results	Ann Thorac Surg. 2016 Feb; 101(2):
595	Hirokawa, M., Daimon, M.,	病院検査部	Early menopause does not influence left ventricular diastolic dysfunction: A clinical	J. Cardiol. doi: 10.1016/j.jicc,
596	Inagi R.	CKD病態生理学講座	The gut-kidney connection in advanced chronic kidney disease.	Kidney Res Clin Pract.
597	Yamashita H, Haga A,	放射線科	Efficacy and feasibility of ambulatory treatment-based monthly nedaplatin plus	Radiat Oncol. 2016; 11(1): 4
598	Y. Kawaguchi, T. Ishizawa, R.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Exclusion criteria for assuring safety of single-incision laparoscopic	Biosci Trends; 9
599	Murayama R, Takahashi T,	アドバンスドナーシングテクノロジー	The relationship between the tip position of an indwelling venous catheter and the	BioScience Trends. 2015; 9(6):414-
600	Yoshizaki A	皮膚科	Blymphocytes in systemic sclerosis: Abnormalities and therapeutic targets	J Dermatol. 2016;43(1):39-45
601	Okada N, Fukunaga M,	精神科	Abnormal asymmetries in subcortical brain volume in schizophrenia	Mol Psychiatry 2016 Jan 19
602	Saito Y, Ando M, Fujimoto C,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Human Papillomavirus 16 Physical Status and the TP53 Codon 72 Polymorphism in	ORL J Otorhinolaryngol
603	Yamaguchi H, Kitayama J,	大腸肛門外科	A patient with gastric cancer with peritoneal carcinomatosis treated with	J Med Case Rep. 2016;10:14.
604	Koike S, Satomura Y,	精神科	Association between rostral prefrontal cortical activity and functional outcome in	Schizophr Res 170: 304-310, 2016
605	Ueha R, Ueha S, Kondo K,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Damage to Olfactory Progenitor Cells Is Involved in Cigarette Smoke-Induced	Am.J Pathol. 2016;186(3):579-
606	Yamada Y, Nomiya A, Niimi	泌尿器科・男性科	A survey on clinical practice of interstitial cystitis in Japan.	Transl Androl Urol. 2015 Oct;
607	Ohki T, Ushiku T, Shinoda Y,	リハビリテーション科・部	Necrotic lipoma at the posterior thigh mimicking liposarcoma.	BMJ Case Rep 2016 Jan 27
608	Tajima S, Yanagiya M,	呼吸器外科	Metaplastic thymoma with myasthenia gravis presumably caused by an	Int J Clin Exp Pathol. 8(11)
609	Ohya J, Oshima Y, Chikuda H,	整形外科・脊椎外科	Does the microendoscopic technique reduce mortality and major complications	Neurosurg Focus. 2016;40(2):E5
610	Morita H, Komuro I.	循環器内科	Periostin Isoforms and Cardiac Remodeling After Myocardial Infarction: Is the Dispute	Hypertension. 2016;67(3):504-5.
611	Kato A, Fujimaki Y, Fujimori S,	糖尿病・代謝内科	Association between self-stigma and self-care behaviors in patients with type 2	BMJ Open Diabetes Res Care.
612	17: Yamamoto T, Yamamoto N,	形成外科、美容外科	Practicality of the Lower Extremity Lymphedema Index: Lymphedema Index	Ann Plast Surg. 2016
613	Hiroshi Kobayashi,	整形外科・脊椎外科	A clinicopathological analysis of soft tissue sarcoma with telangiectatic changes	Sarcoma. 2015;2015:740571
614	Ueki K, Sasako T, Kato M,	糖尿病・代謝内科	Design of and rationale for the Japan Diabetes Optimal Integrated Treatment	BMJ Open Diabetes Res Care.
615	Tojo A, Kinugasa S,	腎臓・内分泌内科	A local renal renin-angiotensin system activation via renal uptake of prorenin and	Diabetes Metab Syndr Obes. 2016
616	Yasaka K, Katsura M,	放射線科	High-resolution CT with new model-based iterative reconstruction with resolution	Eur J Radiol. 2016; 85(3): 599-606
617	Matsudaira K, Hara N, Oka H,	整形外科・脊椎外科	Predictive Factors for Subjective Improvement in Lumbar Spinal Stenosis	PLoS One. 2016;11(2):e014858
618	Kodama R, Muraki S, Oka	22世紀医療センター	Prevalence of hand osteoarthritis and its relationship to hand pain and grip strength	Mod Rheumatol. 2016 Feb 16:1-7.
619	Uranbileg B., Ikeda H., Kurano	消化器内科	Increased mRNA Levels of Sphingosine Kinases and S1P Lyase and Reduced	PLoS One. 2016 Feb
620	Suzuki S, Yasunaga H,	耳鼻咽喉科・聴覚音声外科	Factors Associated With Neck Hematoma After Thyroidectomy: A Retrospective	Medicine (Baltimore). 2016
621	Taketomi S, Inui H, Nakamura K,	整形外科・脊椎外科	Secure fixation of femoral bone plug with a suspensory button in anatomical anterior	Joints. 2016; 3(3):102-8
622	Taguchi S, Kume H, Fukuhara H,	人体病理・病理診断学	Symptoms at diagnosis as independent prognostic factors in retroperitoneal	Mol Clin Oncol. 2016;4(2):255-260.

623	31: Mashiko T, Kinoshita K,	形成外科、美容外科	Perpendicular Strut Injection of Hyaluronic Acid Filler for Deep Wrinkles.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2015
624	Fujishiro M, Iguchi M,	光学医療診療部	Guidelines for endoscopic management of non-variceal upper gastrointestinal	Dig Endosc. 2016 Feb 22. doi:
625	Ozawa T, Ishihara S,	大腸肛門外科	Clinical Characteristics and Postoperative Complications of Patients Undergoing	Hepatogastroenterology.
626	Matsudaira K, Hiroe M,	22世紀医療センター	Can standing back extension exercise improve or prevent low back pain in	J Man Manip Ther. 2015
627	Shoda H, Hanata N, Sumitomo S,	アレルギー・リウマチ内科	Immune responses to Mycobacterial heat	Sci Rep. 2016 Mar 1;6:22486.
628	Tanabe H, Takahashi T,	アドバンストナーシングテクノロジー	Using Ultrasonography for Vessel Diameter Assessment to Prevent Infiltration.	J Infus Nurs. 2016 Mar-
629	Jiang J, Nakajima Y, Sohma Y,	脳神経外科	Marker-less tracking of brain surface deformations by non-rigid registration	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2016.
630	Ishii H, Hata K, Kishikawa J,	大腸肛門外科	Incidence of neoplasias and effectiveness of postoperative surveillance endoscopy for	World J Surg Oncol. 2016;14:75.
631	Hagiwara A, Hori M, Suzuki	放射線科	Contrast-enhanced synthetic MRI for the detection of brain metastases.	Acta Radiol Open.
632	Zong L, Abe M, Ji J, Zhu WG, Yu	顎口腔外科・歯科矯正歯科	CpG Island Methylator Phenotype and Other Molecular Features and	Clin Transl Gastroenterol.
633	Toyama T, Asano Y,	皮膚科	Tamibarotene ameliorates bleomycin-induced dermal fibrosis by modulating	J Invest Dermatol. 2016
634	Hashimoto T, Yamamoto K,	血管外科	Intraluminal drug delivery to the arteriovenous fistula endothelium	Journal of Visualized
635	Imamura T, Kinugawa K,	循環器内科	Shorter Heart Failure Duration Is a Predictor of Left Ventricular Reverse	International heart journal.
636	Imamura T, Kinugawa K,	心臓外科	Everolimus Attenuates Myocardial Hypertrophy and Improves Diastolic	Int Heart J. 2016 Mar; 57(2): 204-
637	Takata A, Otsuka M, Ohno	消化器内科	Mutual antagonism between hepatitis B viral	Sci Rep. 2016 Mar 16;6:23237.
638	Matsudaira K, Oka H, Kikuchi	整形外科・脊椎外科	Psychometric Properties of the Japanese Version of the STarT Back Tool in Patients	PLoS One. 2016;11(3):e015201
639	Ogata F, Fujiu K, Matsumoto S,	循環器内科	Excess Lymphangiogenesis Cooperatively Induced by Macrophages and CD4(+) T	The Journal of investigative
640	Miyamoto H, Morizaki Y,	整形外科・脊椎外科	Grey-scale sonography and sonoelastography for diagnosing carpal	World J Radiol. 2016; 8(3):281-7
641	N. Kokudo, M. Okazoe, J.	肝胆膵・人工臓器移植外科	Six New Lanostane Triterpenoids from the Fruiting Body of Tyromyces sambuceus	Nat Prod Commun; 11
642	Nozawa H, Ishihara S,	大腸肛門外科	Laparoscopy-assisted versus open surgery for multiple colorectal cancers with two	Springerplus. 2016;5:287.
643	Takeda N, Morita H, Fujita	循環器内科	A deleterious MYH11 mutation causing familial thoracic aortic dissection.	Human genome variation.
644	Nakahara Y, Suzuki R,	リハビリテーション科・部	Phenotypic differences of patients with fibrodysplasia ossificans progressiva due to	Human Genome Variation 2015; 2;
645	Yasaka K, Katsura M,	放射線科	Model-based iterative reconstruction and adaptive statistical iterative	Acta Radiol Open. 2016; 5(1):
646	16: Yamamoto T, Yamamoto N,	形成外科、美容外科	Genital Lymphedema Score: Genital Lymphedema Severity Scoring System	Ann Plast Surg. 2016
647	Sakata R, Sakisaka T,	眼科・視覚矯正科	Time Course of Prostaglandin Analog-related Conjunctival Hyperemia and the	J Glaucoma. 2016 Mar;25(3):e204-8.
648	Shichijo S, Hirata Y,	人体病理・病理診断学	Distribution of intestinal metaplasia as a predictor of gastric cancer development.	J Gastroenterol Hepatol.
649	Komura M, Komura H, Otani	小児外科	Tracheoplasty with cartilage-engineered esophagus environments	J Pediatr Surg. 2015;50(7):1093-8.

小計:27

計:649

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	吉村典子、阿久根徹	22世紀医療センター	2015228161【老化と老年疾患-研究・臨床の最前線】フレイル/サルコペニア/ロコモ	医学のあゆみ 2015; 253(9):827-
2	山中崇	22世紀医療センター	特集 在宅医療の新しい展開 在宅医療に関する研究の現状と展望.	エイジングアンドヘルス. 2016; 24(4):
3	山口拓洋, 宮路天平.	22世紀医療センター	臨床研究の品質マネジメント.	化学療法の領域. 2015 Aug; 3(8):
4	吉村典子	22世紀医療センター	【アンチエイジングサイエンスからロコモティブシンドロームを考える】本邦における変	Anti-aging Science 2015; 7(2):88-91
5	村木重之	22世紀医療センター	【サルコペニア】サルコペニアと加齢関連疾患 サルコペニアとロコモティブシンド	The Lipid 2016; 27(1):34-40
6	吉村典子	22世紀医療センター	【フレイル・サルコペニア・ロコモを知る・診る・治す】ロコモティブシンドロームの臨床	日本老年医学会雑誌 2015;
7	吉村典子	22世紀医療センター	【フレイルと心血管疾患:転倒・骨折との関わり】フレイルとロコモティブシンドローム	Progress in Medicine 2015;
8	松平浩	22世紀医療センター	【リハビリテーションに必要な産業医学の知識】非特異的腰痛.	総合リハビリテー ション 43:517-526,
9	吉村典子、阿久根徹	22世紀医療センター	【ロコモティブシンドロームのすべて】ロコモティブシンドロームの概念と疫学 疫学	日本医師会雑誌 2015; 144(特別
10	村木重之	22世紀医療センター	【ロコモティブシンドロームのすべて】ロコモティブシンドロームの評価 評価法 その他	日本医師会雑誌 2015; 44(特別1):
11	村木重之	22世紀医療センター	【ロコモの視点を交えた変形性膝関節症】病態・疫学	Loco Cure 2015; 1(2): 104-109
12	長岡孝治、垣見和宏	22世紀医療センター	【胃癌の診療】胃癌の治療 胃癌に対する免疫治療(解説/特集)	臨床消化器内科 30巻7号 Page907-
13	宮田 裕章	22世紀医療センター	【外科治療とNCD】臨床現場の改善とさらなる価値の創出に向けたビッグデータの活	Surgery Frontier (1340-5594)22巻4
14	吉村典子	22世紀医療センター	【健康日本21における日本整形外科学会の取り組み】ロコモとメタボと認知症	クリニシアン 2015; 62(12):1136-43
15	松平浩	22世紀医療センター	【高齢者における非がん慢性疼痛の管理】非特異的腰痛の新しい考え方とマネジ	Geriatric Medicine 53: 959-964, 2015
16	松平浩	22世紀医療センター	【腰痛対策最前線】第7回 腰痛対策メディアキャンペーン.	地方公務員 安全と 健康フォーラム 94
17	松平浩	22世紀医療センター	【腰痛対策最前線】第8回 “脳機能の不具合”への対処法.	地方公務員 安全と 健康フォーラム 95
18	松平浩	22世紀医療センター	【腰痛対策最前線】第9回腰痛セルフケアのACE(エース)-エクササイズはアライメン	地方公務員 安全と 健康フォーラム 96
19	吉村典子	22世紀医療センター	【骨粗鬆症の診断と治療update】骨粗鬆症とロコモティブシンドローム	Bone Joint Nerve 2016; 6(1):177-80
20	吉村典子	22世紀医療センター	【骨粗鬆症臨床研究の未来に向けて-臨床研究の手法と若手研究者への期待-】わが	日本骨粗鬆症学会 雑誌 2015;
21	村木重之	22世紀医療センター	【骨粗鬆症臨床研究の未来に向けて-臨床研究の手法と若手研究者への期待-】疫学	日本骨粗鬆症学会 雑誌 2015;
22	村木重之	22世紀医療センター	【大腿骨近位部骨折~疫学から治療、リエンジニアリングまで~】大腿骨近位部骨折の	Clinical Calcium 2015; 25(4): 511-
23	吉村典子	22世紀医療センター	【内科医がになう骨粗鬆症-診療と生活指導の最新情報】骨粗鬆症の現状と未来	Medicina 2016; 53(3):414-7
24	山中崇	22世紀医療センター	【老化と老年疾患-研究・臨床の最前線 高齢者の医療介護体制とイノベーション】在	医学のあゆみ. 2015; 253(9): 919-
25	藤生克仁、真鍋一郎	22世紀医療センター	5. 心腎連関の機序の最新の知見	腎・高血圧の最新 治療, 14(1), フジメ
26	熊谷英敏、池田祐一、小室一成	22世紀医療センター	AT1受容体のバイアスタゴニズム	Angiotensin Research 12: 102-
27	村木重之	22世紀医療センター	EBM講座(第48回) サルコペニアと骨折	骨粗鬆症治療 2015; 14(3):240-4
28	松平浩, 岡敬之	22世紀医療センター	McKenzie法も踏まえた腰部脊柱管狭窄症に対する姿勢・運動指導の実際.	Loco CURE 1: 234-236, 2015
29	Kariya Y, Honma M, Suzuki H.	22世紀医療センター	Mechanism analyses and mechanism-based prediction for adverse drug reactions using	Nihon Yakurigaku Zasshi. 2016
30	児玉 安司	22世紀医療センター	臨床試験における利益相反と規制のあり方	リーガルマインド No. 363
31	松平浩	22世紀医療センター	磯村 達也, 岡崎 裕司, 三好 光太, 小西 宏昭:日本人勤労者を対象とした腰痛疫学	日本職業災害医学 会誌63: 329-

32	松平浩, 岡敬之	22世紀医療センター	腰痛の疫学 1) グローバルな現状.	腰痛のサイエンス、 文光堂、2015、
33	松平浩, 岡敬之	22世紀医療センター	腰痛の疫学 2) 我が国における最近の知見.	腰痛のサイエンス、 文光堂、2015、
34	松平浩	22世紀医療センター	骨関節疾患 腰痛.	今日の小児治療指 針 第16版、医学書
35	吉村典子	22世紀医療センター	骨粗鬆症Q&A(第49回) 国内の骨粗鬆症 の発症に地域差はあるのでしょうか?(Q&A)	骨粗鬆症治療 2015; 14(1):85-6
36	村木重之	22世紀医療センター	骨棘を伴う脊椎疾患とは(Q&A)	日本医事新報 2015; 4769: 69-70
37	山中崇	22世紀医療センター	在宅医療の土台を支える研究の推進を 目指して 1. 在宅医療の研究に関する展望	日老医誌. 2016; 53(1): 19-24
38	吉江悟, 松本佳 子, 土屋瑠見子,	22世紀医療センター	在宅医療多職種研修とその効カレント レビュー	2015; 30(2): 80-86
39	吉江悟	22世紀医療センター	在宅療養者やその家族の「選択と心構え」 を支える: 地域住民に伴走する意思決定支	地域ケアリング. 2015; 17(14): 130-
40	藤生克仁	22世紀医療センター	心腎脳ネットワークと慢性炎症制御	別冊BioClinica, vol.4 No.2, 91-96,
41	藤生克仁	22世紀医療センター	心腎連関による心臓リモデリング機序	最新医学、最新医 学社, Vol. 70, No.
42	鈴木淳一	22世紀医療センター	大動脈瘤未病状態における歯周病の関与 を解明する臨床研究	未病と抗老化2015 24:56-59.
43	吉江悟	22世紀医療センター	地域包括ケアシステムにおける「本人・家族 の選択と心構え」.	2015; 58(1): 81-83
44	鈴木淳一	22世紀医療センター	動脈硬化性疾患と歯周病	日本医師会雑誌 2015 144(3); 507-
45	松平浩, 住谷昌 彦, 笠原諭	22世紀医療センター	慢性および再発性非特異的腰痛のマネジ メント.	Locomotive Pain Frontier 4: 76-83,
46	高橋 新, 平原 憲道, 宮田 裕	22世紀医療センター	臨床と研究 臨床データベースへの入力か らみえるわが国の診療提供体制 施設診	外科 (0016- 593X)78巻3号
47	鈴木淳一	22世紀医療センター	話題の感染症—歯周病と動脈硬化	2016 62(2); 1-6.
48	石川ひろの	UMINセンター	医療コミュニケーション研究の方法論的議 論と発展:『Communication in Medical	現象と秩序 2015; 3: 17-26.
49	岡田昌史, 石川 ひろの, 加藤美	UMINセンター	臨床試験登録システムの意義と役割.	臨床栄養 2015; 27(5): 620-21.
50	古川久美子, 大 江真琴, 保坂嘉	アドバンスナーシング	足潰瘍予防のための靴の選択方法に關 する研究—足潰瘍のない糖尿病患者自身に	日本フットケア学会 雑誌.
51	高橋美奈子, 野 口博史, 大江真	アドバンスナーシング	糖尿病患者の足部筋力と足底圧・せん断 力. 腰部足部角速度の關係: 4症例におけ	看護理工学会誌. 2015;2(3):157-163.
52	神田浩子	アレルギー・リウマチ内科	強直性脊椎炎に対するエタネルセプトの NSAIDs-sparing効果	リウマチ科・54巻3 号・p318-22
53	夏本文輝, 庄田 宏文, 山本一彦	アレルギー・リウマチ内科	関節リウマチ	検査と技術43巻12 号
54	庄田宏文	アレルギー・リウマチ内科	関節リウマチ	アレルギー・免疫22 巻12号
55	山本一彦, 竹内 勤, 石黒直樹,	アレルギー・リウマチ内科	関節リウマチに対するセルトリツマブペゴ ル自己注射の安全性、有効性および継続率	リウマチ科54巻6号
56	庄田宏文, 山本 一彦	アレルギー・リウマチ内科	関節リウマチの病因としてのシトルリン化	Medical practice 32 巻9号
57	山本一彦	アレルギー・リウマチ内科	ゲノムからみた関節リウマチ	Clinical Calcium25 巻12号
58	庄田宏文	アレルギー・リウマチ内科	自己抗原BiPの関節リウマチ病態への関与	臨床免疫・アレル ギー科64巻3号
59	藤尾圭志	アレルギー・リウマチ内科	自己抗体産生機序: 最新のメカニズム	腎と透析 78(2015) p665-669
60	岡村僚久, 藤尾 圭志	アレルギー・リウマチ内科	自己抗体産生のメカニズム	炎症と免疫24巻1号
61	山本一彦	アレルギー・リウマチ内科	自己免疫疾患と遺伝因子	実験医学33巻12号
62	藤尾圭志	アレルギー・リウマチ内科	自己免疫疾患とエピゲノム修飾	日本臨床免疫学会 雑誌 39(2016) p23-
63	藤尾圭志	アレルギー・リウマチ内科	自己免疫疾患の新たな病因論	リウマチ科54巻4号
64	庄田宏文	アレルギー・リウマチ内科	自己免疫疾患の治療標的としてのIL-22の 可能性	リウマチ科53巻4号

65	山本一彦	アレルギー・リウマチ内科	自己免疫疾患の発症のメカニズム	医学のあゆみ255 巻5号
66	藤尾圭志	アレルギー・リウマチ内科	次世代シークエンス法を用いた関節リウマチにおける抗原特異的T細胞免疫応答の	BIO Clinica 30巻11 号
67	山口健介、高地雄太、山本一彦	アレルギー・リウマチ内科	疾患感受性遺伝子と疾患	Mebio32巻11号
68	庄田宏文	アレルギー・リウマチ内科	シトルリン化蛋白の免疫機能への影響と臨床応用	医学のあゆみ255 巻9号
69	岡村僚久、森田薫、藤尾圭志、	アレルギー・リウマチ内科	制御性T細胞による全身性エリテマトーデスの病態制御	日本臨床免疫学会 雑誌38巻1号
70	永渕泰雄、藤尾圭志	アレルギー・リウマチ内科	腸内細菌と自己免疫疾患・関節リウマチ	成人病と生活習慣 病45巻12号
71	藤尾圭志	アレルギー・リウマチ内科	免疫・自己免疫疾患とmicrobiota	日本内科学会雑誌 104巻8号
72	神田浩子	アレルギー・リウマチ内科	免疫抑制薬 一免疫抑制剤の基礎知識一	薬剤師継続学習通 信教育講座第2回・
73	神田浩子	アレルギー・リウマチ内科	関節リウマチ治療薬とその副作用	Medical Practice・ 32巻5号p872-5
74	川口直子、神田浩子、永友利津	アレルギー・リウマチ内科	膠原病患者におけるBioPlex2200 ANA Screenを用いた自己抗体測定の評価	医学検査 64(3)337-42,2015
75	愛甲丞、瀬戸泰之	胃・食道外科	【LECS(laparoscopy and endoscopy cooperative surgery)の新たな展開】胃局	臨床消化器内 科.2015;30巻12号:
76	山下裕玄、瀬戸泰之	胃・食道外科	【Neoadjuvant therapyの最新の動向-がんの治療戦略はどのように変わっていくのか】	臨床外科.2015.70 巻7号:824-7
77	西田正人、瀬戸泰之	胃・食道外科	【あなたも名医!消化管疾患診療のギモン・シツモン・アンコモン Q&Aで斬る!】(2章)	jmed mook.2015;40 号: 131-3
78	瀬戸泰之、森和彦、山形幸	胃・食道外科	【がん医療の変遷】ロボット支援下食道癌根治術(解説/特集)	成人病と生活習慣 病.2015;45巻5
79	山下裕玄、瀬戸泰之	胃・食道外科	【これも知りたい術式イラスト便利帳】噴門側胃切除術(図説/特集)	消化器外科 Nursing.2016;21巻
80	山下裕玄	胃・食道外科	【ナースの「あれっ!?!」が急変を防ぐ 術後観察の注目!ポイント】手術別知っておき	Expert Nurse.2015;31巻5
81	瀬戸泰之、山下裕玄	胃・食道外科	【胃癌の診療】通常型と区別すべき胃癌および胃癌類縁疾患 食道胃接合部癌(解説)	臨床消化器内 科.2015;30巻7
82	瀬戸泰之、山下裕玄、八木浩	胃・食道外科	【胃切除後再建術式の工夫とその評価】再建術式の歴史的変遷と現在の状況 安全	臨床外科.2015;70 巻6号:668-75
83	野村幸世、川瀬和美、萬谷京	胃・食道外科	【科を越えて考える,外科系女性医師のキャリア形成-現状・問題点・対策-】女性外科	日本外科系連合学 会誌.2015;40巻2
84	分田貴子、瀬戸泰之	胃・食道外科	【外科医が知っておくべき がん薬物療法の副作用とその対策】症状別対策マニュアル	臨床外科.2015;70 巻5号:603-6
85	山下裕玄、瀬戸泰之	胃・食道外科	【再発に挑む!-外科治療の役割】術後サーベイランスの考え方と再発時の治療戦	臨床外科.2015;70 巻9号:1090-5
86	山下裕玄、瀬戸泰之	胃・食道外科	【消化器・一般外科手術のPearls & Tips-ワランク上の手術を達成する技と知恵】胃	臨床外科.2015;70 巻11号:64-8
87	小野山温那、神谷真子、栗木	胃・食道外科	【消化器疾患の病態生理】ペプチダーゼプローブによる食道扁平上皮癌の迅速蛍	Progress in Medicine.2016;36
88	山下裕玄、瀬戸泰之	胃・食道外科	【食道胃接合部癌に対する手術手技-コツとピットフォール-】食道胃接合部癌に対す	癌の臨床.2015;61 巻5号:347-53
89	山下裕玄、瀬戸泰之	胃・食道外科	【食道胃接合部癌のすべて】食道胃接合部癌のリンパ節転移と術式選択(解説/特	外科.2015;77巻4 号:383-7
90	山下裕玄、瀬戸泰之	胃・食道外科	【食道胃接合部癌の治療-今後の展望-】食道胃接合部癌に対する術式と至適郭清	日本外科学会雜 誌.2015;116巻1
91	山下裕玄、小田島慎也、藤城	胃・食道外科	【食道胃接合部腺癌】食道胃接合部腺癌の外科治療 新ガイドラインに基づいて(解	胃と腸.2015;50巻9 号:1161-7
92	森和彦、西田正人、瀬戸泰之	胃・食道外科	【食道手術-合併症対処の各施設の工夫-】術中・術後合併症の予防と対処 当施設の	手術.2015;69巻7 号: 1127-30
93	森和彦、瀬戸泰之	胃・食道外科	【同時性・異時性の重複がんを見落とさない-がん診療における他臓器への目配り】	臨床外科.2015;70 巻12号:1346-51
94	小野山温那、神谷真子、阿部	胃・食道外科	【内視鏡観察-今と近未来】近未来内視鏡ペプチダーゼプローブによる食道扁平上皮	消化器内視鏡. 2016;28巻3号:473-
95	野村幸世、春間賢	胃・食道外科	【慢性胃炎を見直す】残胃炎(解説/特集)	胃と腸.2016;51巻1 号:87-93
96	野村幸世、井田和徳、寺尾秀	胃・食道外科	胃粘膜萎縮の内視鏡診断 多施設共同前向き研究(原著論文)	Gastroenterological
97	小野山温那、山形幸徳、愛甲	胃・食道外科	栄養士も知っておきたい!画像診断の基本(vol.2) 内臓・皮下脂肪、骨格筋量の測定	臨床栄養.2015;126 巻7号:920-4

98	瀬戸 泰之	胃・食道外科	外科臨床の実践 NCDを用いた外科学総論臨床研究の実践とその展開(解説)	日本外科学会雑誌.2015;116巻臨増
99	野村 幸世	胃・食道外科	外科臨床研究と女性外科医(解説)	日本外科学会雑誌.2015;116巻3
100	野村 幸世	胃・食道外科	外科臨床研究のあり方 外科臨床研究と女性外科医(解説)	日本臨床外科学会雑誌.2015;76巻5
101	瀬戸 泰之, 山下裕玄, 佐野 武	胃・食道外科	外科臨床研究の実践 食道胃接合部癌の外科臨床研究(解説)	日本臨床外科学会雑誌.2015;76巻5
102	清水 伸幸, 畑尾史彦, 深柄 和	胃・食道外科	酵素処理などにより軟化した摂食回復支援食の胃癌術後食としての応用 初期安全性	外科と代謝・栄養.2015;49巻4号:
103	瀬戸 泰之, 遠藤格, 渡邊 昌彦	胃・食道外科	国際化時代における邦文学会誌の在り方 日本消化器外科学会の立場から(解説)	日本外科学会雑誌.2015;116巻臨増
104	野村 幸世	胃・食道外科	女性外科医の労働環境とキャリア形成(解説)	臨床外科.2015;70巻7号:872-6
105	瀬戸 泰之, 山下裕玄, 佐野 武	胃・食道外科	食道胃接合部癌の外科臨床研究(解説)	日本外科学会雑誌.2015;116巻3
106	瀬戸 泰之, 山下裕玄	胃・食道外科	食道胃接合部癌の診断と治療(総説)	日本消化器病学会雑誌.2015;112巻10
107	吉村 俊太郎, 絹田 俊爾, 丸山	胃・食道外科	腸間膜膿瘍を伴う空腸憩室穿通の1例(原著論文/症例報告)	臨床外科.2015;70巻4号:495-8
108	蕪城俊克	眼科・視覚矯正科	【虹彩毛様体炎の臨床】サイトメガロウイルスによる虹彩毛様体炎	眼科 57:827-832
109	蕪城俊克	眼科・視覚矯正科	【膠原病】実地医家の日常診療のレベルアップのポイントを身につける 膠原病にお	Medical Practice 32:1143-1146
110	蕪城俊克	眼科・視覚矯正科	ぶどう膜炎と類縁疾患 ベーチェット病	眼科 57:867-873
111	寺尾 亮, 藤野雄次郎, 南川裕	眼科・視覚矯正科	硝子体混濁を主症状としたFuchs虹彩異色毛様体炎の2例	臨床眼科69:1669-1673
112	若林 義賢, 奥川 周	感染制御部	【すべての内科医のためのHIV感染症-長期管理の時代に】 HIV感染症にまつわる	内科 116巻5号
113	湯橋 一仁, 森屋 恭爾	感染制御部	【感染症ガイドラインのすべて】日本肝臓学会 C型肝炎治療ガイドライン	化学療法の領域 32巻増刊
114	山口 諒, 森屋 恭爾	感染制御部	【感染症における新薬開発のジレンマと展望-日本が先駆者となるために-】耐性菌と	化学療法の領域 32巻1号
115	門 輝, 森屋 恭爾	感染制御部	【肝・胆・膵の慢性炎症】肝臓と慢性炎症炎症とHCV感染、発癌の機序	別冊Bio Clinica: 慢性炎症と疾患 4巻4
116	森屋 恭爾, 三好 秀征, 小池	感染制御部	【新ウイルス性肝炎学-最新の基礎・臨床研究情報-】肝炎ウイルス研究の進歩 肝炎	日本臨床 (0047-1852)73巻増刊9
117	森屋 恭爾, 三好 秀征, 小池	感染制御部	ウイルス感染と腫瘍 C型肝炎と肝発癌	日本内科学会雑誌 104巻9号
118	森屋 恭爾	感染制御部	新規抗菌薬の開発に向けた感染関連6学会の提言	感染と消毒 22巻2号
119	住谷昌彦 緒方 徹	緩和ケア診療部	Sensori-motor integrationの障害と痛み	Locomotive Pain Frontier 2015; 4:
120	住谷昌彦	緩和ケア診療部	たんなる災難:神経障害性疼痛	「痛みを知るために」監訳:花岡一雄
121	住谷昌彦 穂積 淳 山内照夫	緩和ケア診療部	高用量, 長期使用に伴う副作用~腸機能障害, 性腺機能障害, 痛覚過敏	「慢性疼痛治療-現場で役立つオピオ
122	住谷昌彦 緒方 徹	緩和ケア診療部	質問票:痛みの性状, 神経障害性疼痛	「臨床に役立つ神経障害性疼痛の理
123	住谷昌彦 穂積 淳 山内照夫	緩和ケア診療部	痛(がん性疼痛の基礎)	ペインクリニック 2015; 36: S361-70
124	住谷昌彦	緩和ケア診療部	複合性局所疼痛症候群	「リウマチ病学テキスト」編集:日本リウ
125	住谷昌彦 山内 照夫	緩和ケア診療部	末梢神経障害性疼痛治療薬	「誰にでもできる緩和ケアの実践書」編
126	瀧本 禎之, 金井良晃, 海津 未希	緩和ケア診療部	連載「エシックスの知恵袋」第4回 体調も気持ちも不安定な終末期の患者さんに、	緩和ケ ア.2015.25(3),246-
127	瀧本 禎之, 金井良晃, 海津 未希	緩和ケア診療部	連載「エシックスの知恵袋」第5回 認知症の患者さんに繰り返される肺炎治療…。ほ	緩和ケ ア.2015.25(4), 330-
128	瀧本 禎之, 金井良晃, 海津 未希	緩和ケア診療部	連載「エシックスの知恵袋」第6回 この鎮静、本当に大丈夫でしょうか？	緩和ケ ア.2015.25(5),440-
129	新 秀直	企画情報運営部	携帯電話による医療機器の検査項目の具体的な方法と評価結果	電磁環境工学情報 EMC4月号N
130	篠原恵美子, 今井健, 大江和彦	企画情報運営部	身体部位表現と解剖オントロジーのマッピングに関する基礎的検討	医療情報学 35(6)

131	宮田明典、石沢武彰、有田淳	肝胆膵・人工臓器移植外科	;ICG蛍光法による肝区域染色法を用いた系統的肝切除術;	臨床外科;2015;70(12);1375-1379.
132	有田淳一、山本訓史、阪本良	肝胆膵・人工臓器移植外科	;肝切除	消化器外科;2015;38(6);909-918.
133	金子順一、菅原寧彦、赤松延	肝胆膵・人工臓器移植外科	;成人人体肝移植後の de novo がんに対するスクリーニング法と予後	今日の移植;2015;28(5);564-571.
134	國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	「わが旅」ビルロードの胃を訪ねて	日本医師会雑誌 144(3):576
135	大道清彦、阪本良弘、長谷川	肝胆膵・人工臓器移植外科	【イラストでみる最新の胆・膵消化管吻合術】膵空腸吻合 二期再建(解説/特集)	胆と膵 (0388-9408)37巻3号
136	大道清彦、阪本良弘、國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	【これも知りたい術式イラスト便利帳】膵全摘術(図説/特集)	消化器外科Nursing (1341-7819)21巻1
137	長谷川 潔、山本訓史、山下	肝胆膵・人工臓器移植外科	【わかりやすい消化器癌治療のコンセンサス】肝癌の診断と治療 肝癌の診断・治療	消化器外科 38 (5):672-675 ヘル
138	有田淳一、山本訓史、阪本良	肝胆膵・人工臓器移植外科	【肝細胞癌の診断・治療の最前線】肝切除(解説/特集)	消化器外科 38 (6):909-918 ヘル
139	中山嘉之、高山忠利、長谷川	肝胆膵・人工臓器移植外科	【肝細胞癌の診断・治療の最前線】治療アルゴリズム(解説/特集)	消化器外科 (0387-2645)38巻6号
140	阪本良弘、新川寛二、有田淳	肝胆膵・人工臓器移植外科	【肝内胆管癌:治療成績の改善を目指して】疫学・早期診断 肝内胆管癌発生の危険	肝・胆・膵 (0389-4991)72巻1号
141	阪本良弘、有田淳一、赤松延	肝胆膵・人工臓器移植外科	【肝内胆管癌の新しい規約と治療戦略】原発性肝癌取扱い規約第6版における肝内	外科 (0016-593X)78巻2号
142	中沢祥子、有田淳一、山本訓	肝胆膵・人工臓器移植外科	【混合型肝癌の新病理分類とそれに基づいた画像再評価】術前肝細胞癌との鑑別	Liver Cancer (1341-1926)21巻
143	宮田明典、阪本良弘、有田淳	肝胆膵・人工臓器移植外科	【最新 肝胆膵高難度外科手術アトラス】高難度外科手術手技 肝臓 肝静脈合併切	手術 (0037-4423)70巻4号
144	大道清彦、長谷川 潔、國土典	肝胆膵・人工臓器移植外科	【術後障害のリアルタイム外来フォローの実力が臓器損失を補う】 評価・対応の実際 肝臓	臨床外科 (0386-9857)71巻3号
145	河口義邦、長谷川 潔、國土典	肝胆膵・人工臓器移植外科	【消化器がん(消化管・肝胆膵がん)の新展開】大腸がんの肝転移切除 補助療法の	腫瘍内科 (1881-6568)17巻2号
146	大場 大 國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	【大腸がん治療-最新の話から】大腸がん治療におけるconversion therapyの有効	臨床腫瘍プラクティス (1880-3083)11
147	阪本良弘、山下俊、山本訓史、	肝胆膵・人工臓器移植外科	【門脈枝塞栓術・結紮術のすべて】新たな二期的肝切除-ALPPSについて(解説/特	外科 (0016-593X)77巻8号
148	阪本良弘、有田淳一、中井陽	肝胆膵・人工臓器移植外科	【膵癌の最新治療】 Borderline resectable 膵癌と術前化学療法 膵癌に対する術前化	外科 77(5) P497-501(2015.5)
149	竹村信行、長谷川 潔、國土典	肝胆膵・人工臓器移植外科	BCLC stage Bの肝細胞癌に対する外科治療	肝胆膵 71(2):329-334
150	宮田明典、石沢武彰、有田淳	肝胆膵・人工臓器移植外科	ICG蛍光法による肝区域染色法を用いた系統的肝切除	臨床外科 70(12) 1375-1379 医学書
151	河口義邦、長谷川 潔、國土典	肝胆膵・人工臓器移植外科	Liver、Pancreas、Biliary Tract Cancer 肝・胆・膵癌 肝胆膵がん切除後再発に対する	癌と化学療法 (0385-0684)42巻10
152	山下 俊 長谷川 潔 青木 琢	肝胆膵・人工臓器移植外科	エキスパート外科医に聞いてみよう ラジオ波焼灼療法後再発の手術(解説)	肝臓クリニカルアップデート(2189-
153	國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	エッセイ 時間の風景 「肝臓外科のアルプスを知っていますか？」	メディカルレビュー 48 No52.53
154	國土典宏、山本雅一、横山 斉、	肝胆膵・人工臓器移植外科	学科集会のあり方について	日本外科学会雑誌 117(2):69-89
155	長谷川 潔、國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	肝癌診療ガイドライン第3版:改訂の実際と問題点	癌の臨床61巻3号 Page247-253
156	青木 琢、河野義春、國土典宏、	肝胆膵・人工臓器移植外科	肝胆膵手術後ドレナージ	ドレーンカテーテルチューブ管理 完
157	長谷川 潔、國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	肝転移に対する外科治療の適応と術後化学療法補助	Medical Practice032巻11号
158	阪本良弘、新川寛二、有田淳	肝胆膵・人工臓器移植外科	肝内胆管癌発生の危険因子	肝胆膵 72(1):7-12
159	國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	グローバルの肝癌診療ガイドラインに物申す~日本初の肝癌診療ガイドラインから世	エーザイ(株)冊子「クリニシャン」
160	國土典宏、川原信隆	肝胆膵・人工臓器移植外科	座談会 愚直に外科の「やりがい」を語れー外科学会理事長から脳神経外科医へ	脳神経外科速報 2015年5月号
161	大道清彦 長谷川 潔、國土典	肝胆膵・人工臓器移植外科	術後障害のリアルタイム外来フォローの実力が臓器損失を補う評価・対応の実際:肝臓	臨床外科 71(3) 288-292 医学書院
162	國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	術後死亡率が高い施設にはデータに基づく警告も	日経メディカル 2015 6月号P:69
163	竹村信行、長谷川 潔、國土典	肝胆膵・人工臓器移植外科	進行肝細胞癌に対する外科治療の適応と成績	臨床消化器内科 30(8):1035-1041

164	阪本良弘、有田淳一、赤松延	肝胆膵・人工臓器移植外科	総論 原発性肝癌取り扱い規約第6版における肝内胆管癌の新しい進行度分類	外科 78(2) P122-126(2016.02) 南江
165	赤松延久 菅原寧彦 國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	第4章 管理・治療 肝移植	診断と治療のABC「肝がん」 P118-
166	國土典宏、石沢武彰	肝胆膵・人工臓器移植外科	第16章 ICG蛍光法に基づく術中イメージガイダンス肝がん切除術	がんの分子イメージング 浦野泰照編
167	長谷川 潔, 大場 大、西岡裕	肝胆膵・人工臓器移植外科	大腸癌の治療 大腸癌肝転移に対する熱凝固療法的位置づけ	日本臨床 73(4) 増刊 :425-430
168	國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	多発性転移がんの化学療法	冊子 ドクターサロン 2015.4月号 p
169	國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	日本外科学会が取り組む課題について-理事長任期最終年を迎えて-	日本外科学会雑誌 117(1):19-21
170	山科 章 小池和彦 國土典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	日本内科学会 日本外科学会 これからの学会の取り組みについて	日本内科学会雑誌 2015.104(1):9-28
171	長谷川 潔, 赤松延久, 山口 教	肝胆膵・人工臓器移植外科	右外側領域(Right lateral sector、後区域)グラフト採取術(会議録)	移植 (0578-7947)50巻4-5号
172	長谷川 潔 山本訓史, 山下 俊,	肝胆膵・人工臓器移植外科	外科医が行う臨床試験 その方法と問題点 肝臓外科におけるランダム化比較試験	日本臨床外科学会雑誌 (1345-
173	田中 智大, 菅原寧彦, 赤松 延	肝胆膵・人工臓器移植外科	肝移植後の再発C型肝炎に対する治療の変遷と課題(会議録)	移植 (0578-7947)50巻2-3号
174	富樫 順一 菅原寧彦, 赤松 延	肝胆膵・人工臓器移植外科	肝移植後免疫抑制下に急速な心アミロイド沈着進行をきたした原発性アミロイドーシス	移植 (0578-7947)50巻2-3号
175	國土 典宏	肝胆膵・人工臓器移植外科	肝臓外科治療における今後の展望(会議録)	移植 (0578-7947)50巻2-3号
176	工藤正俊、上嶋一臣、久保正二、	肝胆膵・人工臓器移植外科	肝臓治療効果判定基準(2015年改訂版)(解説)	肝臓 (0451-4203)56巻3号
177	金子 順一, 菅原寧彦, 赤松 延	肝胆膵・人工臓器移植外科	肝不全に対する再肝移植の適応と予後(会議録)	移植 (0578-7947)50巻2-3号
178	白田 力, 赤松延久, 田中 智	肝胆膵・人工臓器移植外科	教室での脳死分割肝移植4例における周術期合併症の検討と対策(会議録)	移植 (0578-7947)50巻4-5号
179	金子 順一, 菅原寧彦, 阪本良	肝胆膵・人工臓器移植外科	人生体肝移植術の胆管胆管再建における胆管ステント留置の有用性(会議録)	移植 (0578-7947)50巻4-5号
180	金子 順一、菅原寧彦、赤松延	肝胆膵・人工臓器移植外科	成人生体肝移植後のde novoがんに対するスクリーニング法と予後	今日の移植 28(5):564-571 2015
181	菅原 寧彦, 赤松延久, 金子 順	肝胆膵・人工臓器移植外科	成人生体肝移植後の晩期の問題(会議録)	移植 (0578-7947)50巻2-3号
182	西岡 裕次郎, 長谷川 潔, 田中	肝胆膵・人工臓器移植外科	生体肝グラフト採取519例の手術成績(会議録)	移植 (0578-7947)50巻2-3号
183	阪本 良弘, 稲垣冬樹, 大道 清	肝胆膵・人工臓器移植外科	切除限界克服を目指した治療方針(肝、胆)TIPEと部分的肝離断を組み合わせた新たな	日本臨床外科学会雑誌 (1345-
184	國土 貴嗣, 長谷川 潔, 網倉 克	肝胆膵・人工臓器移植外科	切除適応のある肝細胞癌症例におけるアルブミン、ICG15分値を用いた新しい肝機能	肝臓 (1345-
185	工藤 正俊, 泉並木, 市田 隆	肝胆膵・人工臓器移植外科	第19回全国原発性肝癌追跡調査報告(2006~2007)(日本肝癌研究会追跡調査委	肝臓 (0451-4203)57巻1号
186	長田 梨比人, 菅原 寧彦, 田中	肝胆膵・人工臓器移植外科	東京大学における高齢ドナーからの生体肝移植の成績(会議録)	移植 (0578-7947)50巻2-3号
187	野尻 佳代 菅原寧彦, 田中 智	肝胆膵・人工臓器移植外科	東京大学医学部附属病院における肝移植希望患者の動向(会議録)	移植 (0578-7947)50巻2-3号
188	阪本良弘、有田淳一、中井陽	肝胆膵・人工臓器移植外科	特集:膵癌の最新治療 I.Borderline resectable 膵癌と術前化学療法 1.膵癌	外科;2015;77(5);497-501.
189	富樫 順一, 赤松延久, 田村 純	肝胆膵・人工臓器移植外科	特発性間質性肺炎を合併したB型肝炎硬化変に対し生体肝移植を施行した1例(会議録)	移植 (0578-7947)50巻4-5号
190	後藤田 直人, 小西 大, 別府 透,	肝胆膵・人工臓器移植外科	内視鏡外科手術の現状と将来(肝、胆、膵)大腸癌肝転移に対する腹腔鏡下と開腹肝	日本臨床外科学会雑誌 (1345-
191	宮田 明典, 石沢武彰, 山本 訓	肝胆膵・人工臓器移植外科	臨床外科に役立つ診断と治療のインベーション インジゴカルミン染色法とICG蛍光法	日本臨床外科学会雑誌 (1345-
192	真木 治文 阪本良弘, 山本 訓	肝胆膵・人工臓器移植外科	膵頭十二指腸切除後の脂肪肝発生について(会議録)	日本臨床外科学会雑誌 (1345-
193	中崎久美	血液・腫瘍内科	骨髄異形成症候群に対するエリスロポエチン受容体作動薬の有効性と安全性	血液内科・72(2):272-278
194	増田 亜希子, 常名 政弘, 本	血液・腫瘍内科	末梢血赤芽球出現とフェリチン異常高値を契機に診断された特発性血球異形成	臨床血液・56(12):2462-2466
195	野入 英世	血液浄化療法部	顧みられない感染症(NTD)としての寄生虫疾患 内臓型リーシュマニア症	医学のあゆみ (0039-2359)253巻1
196	一色 玲, 土井 研人, 住田 真	血液浄化療法部	尿中L-FABP測定によるICU患者の腎長期予後の予測	日本急性血液浄化学会雑誌 (2185-

197	赤木大輔、重松邦広	血管外科	特集 血管機能検査を臨床に活かす「ABIとTBIを臨床に活かす」	循環器内科・78(3)
198	吉川直之、増田亜希子、常名	検査部	ADVIA 2120iを用いた大型血小板比率の測定 血小板産生能の指標としての臨床的	日本検査血液学会雑誌 16:272-281,
199	栗原真希子、佐藤優実子、大	検査部	パイロシークエンス法によるHCV遺伝子型判定法の構築と評価	日本臨床検査自動化学会誌 40:
200	石井清、田部陽子、佐野麻	検査部	血液検査効率化に資する血液像目視再検基準の設定と評価ー自動血球分析装置	日本検査血液学会雑誌 16:20-27,
201	毛利真理子、田中雅美、影山	検査部	次亜塩素酸ナトリウムを用いたアルカプトン尿の簡易検査法	医学検査 64:324-329, 2015
202	増戸梨恵、山口ひろ子、早川	検査部	全自動エンザイムノアッセイ装置aia-2000によるサイログロブリン測定のための基礎的	日本臨床検査自動化学会誌 40:
203	早川明子、山口ひろ子、水本	検査部	全自動化学発光酵素免疫測定装置AIA-CL2400を用いたTSH, FT4, FT3測定の基	日本臨床検査自動化学会誌 40:
204	増戸梨恵、山口ひろ子、早川	検査部	全自動電気化学発光免疫測定装置Cobas 6000 による抗サイログロブリン抗体および	日本臨床検査自動化学会誌 40:
205	増戸梨恵、永友利津子、保田	検査部	全自動電気化学発光免疫測定装置cobas e411による抗TP抗体測定試薬「エクルーシ	医学と薬学 72: 919-929, 2015
206	田中雅美、宿谷賢一、久末	検査部	全自動尿統合分析装置UX-2000による尿中アルブミン試験紙の性能評価	Sysmex Journal 16:, 2015.
207	久末崇司、田中雅美、宿谷	検査部	全自動尿分析装置US-3100R plusの基礎的検討	日本臨床検査自動化学会誌 40:
208	宿谷賢一、田中雅美、久末	検査部	全自動尿分注装置「IDS-CLAS・Hr」基本性能の検討	医療と検査機器・試薬 38:191-196,
209	田中雅美、宿谷賢一、森田賢	検査部	多項目自動血球分析装置XN-550を用いた髄液細胞数算定の基礎的検討.	医学検査 64:749-754, 2015.
210	大金亜弥、吉川直之、常名	検査部	多項目自動血球分析装置XN-9000体腔液測定モードの基礎的検討および異常細胞	日本検査血液学会雑誌 16:253-261,
211	小田島慎也、新美恵子、愛甲	光学医療診療部	【LECS(laparoscopy and endoscopy cooperative surgery)の新たな展開】各種	臨床消化器内科(0911-601X)30巻
212	山口太輔、吉田俊太郎、藤城光	光学医療診療部	【あなたも名医!消化管疾患診療のギモン・シツモン・アンコモン Q&Aで斬る!】(2章)	jmed mook40号 Page134-
213	山口太輔、藤城光弘	光学医療診療部	【これだけは知っておきたい検査のポイント-第9集】微生物学的検査 細菌関連検査	Medicina(0025-7699)52巻4号
214	山口太輔、藤城光弘	光学医療診療部	【どうする?新規経口抗凝固薬の服薬指導】消化器内視鏡時の休薬と再開	脳梗塞と心房細動(2188-7861)2巻2号
215	藤城光弘	光学医療診療部	【マルチメディア時代の内視鏡診療】安全管理上、そうあってもらいたい内視鏡部門	消化器内視鏡(0915-3217)27巻11
216	小田島慎也、松田浩二、藤城	光学医療診療部	【マルチメディア時代の内視鏡診療】電子カルテとの連携 富士通	消化器内視鏡(0915-3217)27巻11
217	山口太輔、藤城光弘、辻陽介、	光学医療診療部	【胃癌に対するESD/EMRガイドライン-正しい理解・運用のために】ガイドラインの考え	臨床消化器内科(0911-601X)30巻6
218	平山慈子、小野敏嗣、藤城光弘	光学医療診療部	【抗血栓療法-おさえておきたい最新のエッセンス】 日常診療で知りたい抗血栓療法	Medicina(0025-7699)52巻13号
219	小田島慎也、藤城光弘、小池	光学医療診療部	【処置具を使いこなす】消化管ESD ESD ナイフ 先端系ナイフ(Hook, Dual, Flash、	消化器内視鏡(0915-3217)27巻8
220	山下裕玄、小田島慎也、藤城	光学医療診療部	【食道胃接合部腺癌】食道胃接合部腺癌の外科治療 新ガイドラインに基づいて	胃と腸(0536-2180)50巻9号
221	齋藤格、小野敏嗣、藤城光	光学医療診療部	【生検を極める】抗血栓薬服用者における組織生検時の対応	消化器内視鏡(0915-3217)27巻6
222	小田島慎也、藤城光弘、小池	光学医療診療部	【大腸癌スクリーニングをどうするか】大腸スクリーニングにおける画像強調観察 i-	消化器内視鏡(0915-3217)27巻4
223	藤城光弘	光学医療診療部	【日中における内視鏡診断治療の現状と課題】日本における内視鏡診断治療の現状	日中医学(0912-6287)30巻3号
224	山口太輔、小田島慎也、小野	光学医療診療部	あらたな内視鏡診断modality 現状と展望 早期胃癌病変検出における内視鏡画像強	Progress of Digestive
225	藤城光弘	光学医療診療部	ガイドライン ここがポイント! 抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン	Thrombosis Medicine(2186-
226	小野山温那、神谷真子、栗木	光学医療診療部	ペプチダーゼプローブによる食道癌の迅速蛍光イメージングに関する研究	Gastroenterological Endoscopy(0387-
227	辻陽介、藤城光弘、小池和彦	光学医療診療部	胃・十二指腸腫瘍に対するEMR/ESDの課題と将来展望 ポリグリコール酸シート貼付	Gastroenterological Endoscopy(0387-
228	山道信毅、一瀬雅夫、高橋悠、	光学医療診療部	胃X線検査における萎縮性胃炎・ヒダ肥厚とピロリ菌感染・胃癌発症との関連	日本消化器病学会雑誌(0446-
229	藤城光弘	光学医療診療部	胃疾患における内視鏡診断と治療の発展と今後の展望	Gastroenterological Endoscopy(0387-

230	小野山 温那, 神谷 真子, 阿部	光学医療診療部	近未来内視鏡 ペプチダーゼプローブによる食道扁平上皮癌の迅速蛍光イメージング	消化器内視鏡 (0915-3217)28巻3
231	吉田 俊太郎, 篠田 裕介, 成田	光学医療診療部	骨転移治療の院内連携 骨転移キャンサーボードが大腸癌骨転移患者の予後改善に	日本整形外科学会雑誌(0021-5325)89
232	平山 慈子, 辻陽介, 藤城 光	光学医療診療部	手技の工夫 Splash M-Knifeを用いたESD	臨床消化器内科 (0911-601X)31巻1
233	山田 篤生, 小林由佳, 新倉 量	光学医療診療部	小腸血管拡張に対する内臓脂肪蓄積の影響	Gastroenterological Endoscopy(0387-
234	藤城 光弘	光学医療診療部	消化器内視鏡がもたらした医療革命 これまでと今後 胃疾患における内視鏡診断・	メディカル朝日 (0919-7818)45巻2
235	藤城 光弘	光学医療診療部	消化器内視鏡学の近未来像を覗き見る	日本消化器病学会雑誌(0446-
236	藤城 光弘	光学医療診療部	上部スクリーニングにおける、IEE(NBI-BLI-i-scan OE)の現状と展望	Progress of Digestive
237	小野山 温那, 神谷 真子, 栗木	光学医療診療部	食道 食道がんのバイオマーカー ペプチダーゼプローブによる食道癌の迅速蛍光イ	日本癌治療学会誌 (0021-4671)50巻3
238	小田島 慎也, 小野 敏嗣, 新美	光学医療診療部	食道病変に対するNBI診断の有用性と限界 当院にて内視鏡切除を行った食道腫瘍	Progress of Digestive
239	吉田 俊太郎, 成田 明子, 太田	光学医療診療部	診断時大腸閉塞を伴うStageIV大腸癌に対する新たな治療戦略 大腸ステント留置術	日本消化器病学会雑誌(0446-
240	吉田 俊太郎, 成田 明子, 山地	光学医療診療部	進行再発大腸癌に対する化学療法の治療予測因子としての内臓脂肪	成人病と生活習慣病(1347-0418)45巻
241	成田 明子, 吉田俊太郎, 太田 弓	光学医療診療部	切除不能進行大腸癌に対する内視鏡的自己拡張型金属ステント留置後の緩和的化	Gastroenterological Endoscopy(0387-
242	藤城 光弘	光学医療診療部	早期大腸癌に対する内視鏡的切除の適応拡大に向けて	日本大腸肛門病学会雑誌(0047-
243	藤城 光弘, 田中 信治, 斎藤 豊,	光学医療診療部	大腸ESDデータ検討委員会中間報告 先進医療として施行された大腸ESDの有効性	Gastroenterological Endoscopy(0387-
244	太田 弓子, 吉田俊太郎, 山口 太	光学医療診療部	大腸癌による大腸閉塞に対するSelf-Expandable Metallic stent(SEMS)留置後全	Gastroenterological Endoscopy(0387-
245	篠田 裕介, 澤田 良子, 吉田 俊太	光学医療診療部	大腸癌骨転移のスクリーニングではMRIやPETを併用するべきである	日本整形外科学会雑誌(0021-5325)89
246	成田 明子, 吉田俊太郎, 太田 弓	光学医療診療部	大腸閉塞を伴う進行大腸癌に対するbridge to surgery(BTS)目的の大腸ステント留置術	Gastroenterological Endoscopy(0387-
247	齋藤 格, 小野 敏嗣, 片岡 陽	光学医療診療部	内視鏡の器械と技術 大腸内視鏡検査の視野確保における先端アタッチメント評価	Progress of Digestive
248	新美 恵子, 愛甲 丞, 小田島 慎	光学医療診療部	内視鏡を活用したあらたな診療展開 胃、食道 胃粘膜下腫瘍に対する局所切除の	Progress of Digestive
249	太田 弓子, 吉田俊太郎, 山下 裕	光学医療診療部	内視鏡を活用したあらたな診療展開 胃、食道 切除不能進行胃癌による胃排出路障	Progress of Digestive
250	片岡 陽佑, 辻陽介, 藤城 光	光学医療診療部	内視鏡を活用したあらたな診療展開 十二指腸、小腸 ポリグリコール酸シート貼付に	Progress of Digestive
251	成田 明子, 吉田俊太郎, 太田 弓	光学医療診療部	内視鏡を活用したあらたな診療展開 大腸進行胃癌による悪性大腸閉塞に対する	Progress of Digestive
252	藤城 光弘, 井口 幹崇, 角嶋 直	光学医療診療部	非静脈瘤性上部消化管出血における内視鏡診療ガイドライン	Gastroenterological Endoscopy(0387-
253	小野 敏嗣, 藤城 光弘, 小池 和彦	光学医療診療部	門亢症に対するIVRと内視鏡所見の変化 非門脈圧亢進症例における食道胃粘膜の	Progress of Digestive
254	藤城 光弘, 日本消化器内視鏡学	光学医療診療部	臨床研究と出版の倫理 内視鏡学会はどうあるべきか 臨床研究登録に関する、日本	Gastroenterological Endoscopy(0387-
255	藤城 光弘	光学医療診療部	臨床研究と出版の倫理-消化器内視鏡領域における現状と課題】(第5章)臨床研究	臨床消化器内科 (0911-601X)30巻
256	西條英人	顎口腔外科・歯科矯正歯科	ネオボーン®を移植材料としたサイナスリフト	バイオインテグレーション学会誌 2015
257	星 和人, 安部 貴大, 庄島 正	顎口腔外科・歯科矯正歯科	経静脈的コイル塞栓術を施行後に全摘出した下顎骨動静脈奇形の1例	日本口腔外科学会雑誌 2015
258	高戸 毅, 藤原 夕子, 星 和人	顎口腔外科・歯科矯正歯科	歯槽骨・顎骨および軟骨の再生	日本口腔外科学会雑誌 2015
259	杉山 円, 森良之, 末永英之,	顎口腔外科・歯科矯正歯科	非ホジキンリンパ腫の完全寛解後に口蓋粘表皮癌を発症した異時性重複癌の1例	日本口腔外科学会誌 2015
260	一瀬 淳二, 長山 和弘, 似鳥	呼吸器外科	基礎疾患別にみる続発性気胸に対する外科的治療の成績	臨床呼吸生理 48 23-27 2016
261	長山 和弘, 似鳥 純一, 安樂	呼吸器外科	基礎疾患別にみる続発性気胸に対する外科的治療の成績	通信医学 68(1) 3-25 2016
262	寺田 百合子, 村川 知弘, 北野	呼吸器外科	気管扁平上皮癌に対して気管管状切除を施行した1例	胸部外科 68(6) 473-475 2015

263	四元拓真、似鳥純一、長山和	呼吸器外科	左肺上葉切除後翌日に心タンポナーデをきたした1例 至適な左上肺静脈切離ライン	日本呼吸器外科学会雑誌 29(7) 813
264	中島 淳	呼吸器外科	浅野ら”気腫性肺に対する複数回の手術後に生じた難治性肺癆に対しEWSが奏功し	気管支学 37 373-374 2015
265	中島 淳	呼吸器外科	肺移植～我が国の現況および東京における肺移植の実施について	通信医学 68 (1) 3-25 2016
266	安樂真樹、中島淳	呼吸器外科	肺移植後の長期成績	医学のあゆみ 255(8)
267	黒田 美保.	こころの発達診療部	ASDの診断・評価アセスメント・ツール：ADI-R/ADOS-2.	臨床心理学. 16(1): 23-28
268	野中舞子.	こころの発達診療部	チックへの行動療法の現状と今後の展望.	行動療法研究. 41(1): 55-65
269	金生由紀子.	こころの発達診療部	チック障害と強迫性障害.	臨床精神医学. 44(11): 1485-1489
270	金生由紀子.	こころの発達診療部	一般の子どもにおけるこだわり.	こころの科学. 183: 10-14
271	金生由紀子.	こころの発達診療部	子どものチックと対応.	教育と医学. 64(3): 58-65
272	黒田 美保.	こころの発達診療部	自閉スペクトラム症の早期支援の最前線：ジャスパー・プログラムの紹介.	臨床心理学. 16(2): 151-155
273	成瀬栄一、金生由紀子.	こころの発達診療部	身体集中反復行動症(BFRBD)としての皮膚むしり症 (SPD)	臨床精神医学. 45(2): 193-199
274	黒田 美保.	こころの発達診療部	発達障害アセスメントから支援,その実際.	臨床心理学. 16(2): 136-140
275	黒田 美保.	こころの発達診療部	発達障害の包括的アセスメント.	臨床心理学. 16(1): 7-11
276	南川 麻里(京都第二赤十字病院)	女性診療科・産科、女性外科	MRIによる子宮腺筋症分類は、腹腔鏡下子宮全摘術の難易度と関連する	日本産科婦人科内視鏡会雑誌 (1884-
277	眞壁 友子(東京大学 医学部産科)	女性診療科・産科、女性外科	ジェノゲストの副作用に関する検討	日本エンドメトリオーシス学会誌
278	市川 麻祐子(東京大学 産婦人科)	女性診療科・産科、女性外科	リゾフォスファチジン酸系は絨毛細胞において血管新生関連因子の発現を誘導する	Reproductive Immunology and
279	三村 暢子(東京大学医学部附属)	女性診療科・産科、女性外科	急性肺水腫を生じた子宮筋腫合併、妊娠高血圧症候群の1例	東京産科婦人科学会誌 (2186-
280	馬場 聡(東京大学医学部附属病)	女性診療科・産科、女性外科	稽留流産時の大量出血・UAE後に子宮壊死・子宮内感染をきたし子宮全摘出となった	東京産科婦人科学会誌 (2186-
281	篠原 智子(東京大学 産婦人科)	女性診療科・産科、女性外科	子宮体癌根治術直後に、大動脈の壁在血栓による急性下肢動脈閉塞症をきたした1	東京産科婦人科学会誌 (2186-
282	荒川 知子(東京大学 医学部産科)	女性診療科・産科、女性外科	子宮内膜症合併卵巣膿瘍ドレナージ術後に、塩酸バンコマイシンによる急性尿細管	東京産科婦人科学会誌 (2186-
283	眞壁 友子(東京大学 医学部産科)	女性診療科・産科、女性外科	低用量エストロゲン・プロゲステン配合剤 (LEP)の副作用に関する検討	日本エンドメトリオーシス学会誌
284	福田 晋也(東京大学医学部附属)	女性診療科・産科、女性外科	妊娠後に診断され妊娠30週での分娩となった再生不良性貧血の一例および過去	関東連合産科婦人科学会誌 (2186-
285	秋葉 直也(東京大学医学部附属)	女性診療科・産科、女性外科	腹部打撲を機に漿膜下子宮筋腫茎部の断裂と腹腔内出血を認めた1例	東京産科婦人科学会誌 (2186-
286	篠原 智子(東京大学医学部附属)	女性診療科・産科、女性外科	羊水過多を契機に母児の筋強直性ジストロフィーの診断に至った1例	東京産科婦人科学会誌 (2186-
287	近藤健二	耳鼻咽喉科	【嗅覚障害臨床の最近の進歩】嗅覚障害の病態と治療の実際 感冒後嗅覚障害.	Progress in Medicine.
288	近藤健二	耳鼻咽喉科	【こんなときの対応法がわかる 耳鼻咽喉科手術ガイド】鼻副鼻腔の手術 嚢胞に対す	耳鼻咽喉科・頭頸部外科.
289	藤本千里	耳鼻咽喉科	【耳鼻咽喉科薬物療法2015】耳鼻咽喉科の疾患・症候別薬物療法 片頭痛関連めま	JOHNS. 2015;31(9):1227-
290	近藤健二、西畷大宣	耳鼻咽喉科	【自律神経をもう一度考える】病態・疾患と自律神経 嗅覚に自律神経系がどう関与	JOHNS. 2015;31:1020-1024
291	近藤健二	耳鼻咽喉科	【実地内科医を訪れる他科の疾患の日常診療と対処法-その2(産婦人科・泌尿器科	Aroma Research. 2015; 16:225-229
292	二藤隆春, 上羽瑠美, 後藤多嘉	耳鼻咽喉科	PGAシートを用いた声門上狭窄症の治療経験	耳鼻 2015; 61:260-268
293	二藤隆春	耳鼻咽喉科	音声障害	今日の治療指針. 2015:1549-1550
294	近藤健二、山嵜達也	耳鼻咽喉科	嗅覚とアンチエイジング	アンチエイジング医学の基礎と臨床
295	二藤隆春	耳鼻咽喉科	経口の輪状咽頭筋切断術	嚥下医学 2015;4:418-423

296	山岨達也	耳鼻咽喉科	サプリメントの機能性 感覚器	アンチエイジング医学の基礎と臨床
297	樫尾明憲、山岨達也	耳鼻咽喉科	小児の人工内耳のエビデンスは？	EBM耳鼻咽喉科・頭頸部外科の治療
298	山岨達也	耳鼻咽喉科	聴覚とアンチエイジング	アンチエイジング医学の基礎と臨床
299	樫尾明憲、山岨達也	耳鼻咽喉科	聴力年齢の評価	アンチエイジング医学の基礎と臨床
300	上羽瑠美, 横山明子, 岡田美	耳鼻咽喉科	とろみに関する医療従事者の認識と指導用パンフレット導入による意識変化	嚥下医学 2015;4(2):192-203
301	近藤健二、倉澤由香里	耳鼻咽喉科	鼻腔血管の解剖	耳鼻咽喉科・頭頸部外科.
302	岩崎真一	耳鼻咽喉科	めまいの病巣診断	ENTONI. 2015; 179:43-50
303	二藤隆春	耳鼻咽喉科	音声障害の問診 自覚症状と聴覚心理的評価のエビデンスは？	EBM耳鼻咽喉科・頭頸部外科の治療.
304	上羽瑠美	耳鼻咽喉科	加齢に伴う味覚や嗜好変化・嚥下機能低下と介護食・高齢者食品の開発	食品と開発. 2015;50(7):72-74
305	上羽瑠美, 横山明子, 荻野亜希	耳鼻咽喉科	経腸栄養剤に対するとろみ調整食品使用による粘性の経時的変化及び攪拌による	嚥下医学 2015;4(1):88-99
306	上羽瑠美, 横山明子, 荻野亜希	耳鼻咽喉科	経腸栄養剤へのとろみ調整食品使用に関するLine spread testによる検討	嚥下医学 2015;4(1):76-87
307	二藤隆春	耳鼻咽喉科	喉頭・下咽頭の手術 声帯麻痺 声帯内自家脂肪注入術	耳喉頭頸. 2015; 87:173-177
308	小村豪, 齊藤祐毅, 吉田昌史,	耳鼻咽喉科	甲状腺片薬を温存した喉頭全摘・咽喉食摘術症例の術後甲状腺機能について	頭頸部外科 2015;25:235-239
309	岩崎真一	耳鼻咽喉科	姿勢・歩行ーSomething new? 病態:前庭系機能障害	Clinical Neuroscience.
310	岩崎真一	耳鼻咽喉科	実地内科医の診療と専門医との連携の実際と留意点:耳鼻咽喉科疾患:めまい(良性)	Clinical Neuroscience.
311	松本 有	耳鼻咽喉科	生体リアルタイム蛍光共焦点顕微鏡によるドラッグデリバリーシステムの挙動解析	薬学研究的の進歩. 2015; 31:109-112
312	越智 篤	耳鼻咽喉科	聴覚の加齢変化とアンチエイジング	アンチエイジング医学の基礎と臨床
313	安藤瑞生	耳鼻咽喉科	特集:耳鼻咽喉科診療におけるリスクマネージメント セカンドオピニオンのリスク	JOHNS. 2015;31(10):1451-
314	江上直也, 岩崎真一, 藤本 千	耳鼻咽喉科	難治性メニエール病症例に対するステロイド鼓室内投与の治療効果についての検討	Equilibrium Research
315	上羽瑠美, 横山明子, 井口はる	耳鼻咽喉科	病態に応じた各種経腸栄養剤に対するとろみ調整食品の使用に関する検証	嚥下医学 2015;4(2):220-231
316	岩崎真一	耳鼻咽喉科	平衡感覚の加齢変化とアンチエイジング	アンチエイジング医学の基礎と臨床
317	伊藤 正道, 内藤 篤彦, 小室	循環器内科	iPS細胞を用いた難治性心臓疾患の治療戦略.	炎症と免疫. 2016;24(2):158-62.
318	赤澤 宏, 小室一成	循環器内科	【GPCR研究の最前線2016】GPCR機能の新展開【循環器】 アンジオテンシンII受容	医学のあゆみ. 2016;256(5):477-
319	熊谷 英敏, 池田 祐一, 小室	循環器内科	【RASのNew Playerをひもとく】AT1受容体のバイアスタゴニズム.	Angiotensin Research.
320	絹川 弘一郎	循環器内科	【わが国における植込み型VAD治療の現状】植込型VAD装着中の薬物治療.	日本医事新報. 2015(4764):33-9.
321	絹川 弘一郎	循環器内科	【わが国における補助人工心臓の現状と今後の展開】補助人工心臓の適応(医学的)	今日の移植. 2015;28(3):346-55.
322	小室 一成, 宮内 克己, 迫村	循環器内科	【狭心症・虚血性心疾患 実地診療の基本とQOLならびに予後改善をめざすマネジメ	Medical Practice. 2015;32(10):1593-
323	藤原 隆行, 武田 憲文, 小室	循環器内科	【再生医学と血管】血管再生のメカニズム.	血管医学. 2016;17(1):9-15.
324	伊藤 正道, 内藤 篤彦, 小室	循環器内科	【再生医療-新たな医療を求めて-】臨床応用を目指した基礎研究 疾患モデル細胞、	日本臨床. 2015;73(増刊5 再
325	川田 貴之, 小室 一成	循環器内科	【最新の高血圧の実地診療 知っておくべき最新情報とその活かしかた】セミナー 実	Medical Practice. 2015;32(5):789-93.
326	武田 憲彦	循環器内科	【酸素シグナルが細胞機能を揺り動かす!NormoxiaからHypoxiaまで全身で行われ	実験医学. 2015;33(11):1736-
327	伊藤 正道, 内藤 篤彦, 小室	循環器内科	【疾患特異的iPSの基礎と臨床】疾患特異的iPSの臨床 循環器疾患における現況.	Surgery Frontier. 2015;22(2):137-41.
328	絹川 弘一郎	循環器内科	【重症心不全とデバイス治療】適正な患者選択とは?	循環制御. 2015;36(1):2-3.

329	絹川 弘一郎	循環器内科	【循環器疾患のtrends & topics 2015】左室補助人工心臓の最前線.	Mebio. 2015;32(7):18-25.
330	波多野 将	循環器内科	【循環器疾患のtrends & topics 2015】肺高血圧治療の新展開.	Mebio. 2015;32(7):48-54.
331	真鍋 一郎	循環器内科	【循環器疾患の予後改善を目指して】慢性炎症がもたらす病態 生活習慣病・心血管	循環plus. 2015;15(12):2-6.
332	伊藤 正道, 内藤 篤彦, 小室	循環器内科	【心筋再生の現状と展望】iPS細胞を用いた拡張型心筋症の病態解析.	最新医学. 2015;70(8):1683-8.
333	絹川 弘一郎	循環器内科	【心不全を徹底理解!基本編-ナースが知っておきたい・おさえておきたい心不全の基	循環器ナーシング. 2015;5(9):80-7.
334	新田 大介, 絹川 弘一郎	循環器内科	【臓器浮腫・うっ血の病態とその治療法】心臓の浮腫・うっ血の病態と治療法.	Fluid Management Renaissance.
335	藤生 克仁, 真鍋 一郎	循環器内科	【臓器連関】心腎連関の機序の最新の知見	腎・高血圧の最新治療.
336	波多野 将	循環器内科	【肺高血圧症 最新の動向とその実地診療への活用】この症例から何を学ぶか、免疫	Medical Practice. 2015;32(12):2038-
337	波多野 将	循環器内科	【肺高血圧症 最新の動向とその実地診療への活用】進歩した肺高血圧症の病態解	Medical Practice. 2015;32(12):1967-
338	波多野 将	循環器内科	【肺高血圧症・肺血栓塞栓症 見逃すことなく最適の治療へ】肺循環にかかわる疾患	診断と治療. 2015;103(6):725-
339	波多野 将	循環器内科	【肺高血圧症と右心機能】臨床 右心機能に着目した肺高血圧症の治療戦略.	Cardiac Practice. 2015;26(2):105-9.
340	新田 大介, 絹川 弘一郎	循環器内科	【病態生理と症例から学ぶ輸液ガイド】(第4章)症例から学ぶ輸液療法とその管理の実	Medical Practice. 2015;32(臨増):297-
341	武田 憲彦	循環器内科	【慢性炎症制御による加齢関連疾患治療の展望】低酸素シグナルによる慢性炎症	別冊Bio Clinica: 慢性炎症と疾患.
342	波多野 将	循環器内科	【膠原病に伴う循環器疾患】強皮症に伴う肺高血圧症の病態と治療.	呼吸と循環. 2015;63(11):1063-
343	波多野 将	循環器内科	1から学ぶ肺高血圧症(PH)飛躍的に改善したPHの予後について、最新の診断と治療	血栓と循環. 2015;23(3):218-24.
344	波多野 将, 和田 智貴	循環器内科	ショック状態で救急搬送された高齢女性.	レジデントノート. 2015;17(3):602-7.
345	波多野 将	循環器内科	高血圧・肺高血圧 膠原病性肺高血圧症の診断と治療.	Annual Review循環器.
346	絹川 弘一郎, 重症心不全治	循環器内科	重症心不全に対する先進医療においていかに多職種で構成されるチーム医療を確	東京都医師会雑誌.
347	小山 雄広, 武田 憲彦	循環器内科	循環器の生物学 心臓線維芽細胞の組織修復の新しい機序.	Annual Review循環器. 2016;2016:38-
348	天尾 理恵, 山口 正貴, 安井 健,	循環器内科	心移植患者における術前リハビリテーションの重要性 術後から自宅退院までの検	心臓リハビリテーション.
349	波多野 将	循環器内科	心臓移植レシピエント候補患者における臓器障害の可逆性の評価.	今日の移植. 2015;28(4):424-32.
350	上田和孝, 春田 裕典, 金子光	循環器内科	心嚢液貯留を契機に診断された原発性Sjogren症候群の2例.	心臓. 2015;47(6):732-8.
351	河原崎 秀一, 小室 一成	循環器内科	心不全 心不全に対する遺伝子治療の可能性 CUPID試験.	Annual Review循環器. 2016;2016:75-
352	高橋 政夫, 赤澤 宏, 小室 一	循環器内科	心不全 老人性全身性アミロイドーシスの病態と治療.	Annual Review循環器.
353	絹川 弘一郎	循環器内科	心不全患者におけるバソプレシン拮抗薬の有効性と安全性.	循環器内科. 2015;78(2):208-14.
354	波多野 将	循環器内科	注目の新薬 リオシグアト(アデムパス).	診断と治療. 2015;103(4):533-7.
355	小出大介, 青木 武典, 劉 慕和,	循環器内科	日本・カナダ・台湾の病院におけるBSCと情報システムの関連性について.	医療バランス・スコアード研究
356	絹川 弘一郎	循環器内科	補助人工心臓治療における今後の展望.	日本人工臓器学会教育セミナー.
357	牧 尚孝, 皆月 隼, 稲葉 俊郎,	循環器内科	目でみる肺高血圧症 肺高血圧症における画像診断.	Pulmonary Hypertension
358	立石敬介, 山本 恵介, 小池和	消化器内科	膵がんの発生進展を制御するエピゲノム修飾酵素	日本膵臓学会誌 膵臓 Vol. 31
359	新井真理, 岩中 督	小児外科	小児消化器疾患の内視鏡手術	日本医師会雑誌 144巻4号
360	古村 眞, 古村 浩子, 石丸 哲	小児外科	気管 気管支軟化症の原因 気管 気管支軟化症に対するサイトカイン療法の開発	日本小児呼吸器学会雑誌2015; 26(1):
361	鈴木 完, 井川 靖彦, 藤代	小児外科	尿路感染に伴う敗血症性ショックを契機に診断されたHDR(hypoparathyroidism-	日本小児泌尿器科学会雑誌 24(1) 52-

362	藤乗 嗣泰	腎臓・内分泌内科	“寿命と腎臓”の質問にお答えします 腎臓と寿命の関係にも”ゾウの時間ネズミの時間	腎臓 (0911-9752)38巻 Page38-
363	南学 正臣	腎臓・内分泌内科	CKDとその合併症の予防と対応	日本腎臓器疾患予防医学研究会誌
364	土井 研人	腎臓・内分泌内科	Critical Care Nephrologyの概念と今後の方向性	日本腎臓学会誌 (0385-2385)57巻2
365	南学 正臣, 吉田 瑤子, 加藤 秀樹	腎臓・内分泌内科	TMA HUSとatypical HUS	日本内科学会雑誌 (0021-5384)104巻9
366	吉原 理紗, 中村 元信, 南学 正臣	腎臓・内分泌内科	ネフローゼ症候群	日本臨床(0047-1852)別冊免疫症
367	岩上 将夫, 土井 研人, 康永 秀	腎臓・内分泌内科	急性腎代替療法を要した敗血症性急性腎障害と非敗血症性急性腎障害の特徴と予	日本急性血液浄化学会雑誌(2185-
368	吉田 瑤子, 加藤 秀樹, 南学 正臣	腎臓・内分泌内科	血栓性微小血管症	内科(0022-1961)115巻6号
369	田中 哲洋, 南学 正臣	腎臓・内分泌内科	腎線維化と低酸素の薬物療法	日本腎臓学会誌 (0385-2385)57巻7
370	菅原 真衣, 川上 貴久, 南学 正臣	腎臓・内分泌内科	代謝による酸負荷	腎と透析(0385-2156)79巻2号
371	菅原 真衣, 田中 真司, 田中 哲	腎臓・内分泌内科	低酸素ストレスと腎障害	Angiology Frontier(1347-
372	南学 正臣	腎臓・内分泌内科	転写調節因子をターゲットとした新規治療腎性貧血と糖尿病における腎障害	東京都医師会雑誌 (0040-8956)69巻1
373	齊藤 久さこ, 田中 真司, 田中 哲洋, 南学 正臣	腎臓・内分泌内科	糖尿病の食事療法・経口薬治療 SGLT2阻害薬の作用機序、種類と使用方法	腎と透析(0385-2156)78巻増刊
374	齊藤 久さこ, 田中 哲洋, 南学 正臣	腎臓・内分泌内科	糖尿病性腎症の最新知見と問題点 糖尿病性腎症の最新治療	jmed mook42号 Page178-
375	花房 規男, 山本 裕子, 市村 理, 一色 玲, 土井 研人, 住田 真	腎臓・内分泌内科	二重濾過血漿分離交換法(DFPP)と凝固因子第13因子(FXIII)の低下との関連	日本血液浄化技術学会会誌(2185-
376	藤澤 まどか, 吉田 瑤子, 加藤 秀樹, 南学 正臣	腎臓・内分泌内科	尿中L-FABP測定によるICU患者の腎長期予後の予測	日本急性血液浄化学会雑誌(2185-
377	加藤 秀樹, 南学 正臣	腎臓・内分泌内科	非典型溶血性尿毒症症候群	臨床免疫・アレルギー科(1881-
378	菅原 真衣, 田中 真司, 田中 哲	腎臓・内分泌内科	保存期CKD患者の特徴と貧血管理目標	医学のあゆみ (0039-2359)256巻
379	土肥 浩太郎, 加藤 秀樹, 南学 正臣	腎臓・内分泌内科	慢性腎臓病	腎と透析(0385-2156)79巻1号
380	柴山 修.	心療内科	【『ストローク』と『ディスカウント』-本当の使い方-】 無条件の肯定的なストロークに気	内科(0022-1961)115巻6号
381	中原 理佳, 清水 研.	心療内科	【うつ病の危険因子と予防】 がん患者の抑うつ.	交流分析研究. 2015;40(2):66-75
382	中原 理佳.	心療内科	【がんサバイバーのリハビリテーション】 がんサバイバーシップ 精神腫瘍科の立場か	臨床精神医学. 2015;44(4):541-
383	森屋 淳子.	心療内科	【プライマリ・ケアで一步踏み出すうつ病診療 コンサートを考えるその前に、まずはこ	MEDICAL REHABILITATION Gノート. 2015;2(4):562-569
384	大谷 真.	心療内科	IBDチーム医療における精神科・心療内科医の役割.	IBD Research. 2015;9(4):243-248
385	柴山 修, 堀江 武, 樋口 裕二,	心療内科	SSRIと認知行動療法の併用療法が奏効した強迫性障害を主たる病態とした特定不能	心身医学. 2015;55(5):432-
386	瀧本 禎之, 金井 良晃, 海津 未希	心療内科	エシックスの知恵袋(最終回) この鎮静、倫理的に大丈夫でしょうか….	緩和ケア. 2015;25(5):440-
387	瀧本 禎之, 金井 良晃, 海津 未希	心療内科	エシックスの知恵袋(第4回) 体調も気持ちも不安定な終末期の患者さんに、「予測さ	緩和ケア. 2015;25(3):246-
388	瀧本 禎之, 金井 良晃, 海津 未希	心療内科	エシックスの知恵袋(第5回) 認知症の患者さんに繰り返される肺炎治療…。ほんとうに	緩和ケア. 2015;25(4):330-
389	吉内一浩.	心療内科	がん医療におけるせん妄のEBM.	心身医学. 2015;55:405-409
390	原島沙季, 吉内一浩.	心療内科	がん患者の精神症状とサイコオンコロジーによるマネジメントの実際-不安・抑うつ症	Depression Strategy. 日本頭痛学会誌. 2015;42(1):76-77
391	端詰勝敬.	心療内科	心療内科医はどのように頭痛をとらえているのか.	日本頭痛学会誌. 2015;144(5):981-
392	○端詰勝敬, 藤田欣也, 中村祐	心療内科	精神疾患と頭痛.	臨床栄養. 2015;127(7):901-
393	平出麻衣子, 榎野真美.	心療内科	摂食障害の治療.	

395	津久井要.	心療内科	海外派遣社員のメンタルヘルス対策.	交通医学. 2015;69(3-4):67-
396	布留川貴也, 大谷 真.	心療内科	再栄養症候群.	臨床栄養. 2015;127(7):922-
397	柴山修, 吉内一浩.	心療内科	初心者・心理職のための臨床の知 ここがポイント! 病態編(第3回) 胸痛について.	心身医学 2015;55:884-890
398	瀧本 禎之.	心療内科	心身医学で知っておきたい臨床倫理の基礎と実践(第7回) 臨床倫理におけるナラ	心身医学. 2015;55(5):439-
399	瀧本 禎之.	心療内科	心身医学で知っておきたい臨床倫理の基礎と実践(第8回) 臨床倫理におけるナラ	心身医学. 2015;55(8):975-
400	瀧本 禎之.	心療内科	心身医学で知っておきたい臨床倫理の基礎と実践(第9回) 臨床倫理の実践 治療	心身医学. 2015;55(11):1267-
401	安藤哲也, 石川俊男.	心療内科	心身医学の最新の視点. 特集 明日からできる摂食障害の診療 I.	精神科臨床サービス. 2015;15(3):307-
402	石澤哲郎.	心療内科	心拍変動・血圧変動を用いた循環器系自律神経機能の定量的測定.	心身医学. 2015;55(8):949-
403	吉内一浩.	心療内科	心療内科医が行動医学コアカリキュラムに寄与する役割.	心身医学. 2016;56:40-45
404	津久井要.	心療内科	身体化と機能性身体症候群、ナラティブ・アプローチ.	日本心療内科学会誌.
405	安藤哲也.	心療内科	摂食障害の遺伝子研究.	脳21. 2015;18(2):158-
406	下平智史, 大谷 真.	心療内科	知っておきたい食行動の障害.	New Diet Therapy. 2015;30(4):77-82
407	松岡美樹子, 原島沙季, 米田	心療内科	知能検査の施行が治療方針変更に有用であった神経性過食症患者の1例.	心身医学. 2016;56(1):52-57
408	瀧本禎之.	心療内科	臨床倫理の実践:一疼痛コントロールのケース-Practice of Clinical Ethics : the Case of	心身医学. 2016;56(2):165-
409	谷口優樹, 田中栄	整形外科	【ロコモティブシンドロームのすべて】ロコモティブシンドロームの基礎 運動器を構成す	日本医師会雑誌 144
410	田中栄	整形外科	【ロコモティブシンドロームのすべて】ロコモティブシンドロームを構成する疾患 関節リ	日本医師会雑誌 144
411	松本 卓巳, 田中栄	整形外科	【関節リウマチの骨・軟骨病変】関節リウマチの骨・軟骨病変の最新の手術療法.	Clinical Calcium 25
412	松原 全宏, 田中栄	整形外科	【高齢者に対する精液外科分野における手術の実際と適応】高齢期における運動器疾	Geriatric Medicine 53
413	小俣 康徳, 田中栄	整形外科	【骨粗鬆症に併存する他科疾患～その骨病態と対応】	関節リウマチ. 骨粗鬆症治療 14
414	田中 栄	整形外科	【骨粗鬆症の予防と治療update】新しい薬剤の評価.	整形・災害外科 58
415	小俣 康徳, 田中栄	整形外科	【骨免疫学と臨床応用】関節リウマチと骨改造.	臨床免疫学 ギー科64
416	乾 洋, 武富 修治, 山神 良太,	整形外科	Bicompartmental knee arthroplastyの術中kinematics UKA・TKAと比較して	日本人工関節学会誌 45巻 Page765-
417	田中栄	整形外科	RANKL-RANKクロストーク 関節リウマチと抗RANKL抗体.	O.li.v.e. 6
418	武富 修治, 乾 洋, 武富 修治,	整形外科	解剖学的前十字靭帯再建術後2年でのMRI評価-膝屈筋腱と骨付き膝蓋腱との比	JOSKAS 40巻1号 Page120-121
419	篠田 裕介, 澤田 良子, 津田 祐	整形外科	転移治療戦略とがんのリハビリテーション 診療科横断的なキャンサーボード(CB)診療	日本整形外科学会雑誌 89
420	乾洋、武富修治、真田高起、	整形外科	予防的抗凝固剤使用の現状と課題 UKAにおけるVTE予防 抗凝固療法の重要性	日本人工関節学会誌 4
421	河田学、武富修治、乾洋、真田	整形外科	脛骨内側顆に生じた脆弱性骨折の2例	JOSKAS 40巻2号 Page430-431
422	笠井 清登, 門脇 裕美子, 桑	精神神経科	こころのレジリエンス社会の構築へ: 災害こころのケア活動から学んだこと	学術の動向 20(7), 33-43, 2015
423	池亀 天平, 文東 美紀, 笠井	精神神経科	精神疾患におけるエピゲノム研究	分子精神医学 15(2), 87-94, 2015
424	田中智大, 國土典宏	臓器移植医療	C型肝炎・肝細胞がんに対する肝移植 東京大学附属病院の経験を踏まえて	今日の移植 28(4): 448-454 2015
425	長田梨比人, 赤松延久, 菅原寧	臓器移植医療	急性肝不全に対する肝移植と東京大学病院における現状	今日の移植 28(4): 433-440 2015
426	谷 圭吾, 赤松延久, 阪本良弘,	臓器移植医療	成人脳死肝移植における marginal donor	移植48:357-363, 2015
427	木暮 宏史, 辻野 武, 伊佐山	臓器移植医療	特集/難治な胆道良性疾患の対処法を考えるIII. 術後胆道損傷・狭窄4. 胆道再建後	肝胆臓71(3):521- 526, 2015

428	石原聡一郎, 須並英二, 渡邊聡	大腸肛門外科	State of the art 大腸癌低侵襲手術の新たな展開を目指して ロボット手術	大腸癌perspective. 2(3): 206-211.
429	石神浩徳, 北山丈二, 山口博紀	大腸肛門外科	胃癌に対する腹腔内化学療法	臨牀消化器内科. 30(7): 899-902.
430	石神浩徳, 北山丈二, 山口博紀	大腸肛門外科	腹膜播種陽性胃癌に対する腹腔内化学療法	外科, 77(10): 1148-1152. 2015
431	杉山拓也, 山内敏正, 田丸新	糖尿病・代謝内科	In vitro での機能的ヒトβ細胞分化誘導法。	内分泌・糖尿病・代謝内科 41(1) p 63-
432	庄嶋伸浩, 門脇孝	糖尿病・代謝内科	人類の進化と糖尿病。	糖尿病の理学療法 2-8
433	窪田直人, 植木浩二郎, 門脇孝	糖尿病・代謝内科	【「解明」から「制御」へ 肥満症のメディカルサイエンス】肥満がもたらす病態生理の	実験医学増刊 34(2)
434	岡崎由希子	糖尿病・代謝内科	【II.糖尿病の合併症】6. 糖尿病神経障害とは	東大病院糖尿病教室(医薬ジャーナル
435	岡崎由希子	糖尿病・代謝内科	【IX.低血糖とシックデイについて】1. 低血糖とその対処	東大病院糖尿病教室(医薬ジャーナル
436	岡崎由希子	糖尿病・代謝内科	【IX.低血糖とシックデイについて】2. シックデイとは	東大病院糖尿病教室(医薬ジャーナル
437	添田光太郎, 植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	【I. 糖尿病の病態をどう捉える】高インスリン血症は発癌リスクでもある。糖尿病になる	心血管事故を予防するための糖尿病
438	門脇孝, 窪田直人	糖尿病・代謝内科	【SGLT2阻害薬を再評価する-明らかに なってきた効果と副作用-】SGLT2阻害薬	Progress in Medicine36(2) 249-
439	笹子敬洋, 植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	【インスリン抵抗性~メカニズムに基づく新しい治療法の探求~】加齢とインスリン抵	Diabetes Frontier 26巻3号 331-336、
440	窪田直人	糖尿病・代謝内科	【ガイドラインに基づく糖質調整とその実 際】各種ガイドラインからみた糖質調整食の	内分泌・糖尿病・代謝内科 42(2) 80-83
441	窪田直人	糖尿病・代謝内科	【これだけは知っておきたい検査のポイント -第9集】血液生化学検査など 糖代謝検	Medicina 52(4) 235-237
442	窪田直人	糖尿病・代謝内科	【これだけは知っておきたい検査のポイント -第9集】血液生化学検査など 糖代謝検	Medicina 52(4) 231-234
443	窪田直人	糖尿病・代謝内科	【これだけは知っておきたい検査のポイント -第9集】血液生化学検査など 糖代謝検	Medicina 52(4) 255-257
444	窪田直人	糖尿病・代謝内科	【これだけは知っておきたい検査のポイント -第9集】血液生化学検査など 糖代謝検	Medicina 52(4) 258-261
445	羽田裕亮, 山内敏正, 門脇孝	糖尿病・代謝内科	【スタチン投与後のレジデュアル・リスク】残 存リスク改善のための糖尿病患者に対する	呼吸と循環63(9) 871-878
446	岩部真人, 山内敏正, 岩部美	糖尿病・代謝内科	【ミトコンドリアを鍛える】アディポネクチン受 容体シグナルの運動模倣効果とミトコンドリ	アンチ・エイジング 医学11巻3号 378-
447	植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	【安全に使いこなすSGLT2阻害薬】SGLT2 阻害薬の副作用とその対策	日本医事新報 4754) 20-24
448	高本偉碩	糖尿病・代謝内科	【遺伝因子同定から発症機序解明と治療法 開発に向けて】膵β細胞において2型糖尿	内分泌・糖尿病・代謝内科 40(4) 290-
449	窪田直人, 門脇孝	糖尿病・代謝内科	【基礎講座 インスリン作用のKey Molecules】インスリン受容体基質(IRS)とそ	Diabetes Frontier 26(2) 221-226
450	笹子敬洋, 植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	【筋骨格系とエネルギー代謝】メタボリック シンドロームとロコモティブシンドローム	THE BONE 29巻1号 23-27
451	弘世貴久, 山田悟, 鈴木亮, 内	糖尿病・代謝内科	【座談会】今こそ、糖尿病治療の温故知新 食事療法、SU薬、1型糖尿病治療の歴史と	内科115(4) 639-650, 2015.4
452	小原希実, 安井健, 伊地知秀	糖尿病・代謝内科	【疾患別・臓器別のリハビリテーションと栄 養】肝臓周術期リハビリテーションにおける	臨床栄養 126(5) 581-587
453	羽田裕亮, 山内敏正, 門脇孝	糖尿病・代謝内科	【循環器内科医が知っておくべき糖尿病治 療薬】チアグリジン薬の作用、エビデンス、	心臓47(8) 951-957
454	門脇孝	糖尿病・代謝内科	【新時代の臨床糖尿病学(上)-より良い血糖 管理をめざして-】糖尿病疾患概念および	日本臨床74巻増刊 1 新時代の臨床糖
455	岡崎由希子, 植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	【新時代の臨床糖尿病学(上)-より良い血 糖管理をめざして-】VIII. 日本人患者を対	日本臨床社 663-666
456	門脇孝	糖尿病・代謝内科	【診断から治療へのシームレスなフォロー・ アップ-診断と病状把握のマーカーとその	糖尿病UP- DATE31号 092-
457	脇裕典, 山内敏正, 門脇孝	糖尿病・代謝内科	【生活習慣病と栄養~カルシウム・ミネラル 管理の側面より~】エビジェネティクスと生	Clinical Calcium 26(3) 426-432
458	坂田道教, 植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	【徹底理解!SGLT2阻害薬】エビデンスによる 徹底比較!SGLT2阻害薬はココが違う!	薬局 66(7) 2110-2116
459	山内敏正	糖尿病・代謝内科	【糖のホメオスターシス-最近の知見】ア ディポロン インスリン抵抗性・耐糖能改善、	糖尿病診療マス ター 13(5) 424-
460	庄嶋伸浩, 門脇孝	糖尿病・代謝内科	【糖尿病と腎疾患2015】糖尿病総論 糖尿 病の病因と病態。	腎と透析78巻増刊 号 6-9

461	窪田直人、門脇孝	糖尿病・代謝内科	【糖尿病治療新時代-糖尿病治療のupdate-】新しい糖尿病治療薬の現状と開	日本臨床 2091-2095
462	杉山拓也、山内敏正、門脇孝	糖尿病・代謝内科	【糖尿病治療薬～薬剤選択とその根拠～】ピオグリタゾン	月刊レジデント9巻2号 24-31
463	窪田直人	糖尿病・代謝内科	【糖尿病治療薬の作用秩序と病態からみた選択】チアゾリジン薬。	糖尿病治療薬の最前線 第2版
464	羽田裕亮、山内敏正、門脇孝	糖尿病・代謝内科	【肥満症の改善はなぜ、難しいのか?～ここまで明らかになった!病態解明と治療の	日本内科学会雑誌 104(4)735-741
465	羽田裕亮、門脇孝	糖尿病・代謝内科	【肥満症の治療】治療薬の開発と現状	臨床栄養127(4) 446-450
466	羽田裕亮、山内敏正、門脇孝	糖尿病・代謝内科	【目指せ!肥満症のトータルケア-減量に苦戦する患者について考える】肥満の治療	内科117巻1号 83-86
467	窪田直人、門脇孝	糖尿病・代謝内科	【薬物療法】SGLT2阻害薬(腎臓での糖の吸収を遅くする薬)。	東大病院糖尿病教室(医薬ジャーナ
468	笹子敬洋、植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	【老化制御のメカニズム解明と加齢関連疾患の治療方策】糖尿病と老化 インスリン	Medical Science Digest 41(6) 246-
469	笹子敬洋、植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	1章 ホルモン作用と代謝調節 12 骨格筋。	糖尿病学, 102-108, 西村書店
470	門脇孝	糖尿病・代謝内科	2型糖尿病とその合併症の分子基盤に関する研究	糖尿病合併症29(2) 139-145
471	植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	2型糖尿病による大血管障害と早期介入法	心臓 47(6) 765-768
472	門脇孝	糖尿病・代謝内科	2型糖尿病の分子機構と治療戦略。	日本医事新報4753号 42-48
473	寺井愛、植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	DPP-4阻害薬の大規模臨床試験	糖尿病最新の治療 2016-2018(南江
474	杉山拓也、山内敏正、門脇孝	糖尿病・代謝内科	IGFBP。	サイトカイン・増殖因子キーワード事
475	杉山拓也、山内敏正、植木浩二	糖尿病・代謝内科	IGF受容体。	サイトカイン・増殖因子キーワード事
476	杉山拓也、山内敏正、植木浩二	糖尿病・代謝内科	IGR, insulin。	サイトカイン・増殖因子キーワード事
477	笹子敬洋	糖尿病・代謝内科	II.糖尿病の合併症 1.糖尿病の合併症とは 4.糖尿病腎症とは。	東大病院糖尿病教室, 17,20, 医薬
478	鈴木亮	糖尿病・代謝内科	Message from Overseas ADA2015参加印象記	Diabetes Update 4(4) 52-54
479	窪田直人、門脇孝	糖尿病・代謝内科	SGLT2阻害薬	診断と治療104(増刊号)
480	添田光太郎、植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	SGLT2阻害薬が拓く糖尿病治療の明日への希望。	MEDICAMENT NEWS (2200): 8-9
481	植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	SGLT2阻害薬の安全性について-発売後1年の使用経験を踏まえて-	Diabetes Horizons-Practice and
482	岩部真人	糖尿病・代謝内科	アディポネクチン/アディポネクチン受容体シグナルの全容解明に向けた挑戦	最新医学 71(3) 441-451
483	杉山拓也、山内敏正、門脇孝	糖尿病・代謝内科	アディポネクチンとレプチン。	サイトカイン・増殖因子キーワード事
484	岩部美紀、山内敏正、岩部真	糖尿病・代謝内科	アディポネクチンの生理機能 肥満・2型糖尿病治療に向けて	実験医学34(2) 221-227
485	岩部真人、山内敏正、岩部美	糖尿病・代謝内科	アディポネクチンの分泌機構と全身の作用	新時代の臨床糖尿病学(上)-より良
486	岩部美紀、山内敏正、岩部真	糖尿病・代謝内科	アディポネクチン受容体アゴニスト	新時代の臨床糖尿病学(上)-より良
487	岩部真人、山内敏正、岩部美	糖尿病・代謝内科	アディポネクチン受容体を標的とした生活習慣病治療	Clinical Calcium 26(3) 413-418
488	岩部美紀、山内敏正、岩部真	糖尿病・代謝内科	アディポネクチン受容体機能低下に伴う臓器記憶の変容	血管医学 16(4) 345-352
489	山内敏正	糖尿病・代謝内科	アディポロン。	糖尿病診療マスター 13(5) 424-428
490	笹子敬洋、植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	インスリン・IGF-1シグナルと老化・寿命制御	アンチエイジング医学の基礎と臨床, 日
491	笹子敬洋、植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	インスリン・IGF-1作用と骨格筋量調節	The Lipid 27, 29-33
492	笹子敬洋、植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	インスリン作用のKey Molecules Akt	Diabetes Frontier 26(5), 609-612
493	窪田直人、門脇孝	糖尿病・代謝内科	インスリン作用のKey Molecules インスリン受容体基質(IRS)とその役割。	Diabetes Frontier 26(2) 221-226

494	鈴木亮、門脇孝	糖尿病・代謝内科	エネルギー代謝の理解-糖質、脂質、蛋白質	アンチエイジング医学の基礎と臨床 第
495	羽田裕亮、山内敏正	糖尿病・代謝内科	チアゾリジン薬が効果的な患者像は？	いま知っておきたい経口糖尿病治療薬
496	小林正稔、植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	チアゾリジン薬を知る Q43チアゾリジン薬が効果的な患者像について教えて下さい、	糖尿病治療薬クニカルクエスチョン
497	高本偉碩	糖尿病・代謝内科	メタボリックシンドロームの診断と管理	日本内科学会雑誌105巻臨時増刊号
498	岡崎啓明	糖尿病・代謝内科	悪性腫瘍	【東大病院 糖尿病教室】 医薬ジャー
499	岩部真人	糖尿病・代謝内科	運動模倣薬の開発	Medical Science Digest 42(1) 29-32
500	泉田欣彦	糖尿病・代謝内科	肝内グリコーゲンセンサーと脂肪分解をつなぐ神経性飢餓応答	最新医学第70巻第10号
501	泉田欣彦	糖尿病・代謝内科	飢餓応答を制御する肝グリコーゲンセンサーの探索～新しい代謝制御へのプロ	BIO Clinica 30巻14号 1428-1431
502	植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	研究活動のあり方 倫理行動規範の意義と意味	Diabetes Journal: 糖尿病と代謝
503	岡崎啓明	糖尿病・代謝内科	原発性高カイトミクロン血症の成因と病態における最新の知見.	Pharma Medica 33(8):9-13, 2015
504	鈴木亮	糖尿病・代謝内科	高齢者の糖尿病薬物治療の課題と対策 認知機能低下	糖尿病の最新治療 6(4) 196-202
505	大江真琴, 永井覚, 池田真理,	糖尿病・代謝内科	高齢糖尿病患者における血糖自己測定導入の困難 (Difficulties of the introduction of	看護理工学会誌2巻3号164-173
506	岩部真人、山内敏正、岩部美	糖尿病・代謝内科	骨髄の脂肪組織は内分泌器官であり、カロリー制限時の血中アディポネクチン濃度の	Cardio-Real Diabetes 4(2) 41-
507	羽田裕亮、門脇孝	糖尿病・代謝内科	治療薬の開発と現状	臨床栄養127(4) 446-40
508	脇裕典, 野見山崇, 矢部大介,	糖尿病・代謝内科	新しい治療法、未来の糖尿病診療について	さかえ: 月刊糖尿病ライフ 56(1) 8-13
509	笹子敬洋、門脇孝	糖尿病・代謝内科	総論II 分子生物学からみる糖尿病 インスリン分泌・作用、インスリン抵抗性、血糖調整	糖尿病の理学療法, 9-20, メジカル
510	高本偉碩	糖尿病・代謝内科	耐糖能異常・糖尿病	健康運動指導士養成講習会テキスト
511	高本偉碩	糖尿病・代謝内科	耐糖能異常・糖尿病	健康運動指導士養成講習会テキスト
512	高本偉碩	糖尿病・代謝内科	大血管症(動脈硬化性疾患)も重大な合併症。	東大病院 糖尿病教室(医薬ジャーナ
513	高本偉碩、門脇孝	糖尿病・代謝内科	第2章 糖尿病の概念・疫学・診断・成因・病態【1概念】。	糖尿病学(西村書店) 134-138
514	植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	第3次対糖尿病5年計画	Diabetes Journal. 糖尿病と代謝 (協
515	杉山拓也(翻訳)、田丸新一	糖尿病・代謝内科	中心性肥満と体重調節に相関が認められた、一塩基多型とDNAメチル化マーカー。	栄養学レビュー 23(4) p277-300
516	鈴木亮	糖尿病・代謝内科	中枢神経におけるインスリン作用とその破綻	新時代の臨床糖尿病学(上) 日本臨牀
517	高本偉碩	糖尿病・代謝内科	糖尿病	イヤートート TOPICS 2016-
518	窪田直人、門脇孝	糖尿病・代謝内科	糖尿病 基礎分野での進歩 SGLT2阻害薬による糖脂質代謝変化とその分子機構	Annual Review糖尿病・代謝・内分泌
519	高本偉碩	糖尿病・代謝内科	糖尿病。イヤートートTOPICS 2015-2016	イヤートート (MEDICMEDIA)
520	高本偉碩	糖尿病・代謝内科	糖尿病。診療ガイドラインUP-TO-DATE 2016-2017	メディカルレビュー社 354-361
521	鈴木亮、門脇孝	糖尿病・代謝内科	糖尿病とアンチエイジング 糖尿病と中枢神経系・認知症。	糖尿病合併症29(2) 147-149
522	窪田直人、井上真理子、門脇孝	糖尿病・代謝内科	糖尿病と認知症-成因、病態、治療のupdate-)糖尿病による認知症発症のメカニ	Progress in Medicine 1417-
523	鈴木亮	糖尿病・代謝内科	糖尿病における認知症の発症機序	認知症の最新治療 6(1) 9-13
524	・植木浩二郎、荒井秀典、荒木脇裕典、山内敏正、門脇孝	糖尿病・代謝内科	糖尿病にとって、サルコペニアはなぜ、どのように問題となるのか。 Diabetes Strategy	Diabetes Strategy 5(2) 53-67
525	脇裕典, 山内敏正, 門脇孝	糖尿病・代謝内科	糖尿病のエピゲノム研究の展開	Diabetes Journal 糖尿病と代謝 44(1)
526	森田あい、植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	糖尿病の三次予防-糖尿病患者の予後を改善するために-	プラクティス32(5) 552-558

527	高本偉碩	糖尿病・代謝内科	糖尿病の疾患概念と診断基準の歴史	診断と治療 増刊号「糖尿病治療の現
528	植木浩二郎	糖尿病・代謝内科	糖尿病学	西村書店
529	高橋美奈子, 野口博史, 大江真	糖尿病・代謝内科	糖尿病患者の足部筋力と足底圧・せん断力・腰部足部角速度の関係 4症例における	看護理工学会誌2巻3号 157-163
530	鈴木亮, 門脇孝	糖尿病・代謝内科	糖尿病合併症から考える薬物療法 肥満症に対する薬物療法。	糖尿病合併症29巻1号 84-86
531	高本偉碩, 門脇孝	糖尿病・代謝内科	糖尿病治療薬	治療薬ハンドブック2016 (じほう) 625-
532	高本偉碩	糖尿病・代謝内科	糖尿病足病変について。	東大病院 糖尿病教室(医薬ジャーナ
533	山内敏正	糖尿病・代謝内科	特集 遺伝子同定から発症機序解明と治療法開発に向けて 特集にあたって。	内分泌・糖尿病・代謝内科 40(4) 249-
534	門脇孝, 荒木栄一, 税所芳史,	糖尿病・代謝内科	肥満での膵β細胞量の調整能とその機序、2型糖尿病の発症予防研究の現況と展	Islet Equality4巻4号 5-16
535	青山倫久, 脇裕典, 山内敏正,	糖尿病・代謝内科	肥満関連ゲノム領域とFTO/IRX3の関連と意義。	内分泌・糖尿病・代謝内科40巻4号
536	羽田裕亮, 山内敏正, 門脇孝	糖尿病・代謝内科	肥満症の薬物療法。	日本内科学会雑誌104(4) 735-741
537	山内敏正, 岩部真人, 細江隼,	糖尿病・代謝内科	膵内分泌腫瘍に対するmTOR阻害薬による加療中に耐糖能障害をきたした1例	Diabetes Frontier 27(1) 99-102
538	井林賢志, 川合謙介,	脳神経外科	【抗てんかん薬と精神科臨床】新しい静注製剤(fosphenytoin・phenobarbital)。	精神科治療学。2015;30(8):1045-
539	高柳 俊作, 武笠晃丈, 中富 浩	脳神経外科	【小児脳神経先天異常up to date-原因遺伝子から治療まで】神経皮膚症候群 von	Clinical Neuroscience.
540	辛 正廣.	脳神経外科	【小児脳神経先天異常up to date-原因遺伝子から治療まで】脳の形成異常 Blake's	Clinical Neuroscience.
541	辛 正廣.	脳神経外科	基本をマスター 脳神経外科手術のスタンダード 内視鏡下経鼻的頭蓋底外科手術	脳神経外科速報。2015;25(1):18-26.
542	小泉 友幸, 國井尚人, 嶋田 勢二	脳神経外科	診断及び治療に苦慮した外傷性頭蓋内内頸動脈閉塞症の1例。	Neurosurgical Emergency.
543	北川 陽介, 田中將太.	脳神経外科	中枢神経腫瘍(膠芽腫)に対する薬物療法(特集 希少がんの治療戦略)	腫瘍内科。2016;17(3): 276-
544	佐藤悠佑	泌尿器科	ACTH非依存性クッシング症候群における分子病態	医学のあゆみ、2015;254:1131-
545	熊谷 仁平, 村山慎一郎, 南 哲	泌尿器科	High risk前立腺癌に対する、小線源療法および手術療法の治療成績の比較検討	泌尿器外科、2015;28:1363-6
546	井川靖彦	泌尿器科	PDE5阻害薬のBPH/LUTSに対する作用機序	Prostate Journal、2015;2(1)101-106
547	佐藤悠佑	泌尿器科	クッシング症候群と遺伝子変異	腎臓内科・泌尿器科、2015;2:392-
548	高橋さゆり、中島のぶよ、那須保	泌尿器科	女性泌尿器科医師を取り巻く環境とキャリア形成における課題～男女共同参画委員	日本泌尿器科学会雑誌、
549	角谷成紀、福原浩、本間之夫	泌尿器科	ヘルペスウイルスを用いたウイルス療法	日本臨床、2016;74増刊号3:244-250
550	福原 浩、藤堂具紀	泌尿器科	遺伝子組換え単純ヘルペスウイルスI型-G47Δを用いた日本発ウイルス療法薬開発	実験医学、2016;34:8-12
551	相澤直樹、井川靖彦	泌尿器科	下部尿路の求心性神経とNO/cGMP	排尿障害プラクティス、2015;23(1)25-
552	久米春喜	泌尿器科	血尿と悪性腫瘍	腎と透析、2015;79:605-8
553	佐藤悠佑	泌尿器科	嫌色素性腎細胞癌における分子病態	Kidney Cancer、2015;4:20-21
554	佐藤 悠佑, 本間之夫	泌尿器科	次世代シーケンサーと癌研究への応用	Urology Today、2015;22:4-9
555	佐藤悠佑	泌尿器科	腎癌におけるゲノム解析と分子病態の解明	BIO Clinica、2015;30:518-523
556	久米春喜	泌尿器科	総論:腎細胞癌	BIO Clinica、2015;30:516-7
557	杉山梨乃	泌尿器科	日本排尿機能学会(第21回河邊賞) 亜急性期雄性下部尿路閉塞ラットにおける	排尿障害プラクティス、2015;23(1)76-
558	前川 滋克, 本間之夫	泌尿器科	副腎腫瘍(Cushing症候群)の遺伝子異常	Urology Today、2015;22:145-51
559	松澤 幸正, 堀内崇真, 米虫 良	泌尿器科	副腎出血 自験例6例と症例報告57例の検討	日本泌尿器科学会雑誌、

560	新美文彩、本間之夫	泌尿器科	夜間頻尿の疫学と病態	Progress in Medicine、
561	浅野 善英(東京大学 大学院医)	皮膚科	【BIOLOGICSによる自己免疫疾患治療の新時代】全身性強皮症(解説/特集)	Mebio (0910-0474)32巻5号
562	宮垣 朝光(東京大学 大学院医)	皮膚科	【B細胞と自己免疫】自己免疫疾患における制御性B細胞(総説/特集)	日本臨床免疫学会会誌 (0911-
563	菅谷 誠(東京大学 大学院医学)	皮膚科	【アトピー性皮膚炎Update】疫学・病態生理 アトピー性皮膚炎のバリア異常(解説/	医学のあゆみ (0039-2359)256巻1
564	吉崎 歩(東京大学 大学院医学)	皮膚科	【アトピー性皮膚炎Update】診断・治療 アトピー性皮膚炎に対する生物学的製剤治	医学のあゆみ (0039-2359)256巻1
565	宮垣 朝光(東京大学 大学院医)	皮膚科	【アトピー性皮膚炎Update】診断・治療 経皮感作とアレルギーマーチ(解説/特	医学のあゆみ (0039-2359)256巻1
566	中尾 桃子(東京大学 皮膚科)	皮膚科	【ウイルス感染症】顔面の著明な浮腫を呈した後天性免疫不全症候群関連Kaposi肉	皮膚科の臨床 (0018-1404)57巻4
567	宮垣 朝光(東京大学 皮膚科学)	皮膚科	【かゆみは何のためにあるのか】かゆみとアレルギー(解説/特集)	臨床と研究 (0021-4965)92巻4号
568	吉崎 歩(東京大学 大学院医学)	皮膚科	【ここまで変わった!子どものアレルギー診療】乳幼児への「眠気の少ない」抗ヒスタミ	チャイルドヘルス (1344-3151)18巻9
569	信田りの(東京大学 医学部附属)	皮膚科	【角化症・炎症性角化症】エトレチナートとシクロスポリンの併用療法で軽快した毛孔	皮膚科の臨床 (0018-1404)57巻10
570	吉崎 歩(東京大学 大学院医学)	皮膚科	【乾癬の病態と治療:最新の進歩】関節症性乾癬の診断と治療(解説/特集)	Pharma Medica (0289-5803)33巻9
571	浅野 善英(東京大学 大学院医)	皮膚科	【乾癬の病態と治療:最新の進歩】生物学的製剤による乾癬治療 IL-17阻害薬(解説	Pharma Medica (0289-5803)33巻9
572	宮垣 朝光(東京大学 大学院医)	皮膚科	【見逃されやすい頸部リンパ節腫脹の原因疾患】皮膚病性リンパ節症(解説/特集)	血液内科 (2185-582X)71巻3号
573	上條 広章(東京大学 医学部皮)	皮膚科	【手指の皮膚病】臨床例 グルコン酸カルシウム動注療法で加療したフッ化水素酸に	皮膚病診療 (0387-7531)37巻10
574	吉崎 歩(東京大学 大学院医学)	皮膚科	【新たな難病対策に向けて-診断基準、重症度分類】強皮症(解説/特集)	リウマチ科 (0915-227X)54巻1号
575	吉崎 歩(東京大学 大学院医学)	皮膚科	【全身性強皮症とその鑑別疾患-より早期に、正確に診断するために】(Part2.)皮膚	Visual Dermatology
576	浅野 善英(東京大学 大学院医)	皮膚科	【全身性強皮症の病態・診断および治療に関する最近の知見】全身性強皮症におけ	リウマチ科 (0915-227X)55巻3号
577	菅谷 誠(東京大学 大学院医学)	皮膚科	【いまどうなっている?アトピー性皮膚炎】新しい治療薬の展望(解説/特集)	Mebio (0910-0474)32巻4号
578	岡 知徳(東京大学 医学部附属病)	皮膚科	ベボタスチンベシル酸塩投与が皮膚バリア機能関連分子と炎症性サイトカインの発現	皮膚の科学 (1347-1813)14巻6
579	浅野 善英(東京大学 医学部皮)	皮膚科	ボセンタンによる潰瘍治療(解説)	皮膚病診療 (0387-7531)37巻10
580	菅谷 誠(東京大学 大学院医学)	皮膚科	リンパ流障害と皮膚免疫(解説)	リンパ学 (0910-4186)38巻1号
581	菅谷 誠(東京大学 医学部皮膚)	皮膚科	悪性リンパ腫(菌状息肉症)に対する治療の実践的テクニック(解説/特集)	Visual Dermatology
582	濱中 妙子(東京大学 皮膚科学)	皮膚科	汗腺周囲の肉芽腫形成が著明であったサルコイドーシスの1例(原著論文/症例報告)	皮膚科の臨床 (0018-1404)58巻3
583	梅澤 裕美(東京大学 皮膚科学)	皮膚科	急速な経過をたどったCD45RA陽性菌状息肉症の1例(原著論文/症例報告)	皮膚科の臨床 (0018-1404)58巻3
584	赤股 要(東京大学 大学院医学)	皮膚科	強皮症の血管障害におけるエンドセリンレセプターの関与(解説)	リウマチ科 (0915-227X)55巻1号
585	浅野 善英(東京大学 大学院医)	皮膚科	強皮症の早期診断(解説)	リウマチ科 (0915-227X)54巻6号
586	岡 知徳(東京大学 医学部皮膚)	皮膚科	種痘様水疱症の1例(原著論文/症例報告)	日本小児皮膚科学会雑誌 (0286-
587	菅谷 誠(東京大学 大学院医学)	皮膚科	症例から学ぶT細胞・NK細胞リンパ腫 原発性皮膚CD30陽性リンパ増殖症(解説)	Skin Cancer (0915-3535)30巻2号
588	宮垣朝光 佐藤伸一(東京大学)	皮膚科	職業感染予防策 疥癬を良く知ろう(解説)	感染制御 11巻2号 Page137-
589	浅野 善英(東京大学 医学部皮)	皮膚科	全身性強皮症とその鑑別疾患-より早期に、正確に診断するために】(Part1.)全身	Visual Dermatology
590	菅谷 誠(東京大学 大学院医学)	皮膚科	皮膚悪性リンパ腫治療のポイント(Q&A)	日本医事新報 (0385-9215)4782号
591	菅谷 誠(東京大学 大学院医学)	皮膚科	皮膚科学 血清TARC値を指標としたアトピー性皮膚炎の治療(解説)	医学のあゆみ (0039-2359)253巻
592	牛久 哲男, 深山正久	病理部	AFP産生胃癌	腫瘍病理鑑別診断アトラス「胃癌」(深

593	池村 雅子, 高澤 豊 柴原 純一	病理部	医学教育のためのCPC e-Learningの試み	病理と臨床. 2015; 33(6):661-667
594	阿部 浩幸, 深山 正久	病理部	胃癌とEBウイルス	臨床消化器内科. 2015; 30(7): 41-44
595	牛久 綾	病理部	上皮筋上皮癌	腫瘍病理鑑別診断アトラス「頭頸部腫
596	牛久 哲男	病理部	低異型度の分化型癌	腫瘍病理鑑別診断アトラス「胃癌」(深
597	牛久 綾, 深山 正久	病理部	リンパ球浸潤癌	腫瘍病理鑑別診断アトラス「胃癌」(深
598	佐々木毅	病理部	遠隔病理診断に関わる諸規則と今後の方向性	病理と臨床. 2016; 34(1): 20-26.
599	佐々木毅	病理部	組織検体を用いたバイオバンキングのシステム構築と展望	検査と技術. 2015; 43(8): 666-668.
600	佐々木毅	病理部	乳腺のSolid papillary carcinoma	病理と臨床. 2015; 33(11): 1268-1270.
601	牛久 哲男	病理部	病理診断クイックリファレンス AFP産生胃癌	病理と臨床. 2015; 33(臨時増刊号): 77
602	牛久 哲男	病理部	病理診断クイックリファレンス EBウイルス関連胃癌	病理と臨床. 2015; 33(臨時増刊号): 78
603	牛久 綾	病理部	病理診断クイックリファレンス 基底細胞腺腫	病理と臨床. 2015; 33(臨時増刊号): 59
604	牛久 綾	病理部	病理診断クイックリファレンス 多形腺腫	病理と臨床. 2015; 33(臨時増刊号): 57
605	佐々木毅	病理部	病理診断クイックリファレンス 男性生殖器アデノマトイド腫瘍	病理と臨床. 2015; 33(臨時増刊号):
606	佐々木毅	病理部	病理診断クイックリファレンス 男性生殖器精子肉芽腫	病理と臨床. 2015; 33(臨時増刊号):
607	深山 正久	病理部	病理診断クイックリファレンス びまん性肺胞傷害	病理と臨床. 2015; 33(臨時増刊号): 18
608	牛久 綾	病理部	病理診断クイックリファレンス ワルチン腫瘍	病理と臨床. 2015; 33(臨時増刊号): 58
609	深山 正久	病理部	病理診断クイックリファレンス 原発性肺動脈性肺高血圧症	病理と臨床. 2015; 33(臨時増刊号): 19
610	深山 正久	病理部	病理診断クイックリファレンス 石綿肺	病理と臨床. 2015; 33(臨時増刊号): 17
611	深山 正久	病理部	病理診断クイックリファレンス 多発血管炎性肉芽腫症	病理と臨床. 2015; 33(臨時増刊号): 16
612	笠原 諭	麻酔科・痛みセンター	「心理生物学的モデルに基づく、慢性疼痛の精神心理分析」	最新医学 2015;70(12);2538-
613	住谷昌彦 緒方 徹	麻酔科・痛みセンター	Sensori-motor integrationの障害と痛み	Locomotive Pain Frontier
614	住谷昌彦	麻酔科・痛みセンター	アンジオテンシンⅡ2型受容体拮抗薬は帯状疱疹後神経痛を緩和する	Mainichi Medical Journal
615	岩切 正樹、金 信秀	麻酔科・痛みセンター	冠動脈疾患	麻酔 2015;64(9);911-
616	住谷昌彦 四津 有人 山内照夫	麻酔科・痛みセンター	がん関連神経障害性疼痛への集学的な対応	がん患者と対症療法 2015;26;55-60
617	住谷 昌彦、穂積 淳、山内 照	麻酔科・痛みセンター	症状緩和の今 がん性疼痛の基礎	ペインクリニック 2015;36;S361-70
618	笠原 諭	麻酔科・痛みセンター	フラッグサインを用いた慢性腰痛の認知行動療法	Vita 2016;33(1);36-39
619	住谷昌彦 四津 有人 熊谷晋一	麻酔科・痛みセンター	ペインクリニックからみた心身反応と慢性疼痛	トラウマティック・ストレス 2015;13;132-
620	穂積 淳、住谷 昌彦	麻酔科・痛みセンター	麻酔科医(出身)にとっての緩和ケアチーム	麻酔 2016;65;233-241
621	阿部 博昭、住谷 昌彦、穂積	麻酔科・痛みセンター	有痛性化学療法誘発性末梢神経障害に対し高用量デュロキセチンが著効した1例	日本ペインクリニック学会誌
622	住谷昌彦	麻酔科・痛みセンター	幻肢の感覚表象と幻肢痛	バイオメカニズム学会誌 2015;39;93-
623	内田寛治	麻酔科・痛みセンター	誤嚥性肺炎の病態と治療	麻酔 2016;65;13-22
624	住谷昌彦	麻酔科・痛みセンター	私の処方:化学療法誘発性末梢神経障害による痛み(神経障害性疼痛)	Modern Physician 2015;35;797-8
625	笠原 諭	麻酔科・痛みセンター	疾病利得の心理・生物学的背景とオペラント行動療法	Locomotive Pain Frontier

626	住谷昌彦 熊谷晋一郎	麻酔科・痛みセンター	心筋梗塞で肩が痛くなるのはなぜですか？	Clin Neurosci 2015;3;353
627	住谷昌彦	麻酔科・痛みセンター	鎮痛薬は内臓痛・体性痛・神経痛で使い分けるのか？	レジデントノート 2015;17;682-91
628	住谷昌彦	麻酔科・痛みセンター	痛みの具体性は？(慢性疼痛疾患の評価のコツ)	Med Prac 2015;32;1714
629	住谷昌彦 四津有人	麻酔科・痛みセンター	頭蓋・頸椎異常と頭痛 - 頸性頭痛は本当にあるのか？	medicina 2015;52;1330-3
630	穂積 淳、大住倫弘、緒方 徹、	麻酔科・痛みセンター	難治性疼痛に対する神経リハビリテーション治療	麻酔 2015;64;734-740
631	住谷昌彦	麻酔科・痛みセンター	複合性局所疼痛症候群タイプ I	Clin Neurosci 2015;33;590-1
632	住谷昌彦	麻酔科・痛みセンター	慢性腰痛を痛みの病態から考える	Practice of Pain Management
633	住谷昌彦 大住倫弘 四津有人	麻酔科・痛みセンター	慢性疼痛の中核性感作	神経内科 2015;83;114-8
634	笠原 諭	麻酔科・痛みセンター	臨床に役立つQ&A 慢性疼痛は心の病気って本当？	老年医学 2015;53(9);997-
635	住谷昌彦 穂積淳 山内照夫	麻酔科・痛みセンター	疼痛(がん性疼痛の基礎)	ペインクリニック 2015;36S361-70
636	山口諒, 山本武人, 鈴木洋史	薬剤部	【これだけは知っておきたい検査のポイント-第9集】薬物関連検査 血中薬物濃度	Medicina. 2015;52(4):310-1.
637	山口諒, 森屋恭爾	薬剤部	【感染症における新薬開発のジレンマと展望-日本が先駆者となるために-】耐性菌と	化学療法領域. 2015;32(1):31-6.
638	大野能之, 樋坂章博	薬剤部	【薬物動態の変化を伴う 薬物相互作用-ポスター・ポケット版-】消化管内での相互	PharmaTribune. 2015
639	吉岡紗由, 小久江伸介, 大野能	薬剤部	Let's! 服薬コミュニケーション, アダリムマブ.	スズケンファーマ. 2015;18(1):2-5.
640	小久江伸介, 本多秀俊, 大野能	薬剤部	Let's! 服薬コミュニケーション, スポレキサント.	スズケンファーマ. 2015;18(3):2-5.
641	安達航平, 小久江伸介, 大野能	薬剤部	Let's! 服薬コミュニケーション, ダクラタスビル/アスナプレビル.	スズケンファーマ. 2015;18(6):2-5.
642	白根達彦, 小久江伸介, 大野能	薬剤部	Let's! 服薬コミュニケーション, タクロリムス水和物軟膏.	スズケンファーマ. 2015;18(5):2-5.
643	高木淳平, 小久江伸介, 大野能	薬剤部	Let's! 服薬コミュニケーション, タダラフィル.	スズケンファーマ. 2015;18(4):2-5.
644	荻上尚樹, 小久江伸介, 大野能	薬剤部	Let's! 服薬コミュニケーション, ミグリトール.	スズケンファーマ. 2015;18(2):2-5.
645	高田龍平, 鈴木洋史	薬剤部	NPC1L1はビタミンKの腸管吸収における主要レギュレーターであり、ワルファリン療法の	トランスレーショナル メディスンに載つ
646	山梨義英, 高田龍平, 鈴木洋史	薬剤部	コレステロールトランスポーターNPC1L1によるビタミンKの消化管吸収.	細胞工学. 2015;34(7):694-95.
647	宮田優希, 阿部敏秀, 山本武人,	薬剤部	ドラッグコンサルテーション アダリムマブ.	スズケンメディカル. 2015;18(1):11-2.
648	松岡紗代, 阿部敏秀, 山本武人,	薬剤部	ドラッグコンサルテーション, エプレレノン.	スズケンメディカル. 2015;19(1):11-2.
649	城山亮輔, 阿部敏秀, 山本武人,	薬剤部	ドラッグコンサルテーション, スポレキサント.	スズケンメディカル. 2015;18(3):11-2.
650	安達航平, 阿部敏秀, 山本武人,	薬剤部	ドラッグコンサルテーション, ダクラタスビル/アスナプレビル.	スズケンメディカル. 2015;18(6):11-2.
651	城山亮輔, 阿部敏秀, 山本武人,	薬剤部	ドラッグコンサルテーション, タクロリムス水和物軟膏.	スズケンメディカル. 2015;18(5):11-2.
652	城山亮輔, 阿部敏秀, 山本武人,	薬剤部	ドラッグコンサルテーション, タダラフィル.	スズケンメディカル. 2015;18(4):11-2.
653	阿部敏秀, 山本武人, 鈴木洋史	薬剤部	ドラッグコンサルテーション, ミグリトール.	スズケンメディカル. 2015;18(2):11-2.
654	高田龍平, 山梨義英, 鈴木洋史	薬剤部	ビタミンKの吸収経路の発見—ビタミンの体内動態変動を介した新規薬物相互作用メ	実験医学(羊土社). 2015年8
655	山梨義英	薬剤部	治療で誘発される腫瘍セクレトームが腫瘍の治療抵抗性と進行を助長する.	ファルマシア. 2015;51(12):1182.
656	大野能之, 山本武人, 樋坂章博,	薬剤部	腎障害時の薬物動態の変化.	「腎機能低下時の 薬剤ポケットマニユ
657	山梨義英, 高田龍平, 鈴木洋史	薬剤部	腸管トランスポーター研究から明らかになったコレステロール、ビタミン、薬物の相互作用	機能性食品と薬理 栄養.
658	大野能之	薬剤部	副作用について考える.	都薬雑誌. 2015 2015.04;37(4):40-

659	大野能之	薬剤部	薬物動態から見た感染症治療薬の相互作用-吸収・分布・排泄過程における相互作用	化学療法の領域. 2015;31(10):32-9.
660	大野能之	薬剤部	臨床で注意すべき感染症治療薬の相互作用とメカニズム】感染症治療薬(抗菌薬・抗	化学療法の領域. 2015
661	岡崎 仁	輸血部	TRALIとTACOの鑑別診断と予防対策	医学のあゆみ 253:654-658, 2015
662	岡崎 仁	輸血部	TRALIとTACOの病態と診断	Annual Review 2016 呼吸器 50-
663	名倉 豊, 曾根 伸治, 三島 由祐	輸血部	第4世代HIVスクリーニング検査試薬の3社同時比較検討	日本臨床検査自動化学会誌 40(5),
664	岡崎 仁	輸血部	輸血関連急性肺障害	呼吸器内科 28:155-160, 2015
665	天尾理恵, 縄田 寛, 木下修, 札	リハビリテーション科・部	BiVADからの離脱に至った小児のリハビリテーション経験	日本心臓リハビリテーション学会誌
666	高見沢圭一, 横田 一彦, 後藤美	リハビリテーション科・部	BNPを指標として運動負荷と身体活動管理を行った完全大血管転位I型による重症成	PTジャーナル 2016; 50(2): 229-
667	粕谷大智	リハビリテーション科・部	アレルギー・免疫疾患と東洋医学 関節リウマチに対する鍼灸治療	アレルギー・免疫 2016;23(3):76-83
668	粕谷大智	リハビリテーション科・部	関節リウマチに対する鍼灸医療の成果と今後の展望	温気物医2016; 79(1):34-35
669	芳賀信彦	リハビリテーション科・部	リハビリテーションからみた跛行の評価と管理	Monthly Book Orthopaedics 2015;
670	中原康雄, 芳賀 信彦	リハビリテーション科・部	リンパ浮腫とリハビリテーション	Monthly Book Medical
671	横田一彦, 長谷川真人, 梅崎成	リハビリテーション科・部	悪性腫瘍リハビリテーションの実際	成人病と生活習慣病 2015, 45(11):
672	芳賀信彦	リハビリテーション科・部	運動器のリハビリテーションの基本	京都リハビリテーション研究会誌
673	後藤美和, 竹谷 英之, 新田收,	リハビリテーション科・部	血友病患者における関節機能とADL、健康関連QOLの関連性	理学療法科学 2015; 30(3): 413-
674	粕谷大智	リハビリテーション科・部	腰痛患者の表面筋電図の特徴と鍼灸治療	現代鍼灸学 2015; 15(1): 79-88
675	篠田裕介	リハビリテーション科・部	骨関連事象に対する補装具療法	J Clin Rehabil 2016; 25(2): 140-
676	津田祐輔, 康永 秀生, 澤田良	リハビリテーション科・部	骨転移による大腿骨病的骨折患者の在院死亡率:DPCデータベースによる検討	日本整形外科学会雑誌 2015; 89:
677	芳賀信彦	リハビリテーション科・部	四肢形成不全に対する集学的治療-成人後を見据えた小児リハビリテーション-	第37回国立大学リハビリテーション療
678	藤原清香, 芳賀 信彦	リハビリテーション科・部	小児の骨関節疾患のリハビリテーションと装具	日本義肢装具学会誌 2015; 31(4):
679	篠田裕介, 澤田 良子, 津田祐	リハビリテーション科・部	診療科横断的なキャンサーボード(CB)診療体制による運動器マネージメントは骨転移	日本整形外科学会雑誌 2015; 89(10):
680	芳賀信彦	リハビリテーション科・部	生涯を見据えた肢体不自由児への医療と支援	日本小児看護学会誌 2015; 24(3): 51-
681	横田一彦	リハビリテーション科・部	多様な疾病、障害に対する理学療法	理学療法学 2015、 42(8):736-737
682	芳賀信彦	リハビリテーション科・部	大学病院の立場から～医科大学病院における鍼灸の現状と課題～	現代鍼灸学 2015; 15(1): 131-134
683	松永明子, 吉田 美香子, 横田一	リハビリテーション科・部	短期集中骨盤底筋訓練プログラムに対して抵抗性を示す女性腹圧性尿失禁患者の特	第37回国立大学リハビリテーション療
684	芳賀信彦	リハビリテーション科・部	糖尿病足病変患者に対するリハビリテーション	内分泌・糖尿病・代謝内科 2015;
685	小倉 浩一, 上原 浩介, 秋山 達,	リハビリテーション科・部	日本語版Toronto Extremity Salvage Score 下肢の開発 言語的妥当性を担保した翻	整形外科 2016; 67(3): 223-227
686	芳賀信彦	リハビリテーション科・部	脳性麻痺の現状と歩行機能に対する治療	総合リハ 2016; 44(2): 95-98
687	芳賀信彦	リハビリテーション科・部	歩行解析(臨床神経生理で何がわかる?: 小脳)	Clinical Neuroscience 2016;
688	山口正貴, 高見 沢圭一, 原慶	リハビリテーション科・部	慢性の非特異性腰痛患者に対する McKenzie法にストレッチを加えた運動	理学療法ジャーナル 2015; 49(6):
689	高見沢圭一, 山口正貴, 後藤美	リハビリテーション科・部	慢性非特異的腰痛患者におけるストレッチングと姿勢指導の効果-自然経過と介入	第37回国立大学リハビリテーション療

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

小計:31

計:689

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 研究者等の基本的責務、研究計画書の作成に関する手続等、倫理委員会の活動、インフォームド・コンセントを受ける手続等、個人情報保護等の安全管理、重篤な有害事象及び不具合への対応、試料・情報の保管管理、モニタリング及び監査の実施、特定臨床研究の実施、振り分けチェックフロー、研究的な要素が含まれる臨床案件の実施、多施設共同研究に関する事務手続き及び審査方針、研究者等の教育研修	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 3 0 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 ○『東京大学利益相反防止規則』：東京大学教職員が回避すべき利益相反行為および利益相反委員会を規定する規則である。 ○『東京大学大学院医学系研究科・医学部及び医学部附属病院利益相反行為防止規則』：東京大学大学院医学系研究科、医学部及び医学部附属病院所属の教職員が回避すべき利益相反行為および利益相反委員会・利益相反アドバイザー機関を規定する規則である。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 1 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年複数回/ 随時
<p>・研修の主な内容</p> <p>1) 「東大研究倫理セミナー」：毎月1回（8月を除く） 東大における倫理審査体制、研究倫理、規制・ガイドライン、利益相反管理、個人情報管理、倫理審査支援窓口と支援内容</p> <p>2) CREDITS (E-learning)：随時受講可能</p> <p>① 倫理・行動規範コース 3章～12章 1. 臨床研究の歴史と被験者の権利 2. 臨床研究の倫理と行動規範 3. 試験実施にあたって考慮すべき倫理</p> <p>② 臨床研究実施コース 4章～12章 4. 医薬品・医療機器開発 5. 臨床研究方法論入門 6. 臨床研究に関する法的枠組みと手引き 7. 臨床試験の計画と準備 8. 実施医療機関の組織と運用 9. 被験者の募集、組み込みと参加継続 10. 試験の実施 11. 安全性入門 12. 品質マネジメントシステム</p> <p>3) 病院職員必修eラーニング等（利益相反・個人情報関係等） 年1回</p>	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

本プログラムは、卒後必修初期研修を修了した後、東京大学医学部附属病院（以下「本院」という）において、さらに臨床医学に関する知識と技能を広く向上させ、より専門的な臨床研修を行うためのものである。同時に、この期間中、本院各診療部門（研修協力病院等の院外施設も含む）及び東京大学大学院医学系研究科における臨床、研究の経験を通して、将来のキャリアデザインを構築してゆく機会とも成り得る。

2 研修の実績

研修医の人数	184人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
小室 一成	循環器内科	教授	31年	
山内 康宏	呼吸器内科	講師	21年	
山道 信毅	消化器内科	助教	19年	
南学 正臣	腎臓・内分泌内科	教授	29年	
門脇 孝	糖尿病・代謝内科	教授	38年	
黒川 峰夫	血液・腫瘍内科	教授	26年	
久保 かなえ	アレルギー・リウマチ内科	特任講師（病院）	21年	
森屋 恭爾	感染症内科	教授	27年	
辻 省次	神経内科	教授	40年	
秋下 雅弘	老年病科	教授	31年	
吉内 一浩	心療内科	准教授（科長）	23年	
國土 典宏	外科	教授	35年	サブスペシャリティ領域ごとに配置していない
齊藤 延人	脳神経外科	教授	30年	
山田 芳嗣	麻酔科・痛みセンター	教授	35年	
本間 之夫	泌尿器科	教授	38年	
藤井 知行	女性診療科・産科・女性外科	教授	35年	
鎌田 昌洋	皮膚科	講師	11年	
	眼科・視覚矯正科		年	
田中 栄	整形外科・脊椎外科	教授	30年	
山嵜 達也	耳鼻咽喉科	教授	32年	
芳賀 信彦	リハビリテーション科	教授	29年	
光嶋 勲	形成外科・美容外科	教授	40年	
平田 陽一郎	小児科	講師（研修部員）	16年	
笠井 清登	精神神経科	診療科長・教授	21年	
阿部 修	放射線科	教授	26年	
矢富 裕	検査部	部長・教授	25年	

橋田 要一	救急科	准教授	30年	
深山 正久	病理部・病理診断科	教授、病理部部长	38年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 医療技術系職員（薬剤師、放射線技師、臨床検査技術者、臨床放射線技術者、臨床研究（治験）コーディネーター、栄養士）を対象とした高度な医療人養成研修・研修の期間・実施回数 3日から5日間 各年1回・研修の参加人数 各90名程度
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 医療技術系職員（薬剤師、放射線技師、臨床検査技術者、臨床放射線技術者、臨床研究（治験）コーディネーター、栄養士）を対象とした高度な医療人養成研修・研修の期間・実施回数 3日から5日間 各年1回・研修の参加人数 各90名程度
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 医療技術系職員（薬剤師、放射線技師、臨床検査技術者、臨床放射線技術者、臨床研究（治験）コーディネーター、栄養士）を対象とした高度な医療人養成研修・研修の期間・実施回数 3日から5日間 各年1回・研修の参加人数 各90名程度

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 齊藤 延人
管理担当者氏名	事務部長 塩崎 英司、総務課長 富田 有一、管理課長 海老根 俊浩 経営戦略課長 竹本 浩伸、医事課長 齊藤 慎二、薬剤部長 鈴木 洋史、 看護部長 小見山 智恵子、医療機器管理部長 張 京浩

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	看護部	
		各科診療日誌	病歴管理部	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	病歴管理部	
		看護記録	病歴管理部	
		検査所見記録	病歴管理部	
		エックス線写真	病歴管理部	
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病歴管理部	
			<ul style="list-style-type: none"> ・診療記録は、1患者1ファイル方式での一括管理であるが、外来と入院は区別して保管している。(平成21年度より電子カルテシステム運用) ・エックス線フィルム写真は1患者1ファイル方式での管理である。 ・エックス線写真は平成15年より PACS (医用画像保存配信システム) による管理となっている。 ・調剤処方箋は全数保管している。 ・診療記録の院外への持ち出しは禁止している。 	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	掲げる事項	規則第一條の十一第一項に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	総務課
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務課
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総務課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	総務課	
			<ul style="list-style-type: none"> 年度別に PC で保管 年度別に PC で保管 年度別に PC で保管 年度別に PC で保管 年度別に PC で保管 年度別に PC で保管 年度別に PC で保管 PC及び紙媒体で保管 PC及び紙媒体で保管 PC及び紙媒体で保管 PC及び紙媒体で保管 	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	総務課	PC及び紙媒体で保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課	PC及び紙媒体で保管
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課	PC及び紙媒体で保管
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課	PC及び紙媒体で保管
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	紙媒体で保管
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	紙媒体で保管
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	紙媒体で保管
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	PC及び紙媒体で保管
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器管理部	PC及び紙媒体で保存
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部	PC及び紙媒体で保存
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部	PC及び紙媒体で保存		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部	PC及び紙媒体で保存		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課 PC及び紙媒体で保管
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課 PC及び紙媒体で保管
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部 紙媒体で保管
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課 PCで保管
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課 PCで保管
		医療安全管理部門の設置状況	総務課 PC及び紙媒体で保管
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課 準備中（様式8で回答）
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課 準備中（様式8で回答）
		監査委員会の設置状況	総務課 準備中（様式8で回答）
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	総務課 PC及び紙媒体で保管
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	総務課 準備中（様式8で回答）
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総務課 PCで保管
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課 PCで保管
		職員研修の実施状況	総務課 PC及び紙媒体で保管
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 PC及び紙媒体で保管		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	<input checked="" type="radio"/> 2. 現状	
閲覧責任者氏名	塩崎 英司		
閲覧担当者氏名	富田 有一		
閲覧の求めに応じる場所	院内会議室		
閲覧の手続の概要			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">ア. 医療機関における安全管理に関する基本的な考え方イ. 医療に係る安全管理のための委員会等安全管理に関する組織に関する基本的事項ウ. 医療に係る安全管理のための職員研修等に関する基本事項エ. 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針オ. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針カ. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針キ. 患者からの相談への対応に関する基本方針ク. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 設置の有無 (有・無)・ 開催状況：年12回・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) インシデント、アクシデント事例の検討(2) 医療安全研修強化(3) 研修医の注射指示に対する指導医確認の強化(4) リスクマネジメントに関する研究課題実施(5) 外来棟の転倒対策(6) その他医療事故防止のための改善等、必要な事項の審議	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年10回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 東大病院における医療安全対策について(概論)(eラーニング)(2) 東大病院における医療安全管理について(eラーニング)(3) 抗がん剤ばく露対策/ME機器とリスクマネジメント(eラーニング)(4) 抗がん剤ばく露対策/ME機器とリスクマネジメント(セミナー)(5) 医療事故調査説明会(6) 医療の現場で考えるヒューマンエラーとマネジメント(7) 安全確保のためのリスクマネジメント(8) 当院の褥瘡対策について(9) ICU系医療安全勉強会(10) インフォームドコンセント講演会	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<p>本院のインシデントレポートシステムは、医療に関わる場所で、医療に関わる全過程において障害が発生した場合の他、廊下での転倒といった医療と直接関係のない出来事や、患者に障害が発生しなかったいわゆるヒヤリハットの事例についても報告することとしており、更に、患者に新たに濃厚な処置や治療が必要となった事例は、病院としての対応の迅速性を確保するためアクシデントレポートとしてインシデントと区別して提出を求めている。これらの報告により情報を共有し、組織のシステム改善の検討や、原因を分析し予防に生かす方策を策定することとしている。</p><p>このインシデントレポートシステムは医療従事者の自主的な報告を前提としており、報告を促すため、安全管理指針に「報告者、当事者の不利益になるような取扱いをしてはならない」ことを明記している。また、リスクマネージャー会議・研修等において、レポートの積極的な提出について周知・徹底をはかっている。</p><p>レポートは、各部署のリスクマネージャーを通じて医療安全対策センターに提出されることとなっており、インシデントについては、各部署での対応策を記載することとなっている。提出されたレポ</p>	

ートは、リスクマネジメント委員会の下に設置された分析小委員会や医療安全対策センターにて、状況の確認、原因の分析、改善策の検討を行っている。

分析小委員会及び医療安全対策センターで検討された改善策は、リスクマネジメント委員会に報告・審議され、防止策として策定されている。

リスクマネジメント委員会からの防止策、分析小委員会・医療安全対策センターの分析結果並びに改善策は、リスクマネージャー会議あるいは医療安全対策センターを通じて病院全体に周知することにより、職員全員で共有している。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>ア. 病院感染対策に関する基本的考え方 イ. 病院感染対策のための委員会等病院感染対策の組織に関する基本的事項 ウ. 病院感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 エ. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 オ. 病院感染発生時の対応に関する基本方針 カ. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 キ. その他病院感染対策推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 18 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) MRSA・多剤耐性菌（ESBL産生菌・メタロβラクタマーゼ産生菌等）検出状況と対応報告 (2) 抗菌薬使用（使用量 届出状況） (3) 畜尿実施・針刺し（曝露）のデータと対応に対する対応 (4) 感染サーベイランス（VAP 血流感染など）データ報告ならびに対応 (5) 教職員等の健康状態（産業医と連携）の報告 (6) 手洗い実行調査データ報告と改善対応、手洗いキャンペーン (7) 感染対策研修強化 (8) その他院内感染防止のための改善等必要な事項の審議 (9) 小児ICU系感染対策WGにより感染状況の把握と対応の確認 (10) 小児科MRSA新規検出について（臨時開催 計6回）</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 35 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 多剤耐性菌の感染対策について (2) 冬に流行しやすい感染症（インフルエンザ） (3) 1類・2類感染症 - エボラ出血熱・MERSなど - (4) 非“専門家”のためのHIV感染症との関わり方 (5) 多剤耐性アシネトバクターと標準・接触予防策について</p> <p>・ 医療安全&感染対策研修</p> <p>・ 第1回感染対策セミナー 「1類・2類感染症 - エボラ出血熱・MERSなど -」 ・ 第2回感染対策セミナー 「非“専門家”のためのHIV感染症との関わり方」 ・ 臨時感染対策セミナー 「多剤耐性アシネトバクターと標準・接触予防策について」 ・ 第3回感染対策セミナー 「多剤耐性アシネトバクターと標準・接触予防策について」（再演）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染対策センターは、感染制御部及び感染制御部細菌検査室と協力し、感染症の発生状況を毎日確認し、日報として病院長に報告するとともに、感染対策委員会において毎月報告している。</p> <p>院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策は以下のとおり。</p> <p>(1) 毎日病棟内多剤耐性菌検出と対応の確認、抗菌剤使用状況の確認と指導 (2) 毎週、ICTメンバーによる院内ラウンドの実施。 (3) 月1回ICTニュースを発行。 (4) 年3回以上の感染対策関連セミナーの開催。 (5) 毎月、リンクドクター連絡会議、メディカルスタッフ連絡会議を開催し、病院感染対策委員会の決定事項の報告や、その他感染対策に関する情報の周知及びミニレクチャーによる感染知識、乗法確認の実施。 (6) 新人研修、中途採用者に講習、手洗い実習を必修としている (7) 感染症内科、薬剤部と連携し抗菌薬使用法の指導、長期使用事例確認</p>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">NST病態栄養セミナー：<ul style="list-style-type: none">静脈栄養法とリスクマネジメントリンクドクター連絡会議ミニレクチャー：<ul style="list-style-type: none">PK-PDを考えた抗菌薬の使い方抗MRSA薬の使い方看護薬剤研修：<ul style="list-style-type: none">注意すべき注射薬の知識とリスクマネジメント輸液の種類と特徴向精薬の基礎知識麻薬の取り扱いと管理上の留意点医療安全セミナー：<ul style="list-style-type: none">抗がん剤による被ばく対策e-learning：<ul style="list-style-type: none">注射用抗がん剤調製時の取り扱い上の注意点 他	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有・無)業務の主な内容：<p>手順書は、薬事委員会、外来部門、病棟部門、薬剤部、手術・麻酔部門、輸血・血液管理部門、他施設との連携、事故発生時の対応等の項目に分かれており、1) 医薬品の採用・購入に関する事項、2) 医薬品に関する事項、3) 医薬品の投薬指示から調剤に関する事項、4) 医薬品の与薬や服薬指導に関する事項、5) 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項、6) 他施設との連携に関する事項、7) 事故発生時の対応に関しての内容を含む構成となっている。これらに基づく業務を実施しており、その実施状況の確認を定期的に行い、手順書も定期的に見直し改訂を行っている。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<p>やむを得ず未承認薬の使用や、禁忌や適応外の処方が必要な際には診療科・部内で検討するとともに必要に応じて新規診療等検討委員会に申請することとなっている。医薬品安全管理責任者はそれらの状況を確認できる。また、院内の薬剤師は、特に禁忌・適応外の使用等に関しては、薬学的知見に基づき、処方した医師に対して処方の必要性や論文等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性を確認し、処方の提案等を行うとともに、その結果を医薬品安全管理責任者に報告することとなっている。</p><p>薬品情報室においては、国内外の文献情報、製薬会社からの情報、医薬品医療機器総合機構 (PMD A) メディナビ等の情報を収集・活用し、医薬品の安全性情報の迅速な伝達を行うとともに、DIニュース等として、院内の電子媒体で配信している。また、病棟薬剤師によるカンファレンス等での情報提供活動を行っている。さらに重要な事項は院内リスクマネージャー会議において、各診療科・診療部等のリスクマネージャーに注意喚起を行っている。また、安全性速報(ブルーレター)等の特に重要な安全性情報が発出された際には必要に応じて使用患者を抽出して適正使用状況の確認を行っている。</p><p>薬事委員会においては、採用検討新医薬品についての有効性・安全性を評価して、採用後の適正使用のための運用ルールについても審議し、必要に応じて対策を講じている。</p><p>また、薬剤部協力のもと医療安全対策センターにて院内で発生した医薬品に関するインシデントレポ</p>	

トから対策等を検討し、注意喚起および対策を院内ホームページおよび職員メールにて周知している。周知された事項について医療安全ラウンドにて適時実施状況等を確認している。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年129回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1) 人工呼吸器の使用方法について2) 体外循環装置、補助循環装置の使用方法について3) 除細動器・AEDの使用方法について4) 輸液ポンプ・シリンジポンプの使用方法について5) 透析装置の説明について6) 閉鎖式保育器の使用方法について	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1) 人工呼吸器の定期点検2) 除細動器の定期点検3) 閉鎖式保育器の定期点検4) 血液浄化装置の定期点検5) 人工心肺装置および補助循環装置の定期点検6) AED・輸液ポンプ、シリンジポンプ、体外式ペースメーカーなどの各種医療機器の定期点検7) 医療機器返却時の清拭、終業点検8) 人工呼吸器の始業点検、使用中点検9) 購入機器の納入時点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1) 医療安全対策センター兼任スタッフとして臨床工学技士の配置2) リスクマネージャー会議での医療機器に関する注意喚起・機器回収情報の周知3) 院内広報誌の発行 (医療機器などに関する情報の記載)4) 院内HPへ院内広報誌の掲載と各種取扱説明書、添付文書の掲載5) 呼吸療法サポートチームへの参加、勉強会の実施6) 医療機器の不具合情報の院内メールでの通知7) 医療機器の不具合情報の厚生労働省への報告8) 院内デモンストレーション機器の使用状況の把握	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

<p>① 医療安全管理責任者の配置状況 ※経過措置の適用により、様式 8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照</p>	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>副院長（安全担当）を医療安全管理責任者とするための内規改正を平成28年10月までに実施する予定である。</p>	
<p>② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況</p>	<input checked="" type="radio"/> （6名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>※経過措置の適用により、様式 8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬品情報室において、国内外の文献情報、製薬会社からの情報、医薬品医療機器総合機構（PMDA）メディナビ等の情報を収集・活用し、医薬品の安全性情報の迅速な伝達を行うとともに、DIニュース等として、院内の電子媒体で配信している。また、病棟薬剤師によるカンファランス等での情報提供活動を行っている。さらに重要な事項は院内リスクマネージャー会議において、各診療科・診療部等のリスクマネージャーに注意喚起を行っている。また、安全性速報（ブルーレター）等の特に重要な安全性情報が発出された際には必要に応じて使用患者を抽出して適正使用状況の確認を行っている。</p> <p>薬事委員会においては、採用検討新医薬品についての有効性・安全性を評価して、採用後の適正使用のための運用ルールについても審議し、必要に応じて対策を講じている。</p> <p>また、薬剤部協力のもと医療安全対策センターにて院内で発生した医薬品に関するインシデントレポートから対策等を検討し、注意喚起および対策を院内ホームページおよび職員メールにて周知している。周知された事項について医療安全ラウンドにて適時実施状況等を確認している。</p> <p>医薬品安全管理責任者はこれらの業務を自ら行うか、あるいは院内の薬剤師に指示して、その状況を確認している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>やむを得ず未承認薬の使用や、禁忌や適応外の処方が必要な際には診療科・部内で検討するとともに必要に応じて新規診療等検討委員会に申請することとなっている。医薬品安全管理責任者はそれらの状況を確認できる。また、院内の薬剤師は、特に禁忌・適応外の使用等に関しては、薬学的知見に基づき、処方した医師に対して処方の必要性や論文等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性を確認し、処方の提案等を行うとともに、その結果を医薬品安全管理責任者に報告することとなっている。</p> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="radio"/>（有）・無</p>	
<p>④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況</p> <p>※経過措置の適用により、様式 8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照</p>	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する</p>	

<p>規程の作成の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ 規程の主な内容 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I Cが必要な行為について ・ I Cが成立するための要件について ・ I Cが免除される場合について ・ 同意能力の有無について ・ 配慮すべきケースについて ・ 蘇生行為を行わないこと (DNR) への対応 	
<p>⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況</p> <p>※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照</p>	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<p>・ 活動の主な内容 :</p> <p>病歴管理部長 (責任者) として副院長 (診療担当) を従前より配置している。なお副院長 (診療担当) は院内「病歴管理委員会」の委員長でもある。病歴管理部では適切な診療記録の管理と診療記録の記載の点検・審査を行っている。また病歴管理委員会の下に診療記録監査小委員会を設置し、適切な記載について監査・指導を行っている。</p>	
<p>⑥ 医療安全管理部門の設置状況</p> <p>※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照</p>	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<p>・ 所属職員 : 専従 (6) 名、専任 (2) 名、兼任 (7) 名</p> <p>うち医師 : 専従 () 名、専任 (2) 名、兼任 (1) 名</p> <p>うち薬剤師 : 専従 () 名、専任 () 名、兼任 (2) 名</p> <p>うち看護師 : 専従 (2) 名、専任 () 名、兼任 (1) 名</p> <p>・ 活動の主な内容 :</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) アクシデント及びインシデントの収集・調査・分析・防止対策に関すること (2) アクシデント及びインシデントの事例・対策等の情報収集に関すること (3) 医療事故等防止対策の周知徹底に関すること (4) 医療事故等防止に係る病院内の巡視・点検・評価に関すること (5) 医療事故等防止に係る業務の提言・指導に関すること (6) 医療事故等防止対策マニュアルに関すること (7) リスクマネジメントに関わる教育・研修等の計画・立案・実施に関すること (8) リスクマネジメントに関わる各種委員会に関すること (9) 医療訴訟に関する事項 (10) 医療上の紛争処理に関する事項 (11) その他医療の安全管理に関すること <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>医 師① : 救命救急センター長と兼任 医 師② : 環境安全管理室長と兼任 薬剤師① : 薬剤部と兼任</p>	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有 無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有 無）
- ・ 規程の主な内容：
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有 無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有 無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有 無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有 無）
- ・ 規程の主な内容：
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有 無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有 無）

⑨ 監査委員会の設置状況

有 無

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

- ・ 監査委員会の開催状況：年 回
- ・ 活動の主な内容：
- ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）
- ・ 委員名簿の公表の有無（有・無）
- ・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

<p>⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <p style="color: red;">※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 389 件（H27. 5～H28. 4） ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 105 件 ・医療安全管理委員会の活動の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) インシデント、アクシデント事例の検討 (2) 医療安全研修強化 (3) 研修医の注射指示に対する指導医確認の強化 (4) リスクマネジメントに関する研究課題実施 (5) 外来棟の転倒対策 (6) その他医療事故防止のための改善等、必要な事項の審議
<p>⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <p style="color: red;">※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ） <input checked="" type="radio"/> 無 ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ） <input checked="" type="radio"/> 無 ・技術的助言の実施状況
<p>⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制の確保状況 ・患者からの相談を一元的に受け付ける「患者相談・臨床倫理センター」を設置しており、安全管理に係る相談があった場合、診療科や医療安全管理部門等と連携しながら適切な対応を行う。
<p>⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況</p> <p style="color: red;">※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）

・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）

・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

・研修の実施状況

- Eラーニングシステムを利用して、毎年度全教職員に対して医療安全・感染対策等の研修を実施。
- 新規採用職員による合同オリエンテーション・リスクマネジメント研修を4月初日に開催して医療安全・感染対策等の研修を実施。
- 臨床研修医については、採用前に事前研修を開催して、医療安全・感染対策等の研修を実施。
- 中途採用者を含む全ての新規採用者（医師のみ）に対して、毎月2回医療安全・感染対策等の研修を実施。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

・研修の実施状況

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>・日本医療機能評価機構等</p> <p>認定期間 : 平成 27 年 1 月 24 日～平成 32 年 1 月 23 日</p> <p>認定証発行日 : 平成 27 年 3 月 6 日</p> <p>認定病院種別 : 一般病院</p> <p>認定番号 : 認定第 J C 3 8 4 - 3 号</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>・HPを用いて随時発信を行っている。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>・マルファン外来</p> <p>当院においては (2005年4月開設)、院内の関連する診療科 (循環器内科・外科、小児科、整形外科、眼科など) が一堂に会して、院外の医療機関との積極的な連携を図りながら、マルファン症候群や類縁疾患の早期診断と治療を行う。</p> <p>また「自分はマルファン症候群ではないか」「兄弟姉妹や子供はどうか」という不安に対し、ゲノム医学センターとも連携して相談に応じる。</p>	

(様式第 8)

東大院 総 第 277号
平成 28年 9月 6日

厚生労働大臣 殿

開設者名 五神 真 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

- ・副院長（安全担当。医師、常勤職員）を医療安全管理責任者とするための内規改正を平成 28 年 10 月までに実施予定である。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

- ・医療安全管理責任者が医薬品安全管理責任者および医療機器安全管理責任者を統括する旨を追加する内規改正を平成 28 年 10 月までに実施予定である。
- ・医薬品安全管理責任者の業務を明確化する内規を平成 28 年 10 月までに制定予定である。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

- ・副院長（診療担当）を責任者として従前より配置している。
- ・院内には「診療情報提供・インフォームドコンセント委員会」が設置され、内規も定められており、従前より運用されている。委員長は副院長（診療担当）である。

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

- ・「説明と同意（インフォームドコンセント）に関するガイドライン」（平成 15 年 1 月 24 日制定、平成 27 年 3 月 12 日改訂）を制定済みである。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

- ・副院長（診療担当）を責任者として従前より配置している。
- ・院内には「病歴管理部」が設置されており、部長は副院長（診療担当）が担当している。

- ・院内には「病歴管理委員会」が設置され、内規も定められており、従前より運用されている。委員長は副院長（診療担当）である。

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

- ・全死亡症例報告システムを平成27年6月より導入済である。
- ・当院では、患者の診療やケアにおいて、本来のあるべき姿から外れた行為や望ましくない事態の発生をインシデントと呼んでいる。この場合は、72時間以内に医療安全管理部門（当院では医療安全対策センター）へ報告するものとしている。
また、患者に新たに濃厚な処置や治療が必要となった事例については、病院としての迅速性を確保するためアクシデントレポートとして報告をするよう周知している。その場合は、24時間以内に医療安全管理部門（当院では医療安全対策センター）へ報告するものとしている。

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

- ・東京大学全体として内部関係者、外部関係者を問わない情報提供窓口である「コンプライアンス通報窓口」が従前より設置されており、関係規則も定められている。
- ・病院内には内部通報窓口として、院内HPに「危険予知投稿」システムを従前より設置している。
- ・危険予知投稿に寄せられた情報を適切に取り扱うための内規を平成28年10月までに制定予定である。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

- ・診療の状況を把握するためのデータ収集については、従前より国立大学病院で実施している「病院機能指標」（調査指標例：手術あり肺血栓塞栓症予防対策実施率等）調査の結果をもとに定期的に確認している。
- ・従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認のため、従前より医療安全&感染対策にかかるeラーニングを毎年3回実施し、全教職員が受講必須としている。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

・平成 29 年 4 月までに、既存の院内部門に高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する業務を担わせるための内規改正を実施予定である。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

・平成 29 年 4 月までに、病院内に高難度新規医療技術の提供の適否を検討する委員会を立ち上げ、内規を作成し、運用を開始する予定である。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

・平成 29 年 4 月までに、既存の院内部門に未承認薬等を用いた医療の提供の適否等を決定する業務を担わせるための内規改正を実施予定である。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

・実施の適否については院内の担当部門が管理するべく、平成 29 年 4 月までに内規を作成予定である。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

・現在、監査委員会の内規案を作成するとともに監査委員会外部委員の人選を進めており、平成 29 年 4 月までに委員会を設置予定である。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

・立入り、受入れの方法や内容については厚生労働省から示されると説明を受けているが、現在のところまだ示されていない。

今後、厚生労働省から示される立入り及び受入れの方法、内容を参考に来年度から行う予定である。

15. 職員研修を実施するための予定措置

- ・ 従前より、医療安全&感染対策にかかる e-ラーニングを毎年 3 回実施し、全教職員が受講必須としている。
- ・ 全職員を対象とした医療安全に関する研修を年 4 回実施している。
- ・ その他、新入職者（毎年 4 月）については入職時に、以降の中途採用者については毎月 2 回研修を実施している。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

- ・ 国立大学附属病院長会議が実施する研修(今後検討予定)に来年度から参加予定である。

17. 医療安全管理部門の人員体制

- ・ 所属職員：専従（6）名、専任（2）名、兼任（7）名
 - うち医師：専従（ ）名、専任（2）名、兼任（1）名
 - うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（2）名
 - うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（1）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

- ・ 現在、専任の医師 GRM を 2 名配置しており、平成 32 年 4 月までに就業時間の 8 割以上を医療安全部門の業務に従事する者を配置する予定である。
- ・ 専従の看護師 GRM を 2 名配置している。
- ・ 平成 28 年 10 月 1 日付けにて、就業時間の 5 割に従事する薬剤師 GRM を 1 名配置。平成 30 年 4 月までには複数名を配置し、平成 32 年 4 月までに就業時間の 8 割以上を医療安全部門の業務に従事する者を配置する予定である。